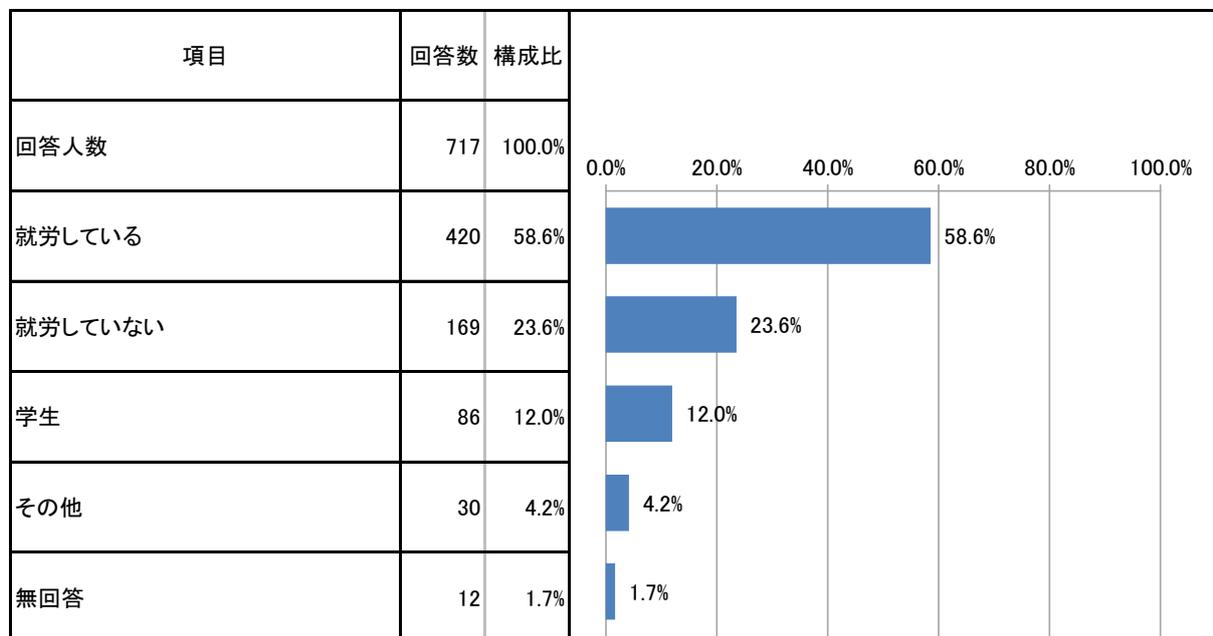


## 問1 あなたの性別などについてお聞きします。

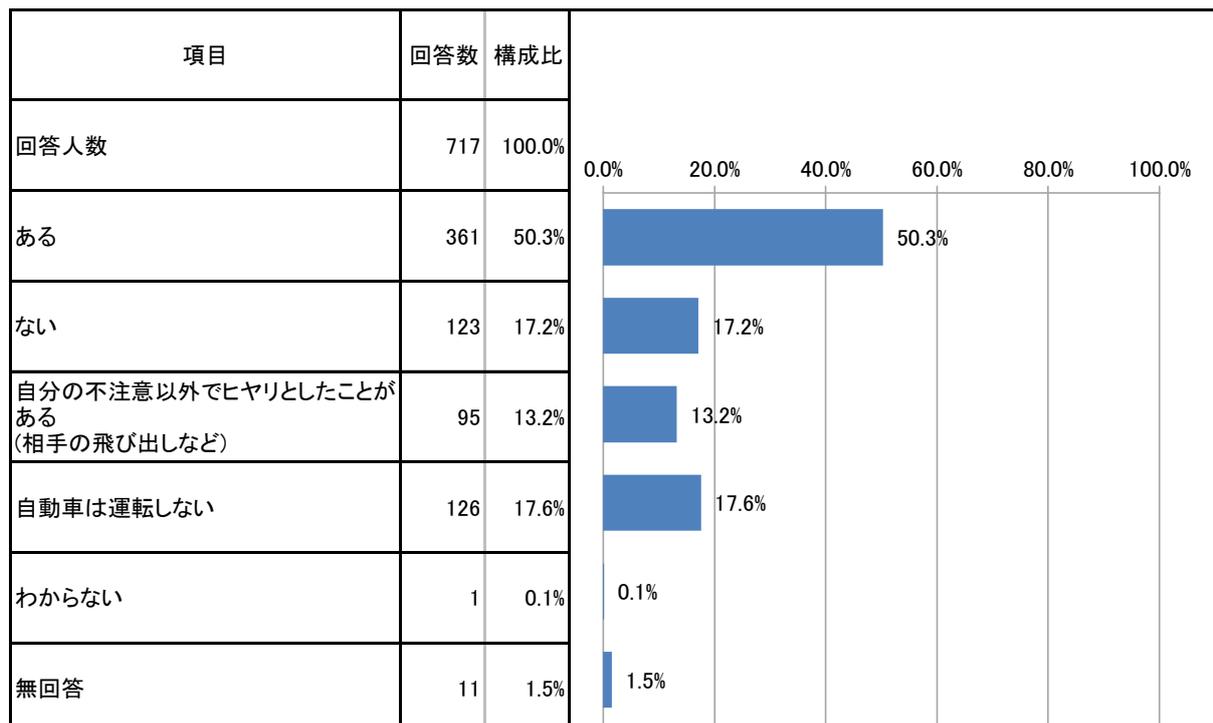
## (2) 対象（封書の宛名）の方の就労状況（平成26年10月1日現在）

就労については、「就労している」が58.6%と最も高く、次いで「就労していない」が23.6%、「学生」が12.0%となっている。



## 問3 あなたは、自動車運転中、自分の不注意で事故に遭いそうになり、ヒヤリとしたことがありますか。（ひとつに○）

自動車運転中、自分の不注意で事故に遭いそうになり、ヒヤリとしたことがあるかについては、「ある」が50.3%と最も高く、次いで「自動車は運転しない」が17.6%、「ない」が17.2%となっている。



## 【属性別特徴】

年代別では、40代の「ある」が65.4%で、他の年代より高くなっている。

就労状況別では、就労している人の「ある」が59.0%で、就労していない人の46.2%に比べてヒヤリとした経験の割合が高くなっている。

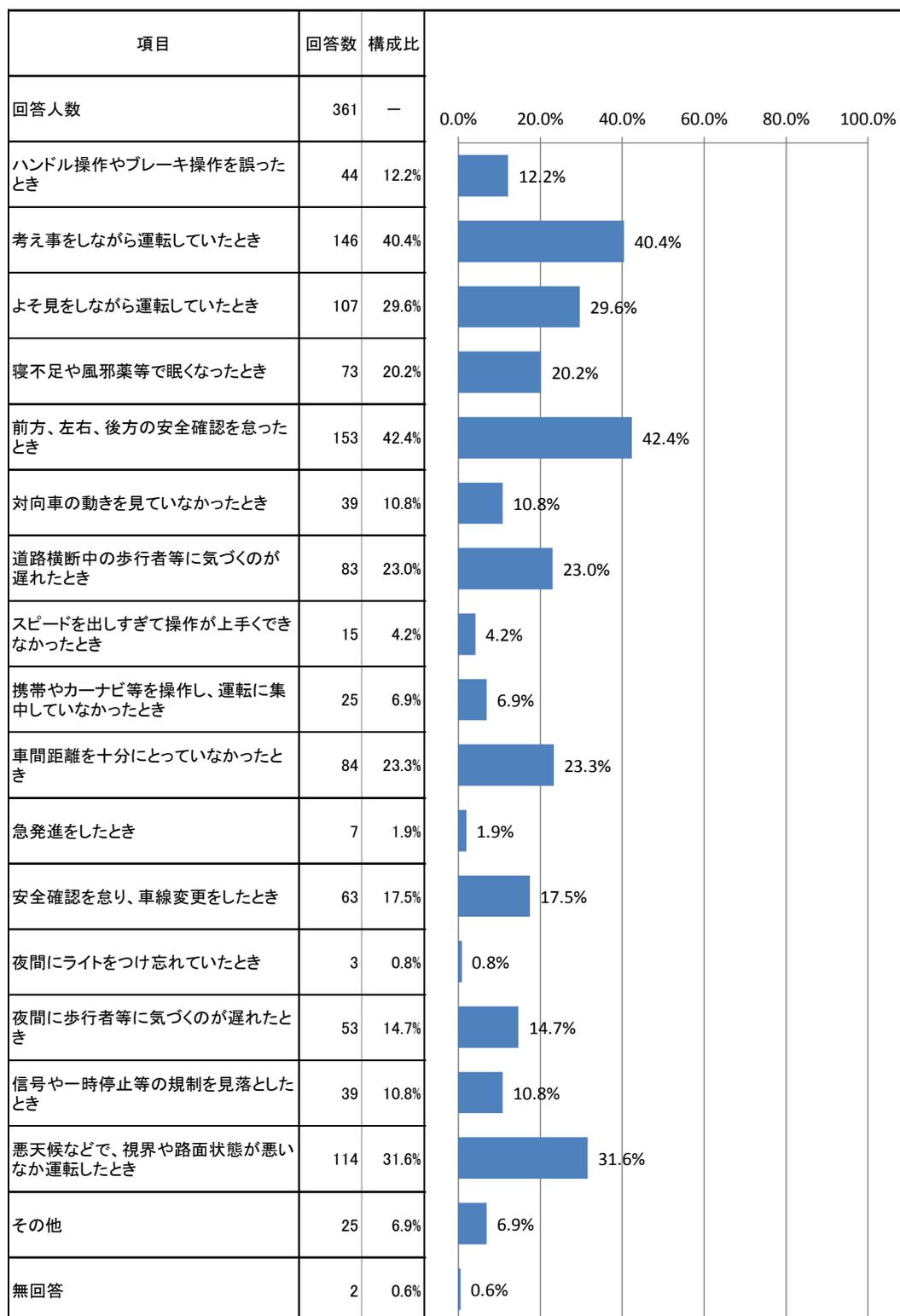
項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	70	100.0%	89	100.0%	106	100.0%	133	100.0%	156	100.0%	160	100.0%	3	100.0%
ある	361	50.3%	8	11.4%	50	56.2%	60	56.6%	87	65.4%	80	51.3%	76	47.5%	0	0.0%
ない	123	17.2%	18	25.7%	10	11.2%	17	16.0%	14	10.5%	31	19.9%	31	19.4%	2	66.7%
自分の不注意以外でヒヤリとしたことがある(相手の飛び出しなど)	95	13.2%	2	2.9%	17	19.1%	19	17.9%	20	15.0%	22	14.1%	15	9.4%	0	0.0%
自動車は運転しない	126	17.6%	40	57.1%	11	12.4%	9	8.5%	11	8.3%	19	12.2%	36	22.5%	0	0.0%
わからない	1	0.1%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	11	1.5%	2	2.9%	0	0.0%	1	0.9%	1	0.8%	4	2.6%	2	1.3%	1	33.3%

項目	回答人数		就労状況別									
			就労している		就労していない		学生		その他		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	420	100.0%	169	100.0%	86	100.0%	30	100.0%	12	100.0%
ある	361	50.3%	248	59.0%	78	46.2%	17	19.8%	13	43.3%	5	41.7%
ない	123	17.2%	59	14.0%	36	21.3%	19	22.1%	6	20.0%	3	25.0%
自分の不注意以外でヒヤリとしたことがある(相手の飛び出しなど)	95	13.2%	70	16.7%	15	8.9%	7	8.1%	3	10.0%	0	0.0%
自動車は運転しない	126	17.6%	39	9.3%	36	21.3%	41	47.7%	8	26.7%	2	16.7%
わからない	1	0.1%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	11	1.5%	3	0.7%	4	2.4%	2	2.3%	0	0.0%	2	16.7%

※問3で『①ある』とご回答された方にお聞きします。

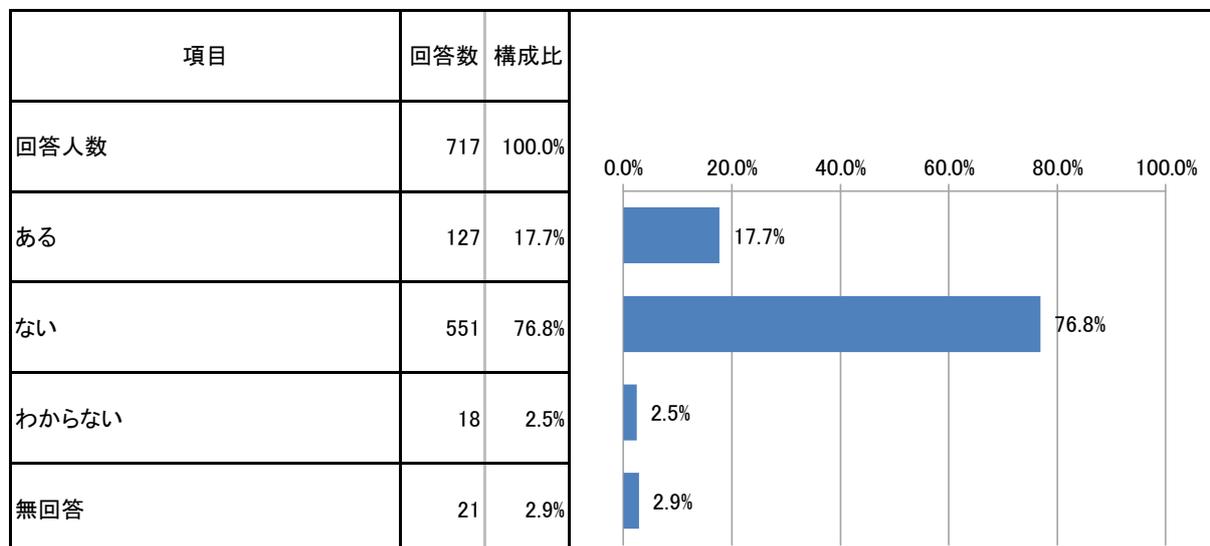
### 問3-1 あなたは、どのようなときに交通事故に遭いそうになり、ヒヤリとしましたか。(あてはまるものすべてに○)

どのようなときに交通事故に遭いそうになり、ヒヤリとしたかについては、「前方、左右、後方の安全確認を怠ったとき」が42.4%と最も高く、次いで「考え事をしながら運転していたとき」が40.4%、「悪天候などで、視界や路面状態が悪いなか運転したとき」が31.6%となっている。



問4 あなたは、この1年間（平成25年10月から平成26年9月まで）に交通安全教室（講習会などを含む）に参加したことがありますか。（ひとつに○）

1年間の交通安全教室（講習会などを含む）への参加状況については、「ない」が76.8%と最も高く、次いで「ある」が17.7%で、「わからない」は2.5%とほとんどない。



## 【属性別特徴】

年代別では、10代を除くすべての年代において、「ない」が8割程度を占めている。

就労状況別では、学生の「ある」が45.3%で、他の属性に比べて高い割合を占めていることから、学校教育の場で交通安全教室の機会はあるが、卒業後はその機会が少なくなっていることがわかる。

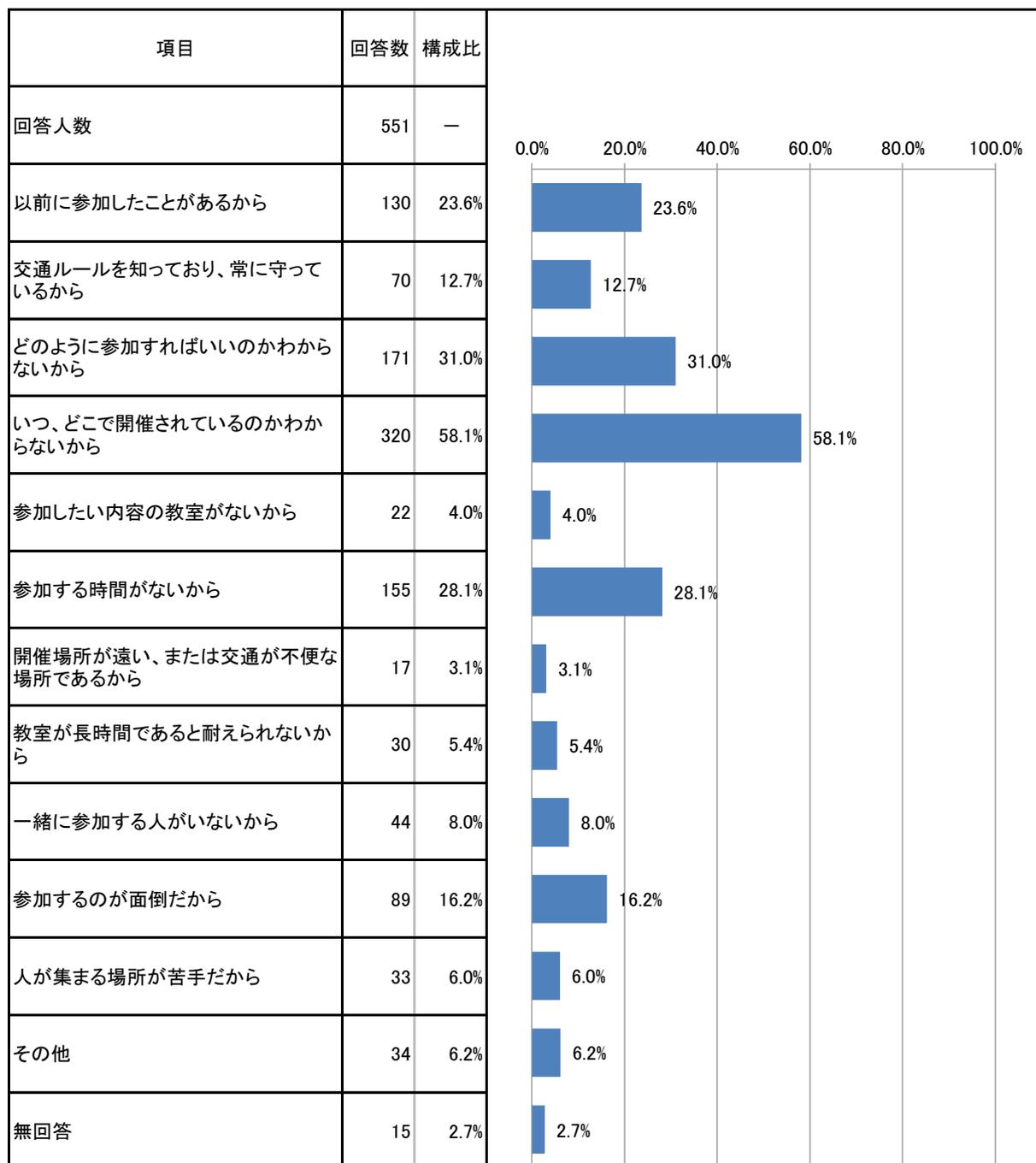
項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	70	100.0%	89	100.0%	106	100.0%	133	100.0%	156	100.0%	160	100.0%	3	100.0%
ある	127	17.7%	30	42.9%	15	16.9%	13	12.3%	20	15.0%	27	17.3%	22	13.8%	0	0.0%
ない	551	76.8%	33	47.1%	71	79.8%	85	80.2%	105	78.9%	126	80.8%	129	80.6%	2	66.7%
わからない	18	2.5%	5	7.1%	2	2.2%	3	2.8%	6	4.5%	1	0.6%	1	0.6%	0	0.0%
無回答	21	2.9%	2	2.9%	1	1.1%	5	4.7%	2	1.5%	2	1.3%	8	5.0%	1	33.3%

項目	回答人数		就労状況別									
			就労している		就労していない		学生		その他		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	420	100.0%	169	100.0%	86	100.0%	30	100.0%	12	100.0%
ある	127	17.7%	63	15.0%	19	11.2%	39	45.3%	4	13.3%	2	16.7%
ない	551	76.8%	337	80.2%	143	84.6%	39	45.3%	24	80.0%	8	66.7%
わからない	18	2.5%	10	2.4%	2	1.2%	6	7.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	21	2.9%	10	2.4%	5	3.0%	2	2.3%	2	6.7%	2	16.7%

※問4で『②ない』とご回答された方にお聞きします。

**問4-1 あなたが、交通安全教室（講習会などを含む）に参加したことがない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）**

交通安全教室（講習会などを含む）に参加したことがない理由については、「いつ、どこで開催されているのかわからないから」が58.1%と最も高く、次いで「どのように参加すればいいのかわからないから」が31.0%、「参加する時間がないから」が28.1%となっている。



## 【属性別特徴】

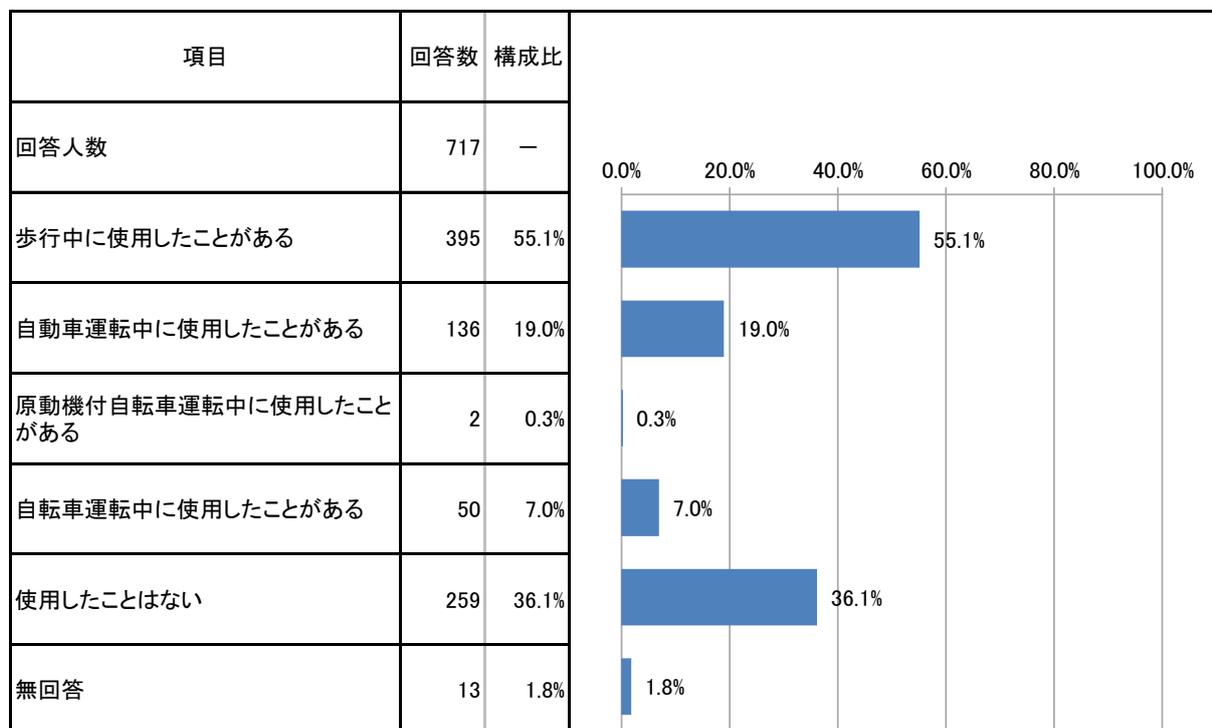
性別では、女の「いつ、どこで開催されているのかわからないから」が 63.3%で、男の 47.8%に比べて高くなっている。

就労状況別では、いずれの属性でも「いつ、どこで開催されているのかわからないから」が最も高いが、二番目に高いのは、就労している人では、「参加する時間がないから」が 36.2%で、就労していない人や学生では、「どのように参加すればいいのかわからないから」で、それぞれ 34.3%、41.0%となっている。

項目	回答人数		性別						就労状況別									
			男		女		無回答		就労している		就労していない		学生		その他		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	551	—	186	—	365	—	0	—	337	—	143	—	39	—	24	—	8	—
以前に参加したことがあるから	130	23.6%	58	31.2%	72	19.7%	0	—	84	24.9%	33	23.1%	6	15.4%	6	25.0%	1	12.5%
交通ルールを知っており、常に守っているから	70	12.7%	30	16.1%	40	11.0%	0	—	42	12.5%	20	14.0%	6	15.4%	2	8.3%	0	0.0%
どのように参加すればいいのかわからないから	171	31.0%	41	22.0%	130	35.6%	0	—	95	28.2%	49	34.3%	16	41.0%	8	33.3%	3	37.5%
いつ、どこで開催されているのかわからないから	320	58.1%	89	47.8%	231	63.3%	0	—	195	57.9%	79	55.2%	30	76.9%	13	54.2%	3	37.5%
参加したい内容の教室がないから	22	4.0%	6	3.2%	16	4.4%	0	—	13	3.9%	5	3.5%	4	10.3%	0	0.0%	0	0.0%
参加する時間がないから	155	28.1%	57	30.6%	98	26.8%	0	—	122	36.2%	14	9.8%	14	35.9%	4	16.7%	1	12.5%
開催場所が遠い、または交通が不便な場所であるから	17	3.1%	5	2.7%	12	3.3%	0	—	11	3.3%	5	3.5%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%
教室が長時間であると耐えられないから	30	5.4%	11	5.9%	19	5.2%	0	—	23	6.8%	6	4.2%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%
一緒に参加する人がいないから	44	8.0%	5	2.7%	39	10.7%	0	—	18	5.3%	20	14.0%	4	10.3%	2	8.3%	0	0.0%
参加するのが面倒だから	89	16.2%	26	14.0%	63	17.3%	0	—	51	15.1%	27	18.9%	10	25.6%	1	4.2%	0	0.0%
人が集まる場所が苦手だから	33	6.0%	13	7.0%	20	5.5%	0	—	21	6.2%	9	6.3%	1	2.6%	2	8.3%	0	0.0%
その他	34	6.2%	8	4.3%	26	7.1%	0	—	14	4.2%	12	8.4%	1	2.6%	4	16.7%	3	37.5%
無回答	15	2.7%	5	2.7%	10	2.7%	0	—	6	1.8%	7	4.9%	0	0.0%	2	8.3%	0	0.0%

問5 近年、歩行中にスマートフォンを使用する、「歩きスマホ」が社会問題となっていますが、あなたは、歩行中や自動車等運転中に、携帯電話（スマートフォンを含む）を使用したことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

歩行中や自動車等運転中の携帯電話（スマートフォンを含む）の使用については、「歩行中に使用したことがある」が55.1%と最も高く、次いで「使用したことはない」が36.1%、「自動車運転中に使用したことがある」が19.0%となっている。



## 【属性別特徴】

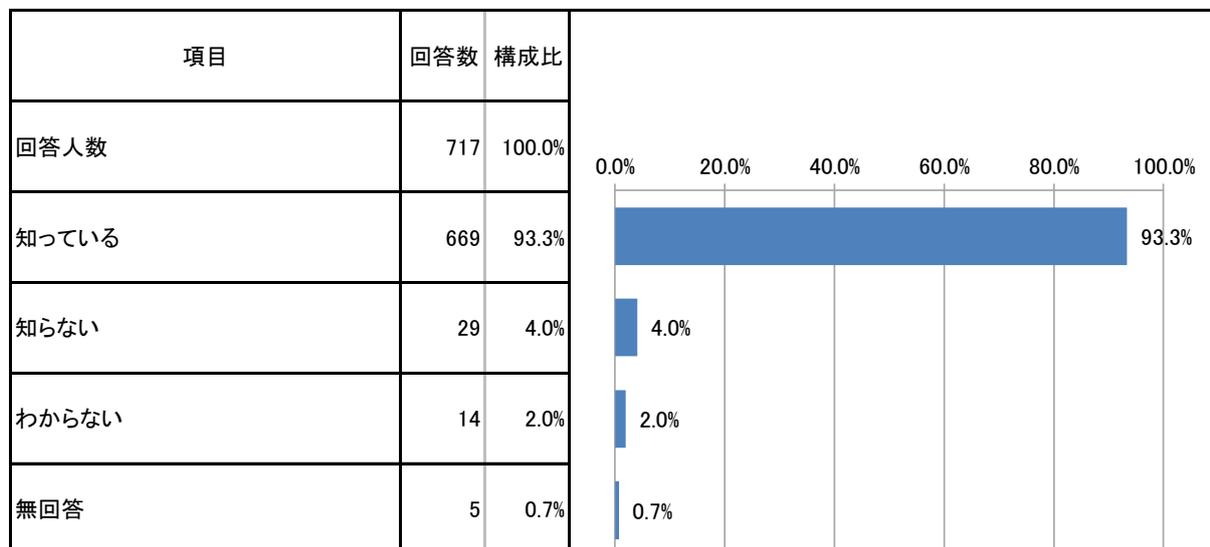
年代別では、「歩行中に使用したことがある」は、20代が84.3%で最も高く、次いで10代が74.3%、30代が72.6%と若い年代で高くなっている。

また、「自動車運転中に使用したことがある」は、40代が32.3%で、「自転車運転中に使用したことがある」は10代が20.0%で、それぞれ最も使用している割合が高くなっている。

項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	—	70	—	89	—	106	—	133	—	156	—	160	—	3	—
歩行中に使用したことがある	395	55.1%	52	74.3%	75	84.3%	77	72.6%	74	55.6%	69	44.2%	47	29.4%	1	33.3%
自動車運転中に使用したことがある	136	19.0%	1	1.4%	15	16.9%	26	24.5%	43	32.3%	28	17.9%	23	14.4%	0	0.0%
原動機付自転車運転中に使用したことがある	2	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
自転車運転中に使用したことがある	50	7.0%	14	20.0%	13	14.6%	7	6.6%	6	4.5%	10	6.4%	0	0.0%	0	0.0%
使用したことはない	259	36.1%	16	22.9%	13	14.6%	26	24.5%	40	30.1%	71	45.5%	92	57.5%	1	33.3%
無回答	13	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	2	1.3%	9	5.6%	1	33.3%

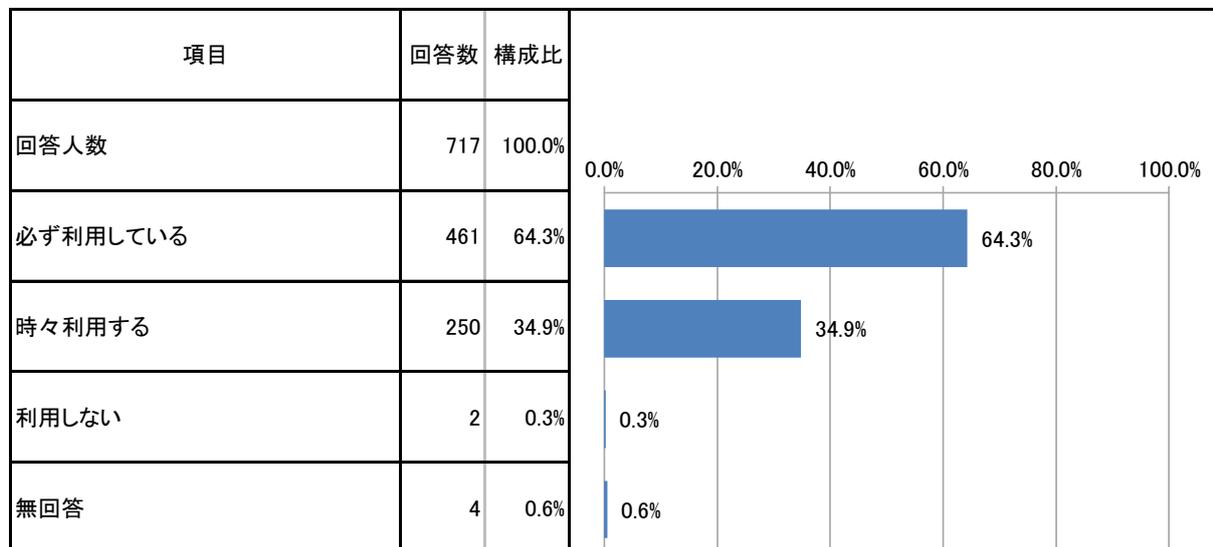
問6 あなたは、自動車や原動機付自転車、自転車の運転中、携帯電話（スマートフォンを含む）の使用が法律で禁止されていることを知っていますか。（ひとつに○）

自動車や原動機付自転車、自転車の運転中、携帯電話（スマートフォンを含む）の使用が法律で禁止されていることの認知度については、「知っている」が 93.3%と最も高く、「知らない」「わからない」はほとんどない。



問7 あなたは、歩行中に道路を横断する際、近辺に横断歩道がある場合は利用していますか。(ひとつに○)

歩行中に道路を横断する際、近辺に横断歩道がある場合の利用については、「必ず利用している」が64.3%と最も高く、次いで「時々利用する」が34.9%で、「利用しない」が0.3%とほとんどない。



【属性別特徴】

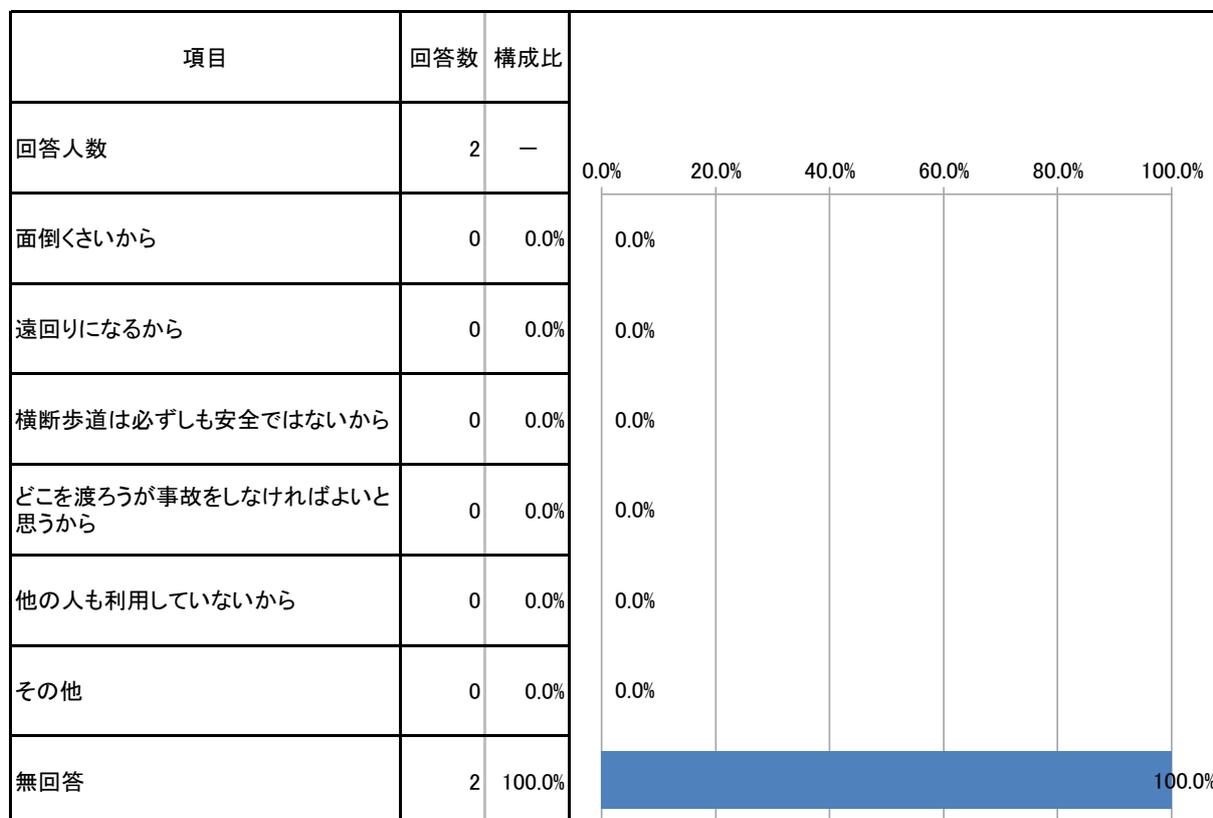
年代別では、「必ず利用している」は、20代が49.4%で最も低く、50代、60代は、いずれも7割程度と高くなっている。

項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	70	100.0%	89	100.0%	106	100.0%	133	100.0%	156	100.0%	160	100.0%	3	100.0%
必ず利用している	461	64.3%	45	64.3%	44	49.4%	63	59.4%	81	60.9%	107	68.6%	119	74.4%	2	66.7%
時々利用する	250	34.9%	25	35.7%	45	50.6%	43	40.6%	51	38.3%	48	30.8%	38	23.8%	0	0.0%
利用しない	2	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	1	0.6%	0	0.0%
無回答	4	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	2	1.3%	1	33.3%

※問7で『③利用しない』とご回答された方にお聞きします。

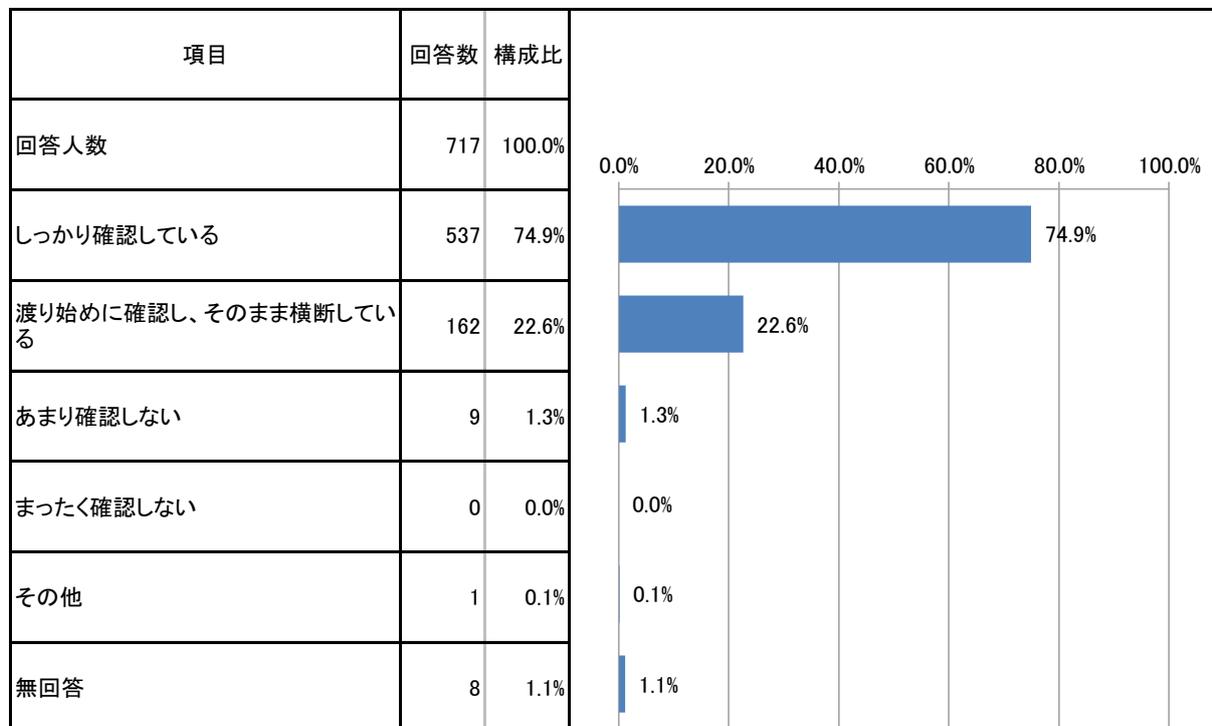
問7-1 横断歩道を利用しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

横断歩道を利用しない理由については、回答を得られなかった。



問8 あなたは、歩行中に道路を横断する際、安全確認をおこなっていますか。(ひとつに○)

歩行中に道路を横断する際の安全確認については、「しっかり確認している」が74.9%と最も高く、次いで「渡り始めに確認し、そのまま横断している」が22.6%で、「あまり確認しない」が1.3%とほとんどない。



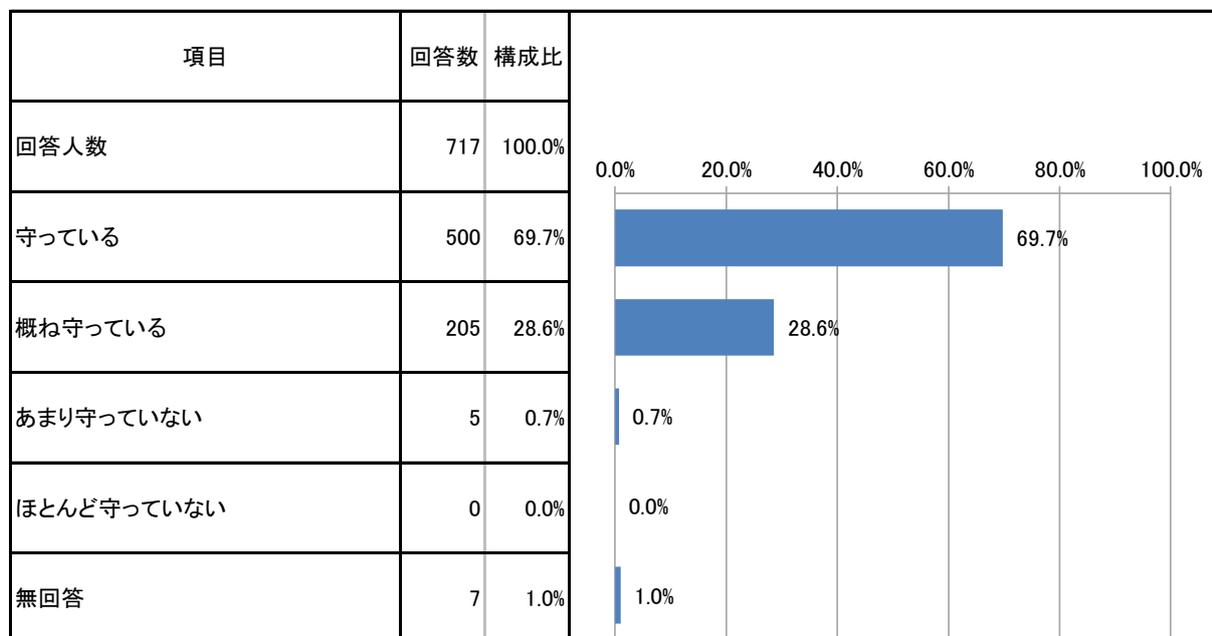
【属性別特徴】

年代別では、10代の「しっかり確認している」が58.6%と最も低く、年代が上がるごとに高くなる傾向にある。

項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	70	100.0%	89	100.0%	106	100.0%	133	100.0%	156	100.0%	160	100.0%	3	100.0%
しっかり確認している	537	74.9%	41	58.6%	55	61.8%	77	72.6%	106	79.7%	121	77.6%	135	84.4%	2	66.7%
渡り始めに確認し、そのまま横断している	162	22.6%	26	37.1%	29	32.6%	28	26.4%	24	18.0%	32	20.5%	23	14.4%	0	0.0%
あまり確認しない	9	1.3%	3	4.3%	4	4.5%	0	0.0%	1	0.8%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
まったく確認しない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	1	0.1%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	8	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%	2	1.5%	2	1.3%	2	1.3%	1	33.3%

問9 あなたは、歩行中に信号機のない横断歩道を渡る際、ルール（信号）を守っていますか。（ひとつに○）

歩行中に信号機のない横断歩道を渡る際、ルール（信号）を守っているかについては、「守っている」が69.7%と最も高く、次いで「概ね守っている」が28.6%で、「あまり守っていない」は0.7%とほとんどない。



【属性別特徴】

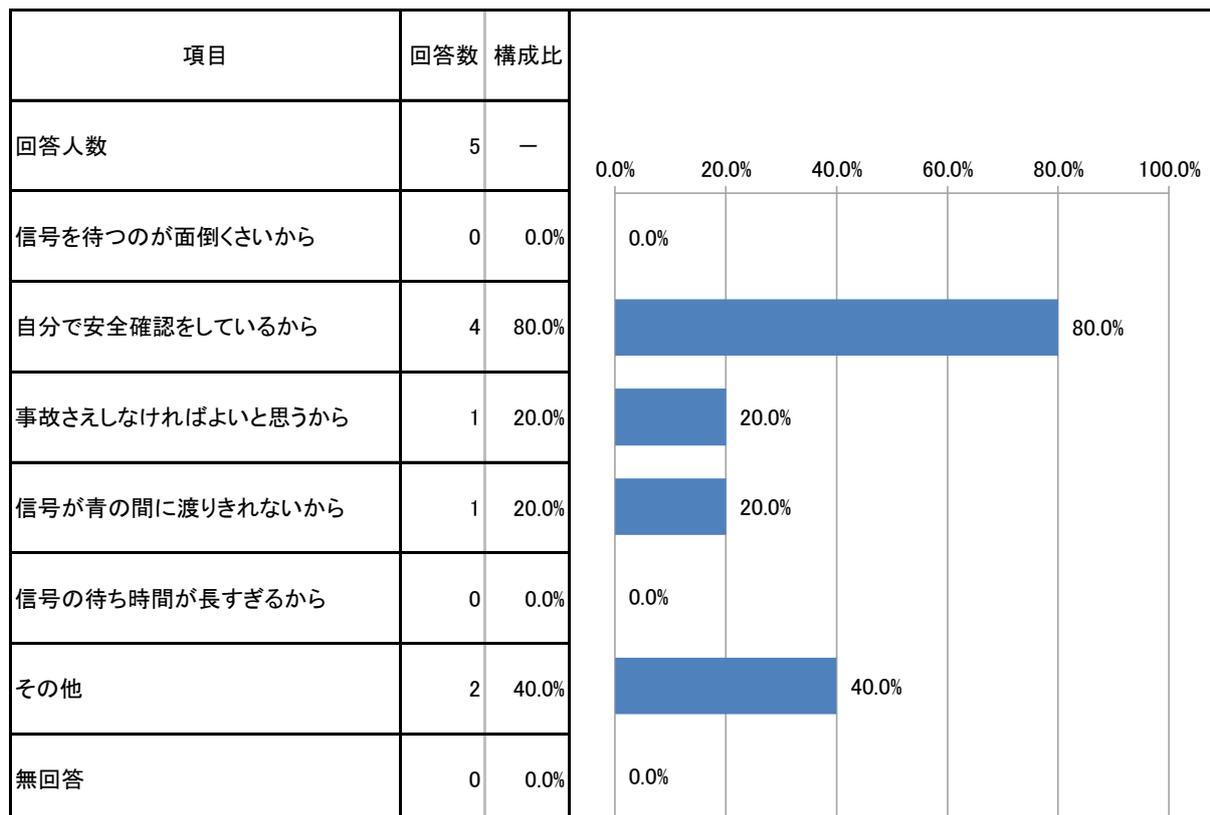
年代別では、20代の「守っている」が55.1%と最も低く、50代、60代は、いずれも8割程度と高くなっている。

項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	70	100.0%	89	100.0%	106	100.0%	133	100.0%	156	100.0%	160	100.0%	3	100.0%
守っている	500	69.7%	47	67.1%	49	55.1%	61	57.5%	89	66.9%	124	79.5%	128	80.0%	2	66.7%
概ね守っている	205	28.6%	21	30.0%	36	40.4%	44	41.5%	44	33.1%	31	19.9%	29	18.1%	0	0.0%
あまり守っていない	5	0.7%	1	1.4%	3	3.4%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
ほとんど守っていない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	7	1.0%	1	1.4%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	3	1.9%	1	33.3%

※問9で『③あまり守っていない』『④ほとんど守っていない』のいずれかにご回答された方にお聞きします。

**問9-1 ルール（信号）を守っていないことがある理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）**

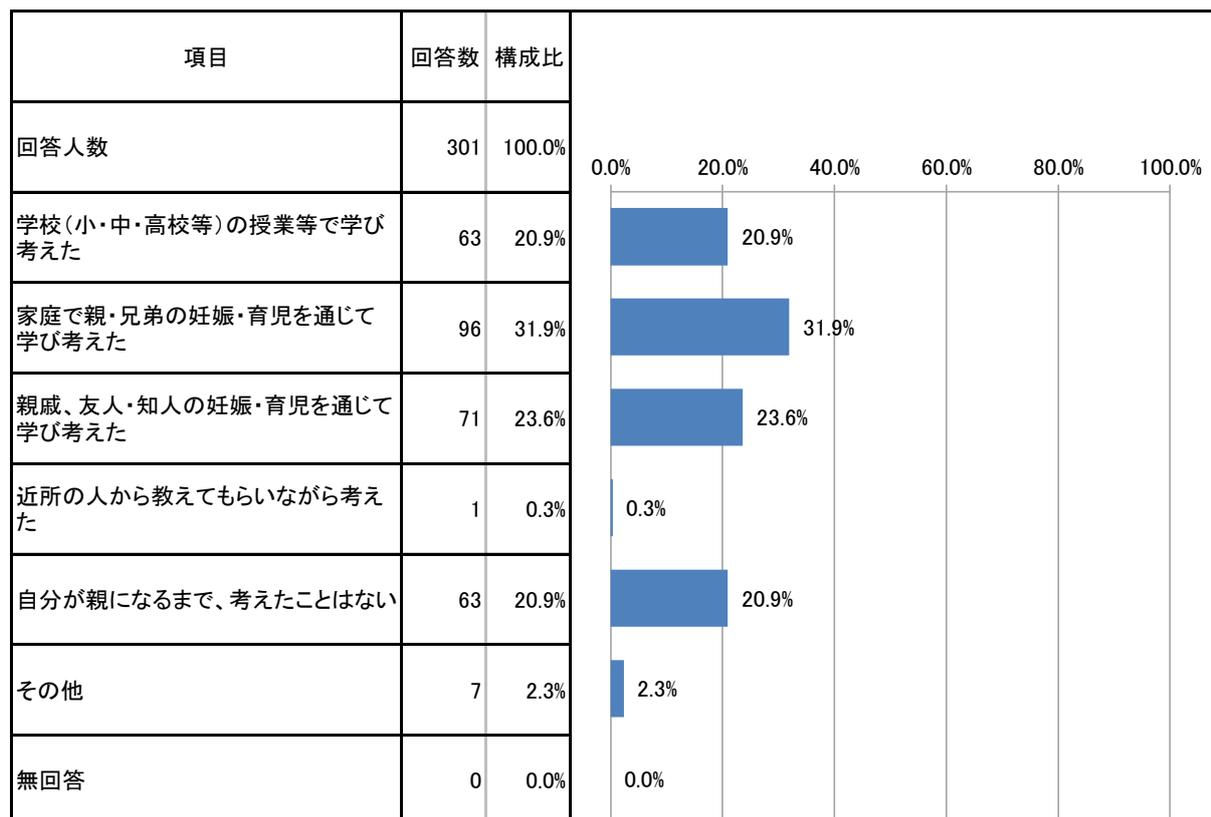
ルール（信号）を守っていないことがある理由については、「自分で安全確認をしているから」が80.0%と最も高く、次いで「事故さえしなければよいと思うから」「信号が青の間に渡りきれないから」が20.0%となっている。



※現在、子育て中の方（18歳以下のお子さんがいらっしゃる方）にお聞きします。

**問 10 あなたは、自分が親になる前に、妊娠や子どもを育てるということについて、考える機会がありましたか。（ひとつに○）**

親になる前に、妊娠や子どもを育てるということについて、考える機会があったかについては、「家庭で親・兄弟の妊娠・育児を通じて学び考えた」が31.9%と最も高く、次いで「親戚、友人・知人の妊娠・育児を通じて学び考えた」が23.6%、「学校（小・中・高校等）の授業等で学び考えた」「自分が親になるまで、考えたことはない」が20.9%となっている。



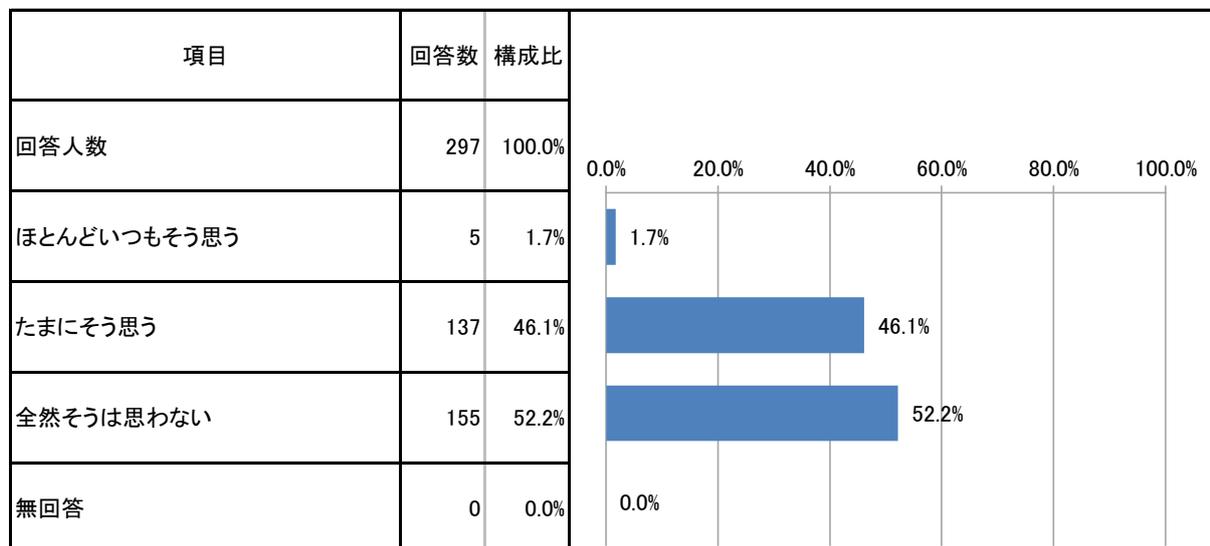
## 【属性別特徴】

年代別では、10代は「学校（少・中・高校等）の授業等で学び考えた」の83.3%が、20代、30代は、「親戚、友人・知人の妊娠・育児を通じて学び考えた」が、それぞれ35.0%、28.4%で最も高く、40代、50代、60代は、「家庭で親・兄弟の妊娠・育児を通じて学び考えた」が、それぞれ30.9%、37.8%、37.8%で最も高くなっている。

項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	301	100.0%	6	100.0%	20	100.0%	67	100.0%	97	100.0%	74	100.0%	37	100.0%	0	0.0%
学校（小・中・高校等）の授業等で学び考えた	63	20.9%	5	83.3%	4	20.0%	12	17.9%	23	23.7%	12	16.2%	7	18.9%	0	—
家庭で親・兄弟の妊娠・育児を通じて学び考えた	96	31.9%	0	0.0%	6	30.0%	18	26.9%	30	30.9%	28	37.8%	14	37.8%	0	—
親戚、友人・知人の妊娠・育児を通じて学び考えた	71	23.6%	0	0.0%	7	35.0%	19	28.4%	18	18.6%	22	29.7%	5	13.5%	0	—
近所の人から教えてもらいながら考えた	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	—
自分が親になるまで、考えたことはない	63	20.9%	1	16.7%	2	10.0%	18	26.9%	21	21.6%	10	13.5%	11	29.7%	0	—
その他	7	2.3%	0	0.0%	1	5.0%	0	0.0%	4	4.1%	2	2.7%	0	0.0%	0	—
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	—

問11 あなたは、子どもに手をあげたくなったり、世話したくないと思うときがありますか。(ひとつに○)

子どもに手をあげたくなったり、世話したくないと思うときがあるかについては、「全然そうは思わない」が52.2%と最も高く、次いで「たまにそう思う」が46.1%、「ほとんどいつもそう思う」が1.7%となっている。



## 【属性別特徴】

性別では、女の「たまにそう思う」が51.6%で、男の36.9%に比べて高くなっている。

年代別では、「たまにそう思う」の割合が高いのは、30代の56.7%、40代の57.7%で、その他の年代は、「全然そうは思わない」が7割前後で最も高くなっている。

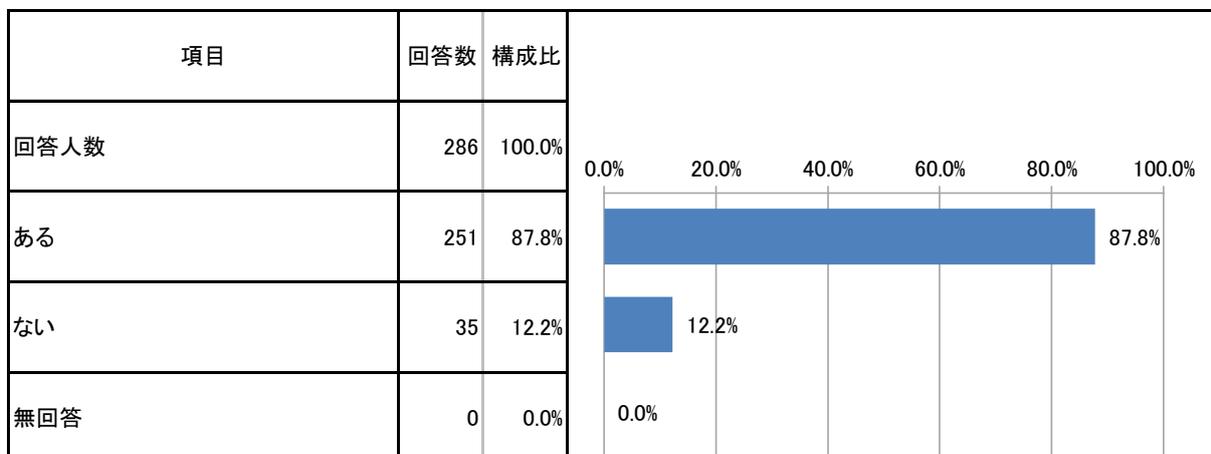
項目	回答人数		性別					
			男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	297	100.0%	111	100.0%	186	100.0%	0	0.0%
ほとんどいつもそう思う	5	1.7%	2	1.8%	3	1.6%	0	—
たまにそう思う	137	46.1%	41	36.9%	96	51.6%	0	—
全然そうは思わない	155	52.2%	68	61.3%	87	46.8%	0	—
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	—

項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	297	100.0%	6	100.0%	20	100.0%	67	100.0%	97	100.0%	72	100.0%	35	100.0%	0	0.0%
ほとんどいつもそう思う	5	1.7%	1	16.7%	0	0.0%	1	1.5%	2	2.1%	1	1.4%	0	0.0%	0	—
たまにそう思う	137	46.1%	1	16.7%	6	30.0%	38	56.7%	56	57.7%	27	37.5%	9	25.7%	0	—
全然そうは思わない	155	52.2%	4	66.7%	14	70.0%	28	41.8%	39	40.2%	44	61.1%	26	74.3%	0	—
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	—

【一般】

問 12 あなたは、子育てで困ったときに相談する人や施設がありますか。(ひとつに○)

子育てで困ったときの相談先については、「ある」が87.8%、「ない」が12.2%となっている。



【属性別特徴】

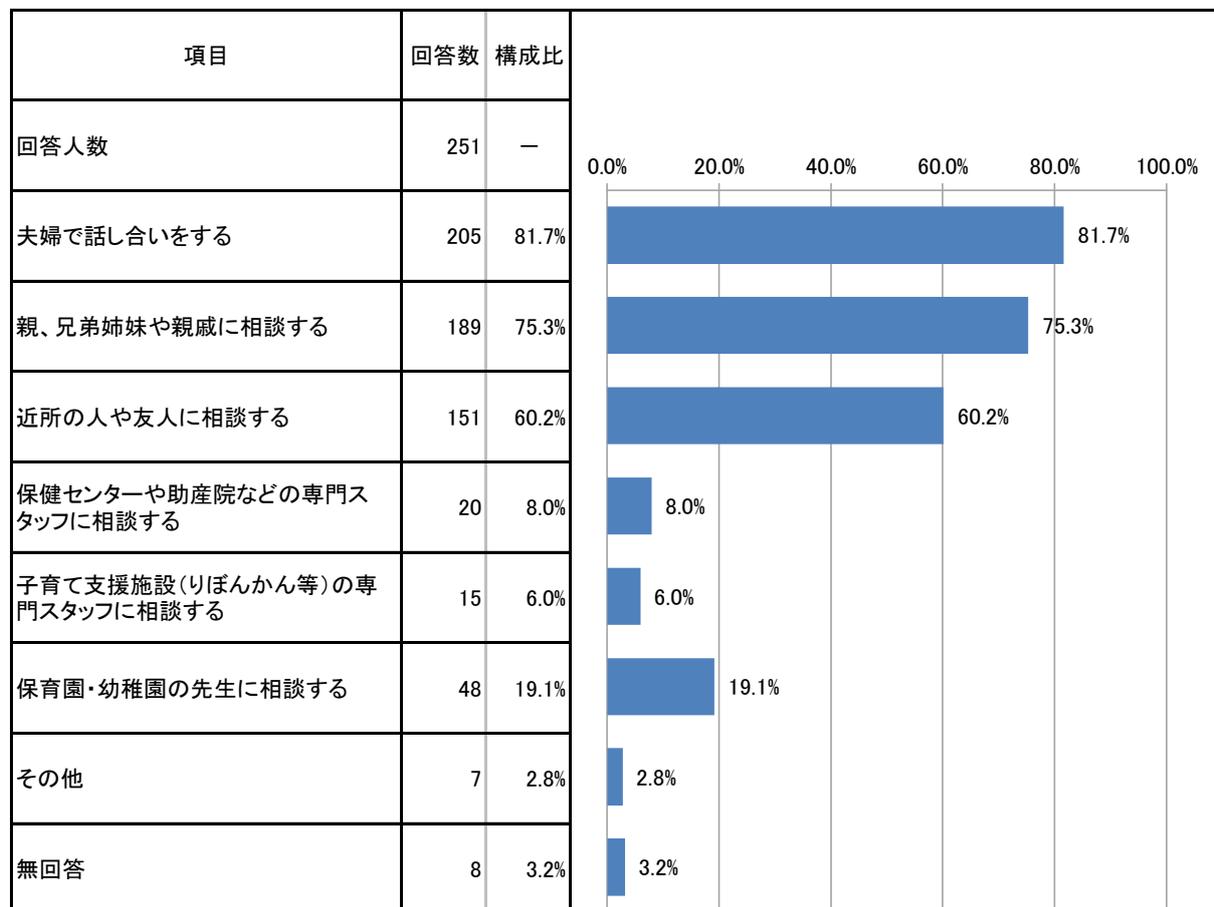
性別では、女の「ある」が94.4%で、男の76.6%に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別					
			男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	286	100.0%	107	100.0%	179	100.0%	0	0.0%
ある	251	87.8%	82	76.6%	169	94.4%	0	—
ない	35	12.2%	25	23.4%	10	5.6%	0	—
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	—

※問 12 で『①ある』とご回答された方にお聞きします。

**問 13 子育てで困ったとき、誰（又はどこ）に相談しますか。（あてはまるものすべてに○）**

子育てで困ったときの相談先については、「夫婦で話し合いをする」が 81.7%と最も高く、次いで「親、兄弟姉妹や親戚に相談する」が 75.3%、「近所の人や友人に相談する」が 60.2%となっている。



## 【属性別特徴】

性別では、女の「近所の人や友人に相談する」が70.4%で、男の39.0%に比べて高くなっている。

年代別では、10代、20代は、「親、兄弟姉妹や親戚に相談する」が最も高く、30代以降は、「夫婦で話し合いをする」が最も高くなっている。

また、10代、20代、30代は、「保育園・幼稚園の先生に相談する」割合も高く、それぞれ50.0%、23.5%、38.3%となっている。

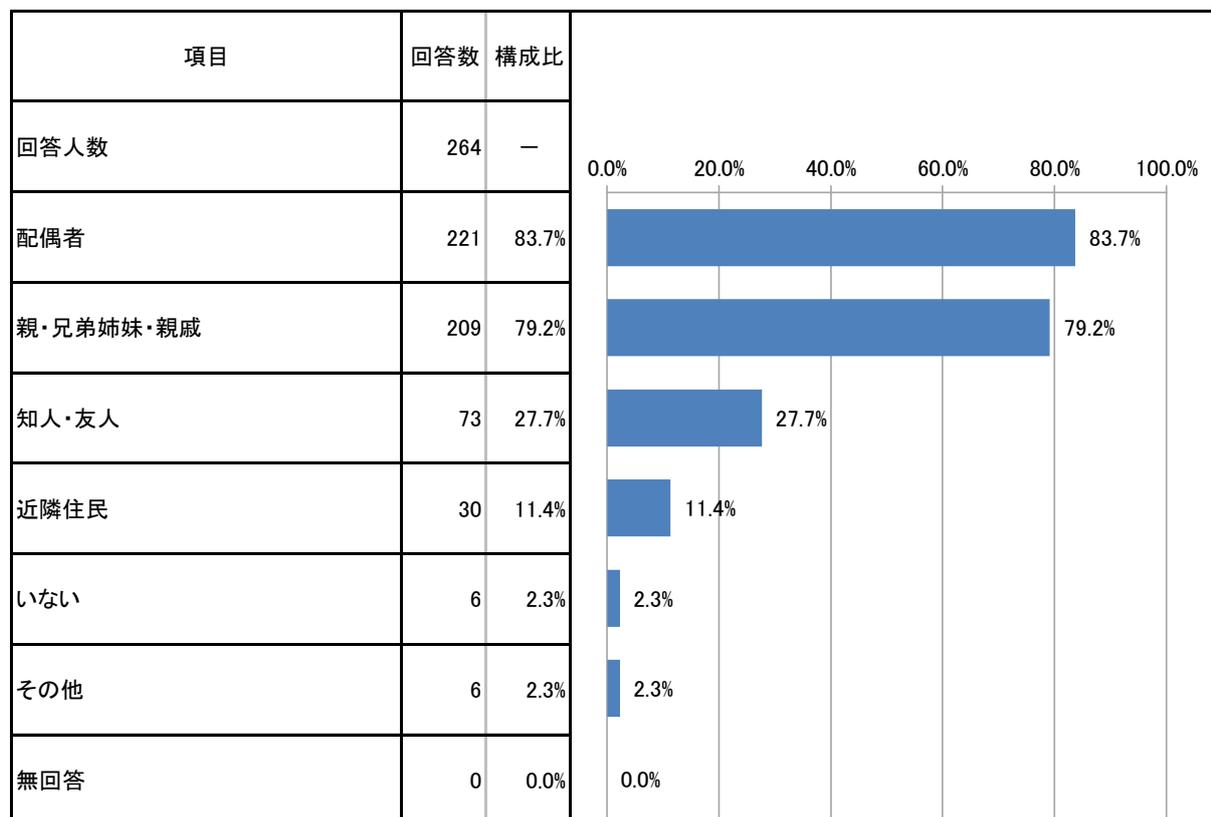
項目	回答人数		性別					
			男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	251	—	82	—	169	—	0	—
夫婦で話し合いをする	205	81.7%	76	92.7%	129	76.3%	0	—
親、兄弟姉妹や親戚に相談する	189	75.3%	59	72.0%	130	76.9%	0	—
近所の人や友人に相談する	151	60.2%	32	39.0%	119	70.4%	0	—
保健センターや助産院などの専門スタッフに相談する	20	8.0%	3	3.7%	17	10.1%	0	—
子育て支援施設(りぼんかん等)の専門スタッフに相談する	15	6.0%	2	2.4%	13	7.7%	0	—
保育園・幼稚園の先生に相談する	48	19.1%	11	13.4%	37	21.9%	0	—
その他	7	2.8%	0	0.0%	7	4.1%	0	—
無回答	8	3.2%	0	0.0%	8	4.7%	0	—

項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	251	—	6	—	17	—	60	—	87	—	56	—	25	—	0	—
夫婦で話し合いをする	205	81.7%	2	33.3%	15	88.2%	51	85.0%	71	81.6%	45	80.4%	21	84.0%	0	—
親、兄弟姉妹や親戚に相談する	189	75.3%	5	83.3%	16	94.1%	48	80.0%	63	72.4%	41	73.2%	16	64.0%	0	—
近所の人や友人に相談する	151	60.2%	3	50.0%	9	52.9%	38	63.3%	56	64.4%	32	57.1%	13	52.0%	0	—
保健センターや助産院などの専門スタッフに相談する	20	8.0%	1	16.7%	3	17.6%	7	11.7%	6	6.9%	2	3.6%	1	4.0%	0	—
子育て支援施設(りぼんかん等)の専門スタッフに相談する	15	6.0%	1	16.7%	1	5.9%	6	10.0%	4	4.6%	2	3.6%	1	4.0%	0	—
保育園・幼稚園の先生に相談する	48	19.1%	3	50.0%	4	23.5%	23	38.3%	12	13.8%	4	7.1%	2	8.0%	0	—
その他	7	2.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	4	4.6%	0	0.0%	2	8.0%	0	—
無回答	8	3.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	5	8.9%	2	8.0%	0	—

## 問 14 子育て中の親への支援についてお聞きします。

## 問 14-1 あなたの子育てを手伝ってくれる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

子育てを手伝ってくれる人については、「配偶者」が83.7%と最も高く、次いで「親・兄弟姉妹・親戚」が79.2%、「知人・友人」が27.7%となっている。



## 【属性別特徴】

性別では、女の「知人・友人」が33.9%で、男の17.2%に比べて高くなっている。

就労状況別では、いずれも「配偶者」が最も高いが、就労していない人は就労している人より、「親・兄弟姉妹・親戚」や「知人・友人」の割合が高くなっている。

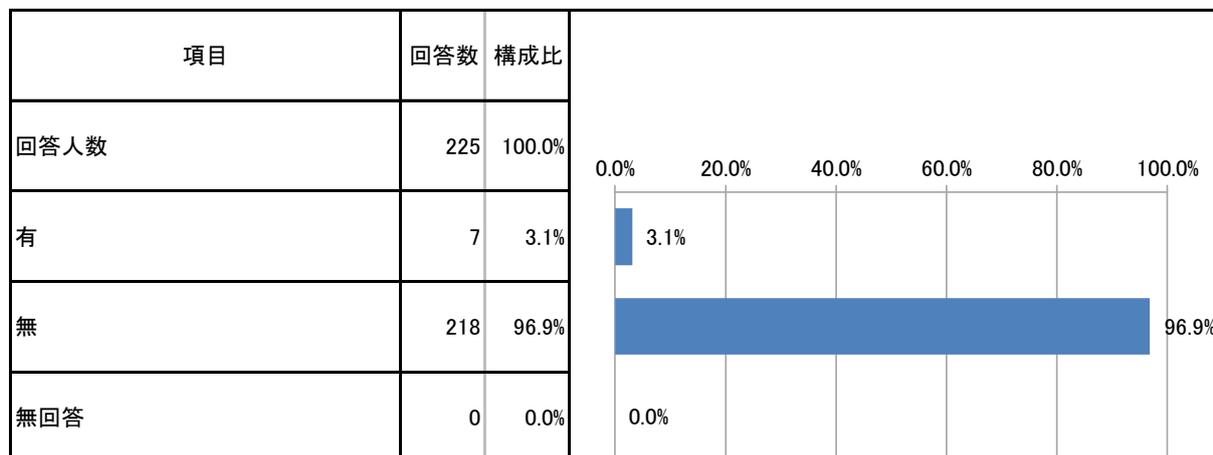
項目	回答人数		性別						就労状況別									
			男		女		無回答		就労している		就労していない		学生		その他		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	264	—	99	—	165	—	0	—	178	—	62	—	4	—	14	—	6	—
配偶者	221	83.7%	83	83.8%	138	83.6%	0	—	152	85.4%	52	83.9%	3	75.0%	9	64.3%	5	83.3%
親・兄弟姉妹・親戚	209	79.2%	72	72.7%	137	83.0%	0	—	138	77.5%	51	82.3%	4	100.0%	10	71.4%	6	100.0%
知人・友人	73	27.7%	17	17.2%	56	33.9%	0	—	45	25.3%	21	33.9%	1	25.0%	4	28.6%	2	33.3%
近隣住民	30	11.4%	13	13.1%	17	10.3%	0	—	20	11.2%	7	11.3%	0	0.0%	2	14.3%	1	16.7%
いない	6	2.3%	5	5.1%	1	0.6%	0	—	2	1.1%	2	3.2%	0	0.0%	2	14.3%	0	0.0%
その他	6	2.3%	0	0.0%	6	3.6%	0	—	3	1.7%	2	3.2%	0	0.0%	1	7.1%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	—	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

問 14-2 あなたは、子どもの一時預かりの施設等を利用したことがありますか。(AからDの項目ごとにひとつに○)

#### A ファミリー・サポート・センターの育児支援

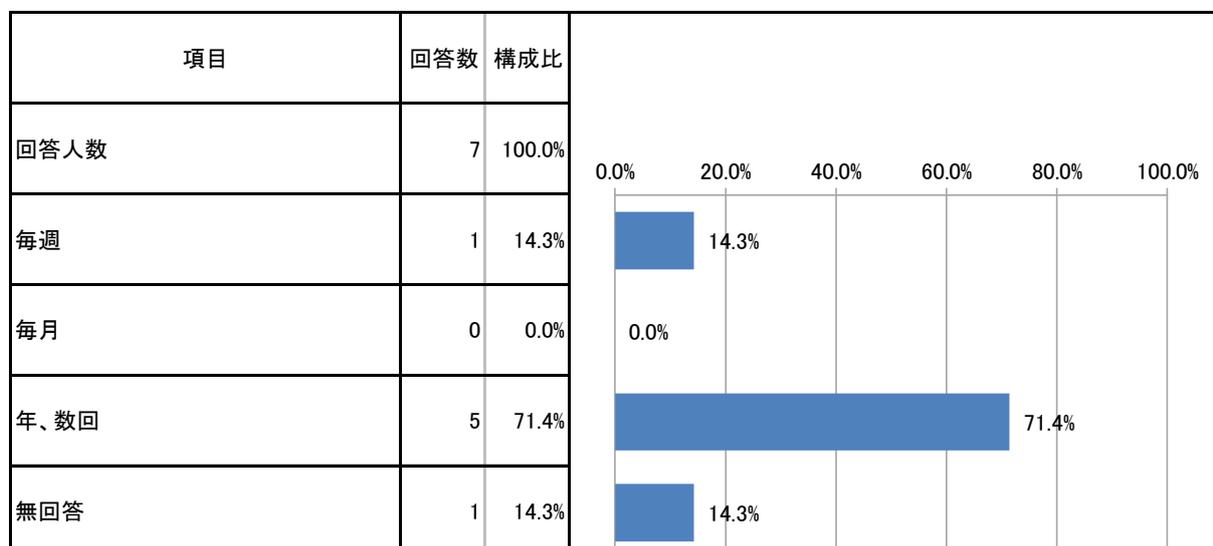
##### (1) 利用の有無

ファミリー・サポート・センターの育児支援の利用の有無については、「有」が3.1%「無」が96.9%となっている。



##### (2) 利用頻度

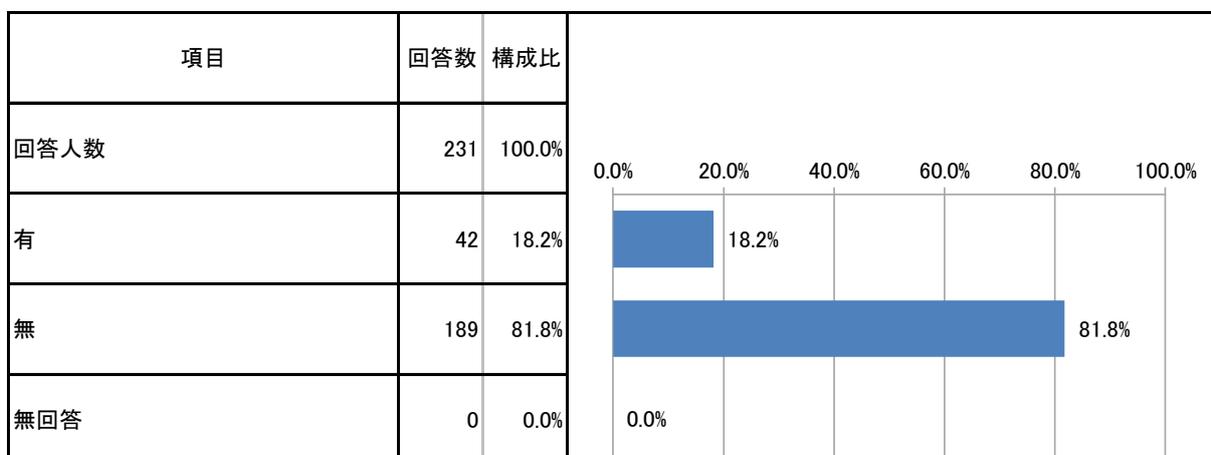
ファミリー・サポート・センターの育児支援の利用頻度については、「年、数回」が71.4%と最も多く、次いで「毎週」が14.3%となっている。



## B 保育園の一時預かり

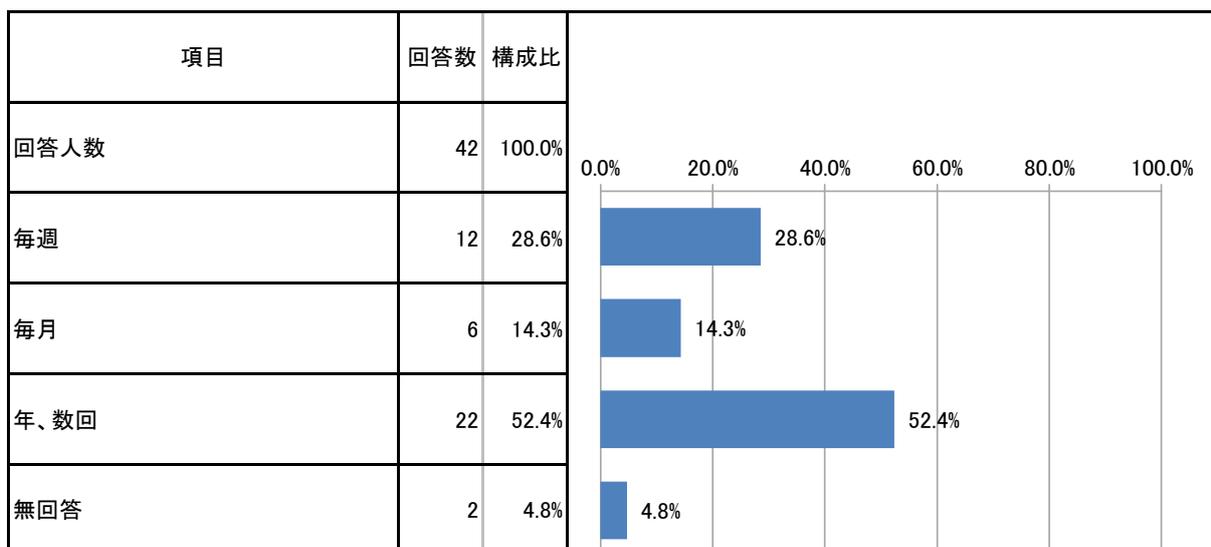
## (1) 利用の有無

保育園の一時預かりの利用の有無については、「有」が18.2%、「無」が81.8%となっている。



## (2) 利用頻度

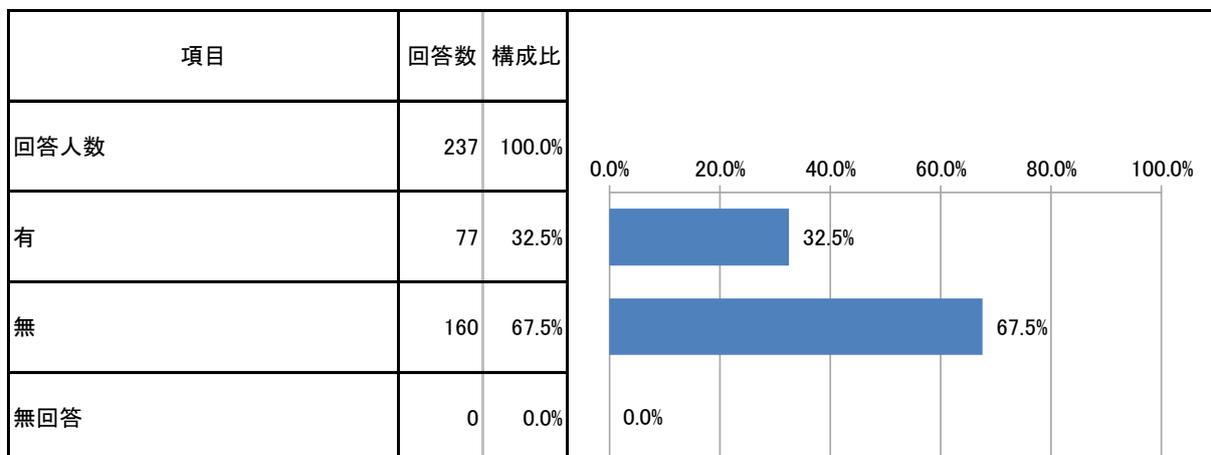
保育園の一時預かりの利用頻度については、「年、数回」が52.4%と最も多く、次いで「毎週」が28.6%、「毎月」が14.3%となっている。



C 幼稚園の預かり保育

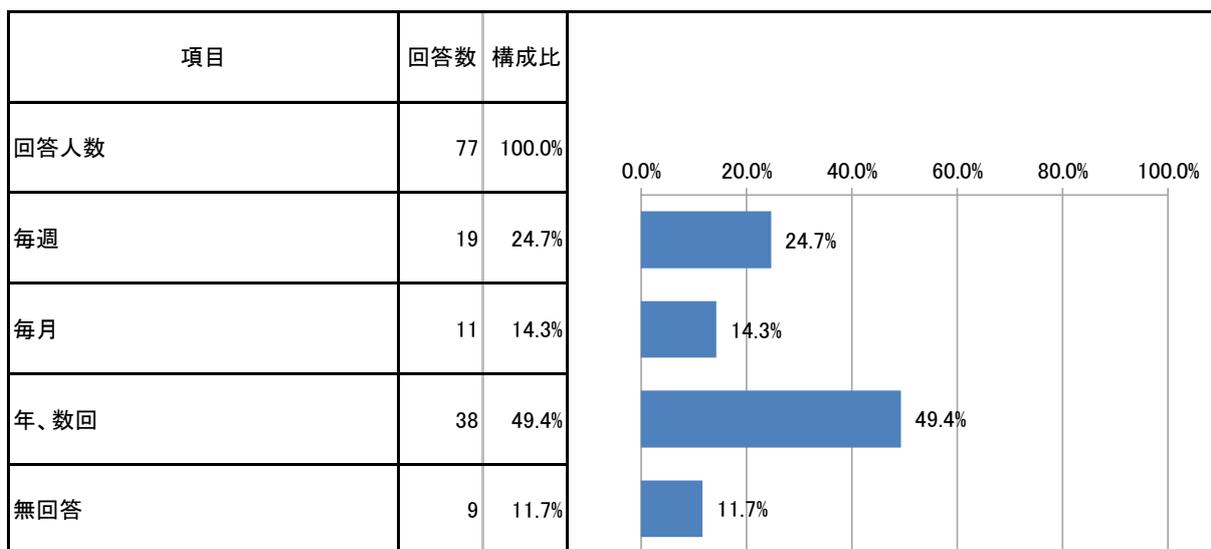
(1) 利用の有無

幼稚園の預かり保育の利用の有無については、「有」が32.5%、「無」が67.5%となっている。



(2) 利用頻度

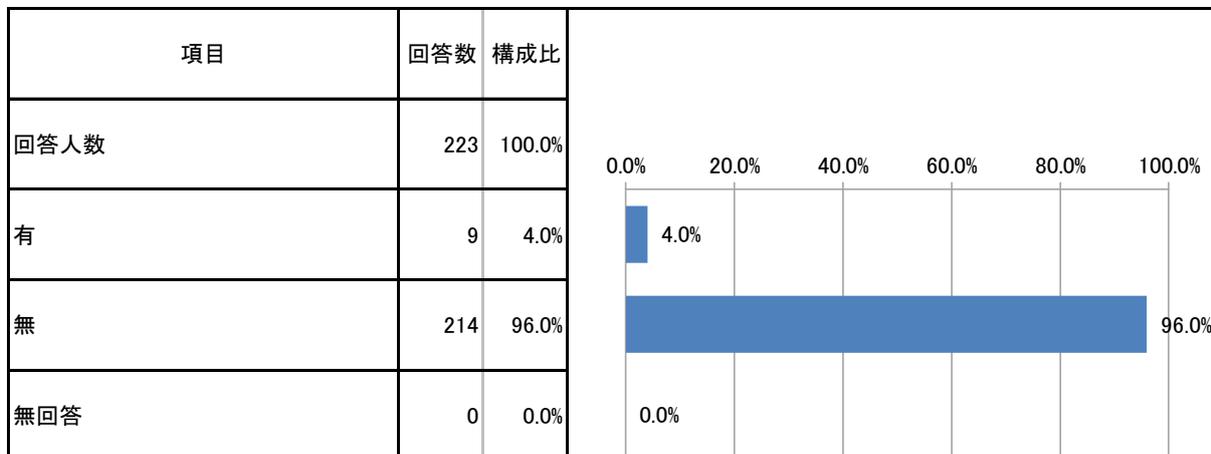
幼稚園の預かり保育の利用頻度については、「年、数回」が49.4%と最も高く、次いで「毎週」が24.7%、「毎月」が14.3%となっている。



D すこやか子育て交流館（りぼんかん）の一時預かり

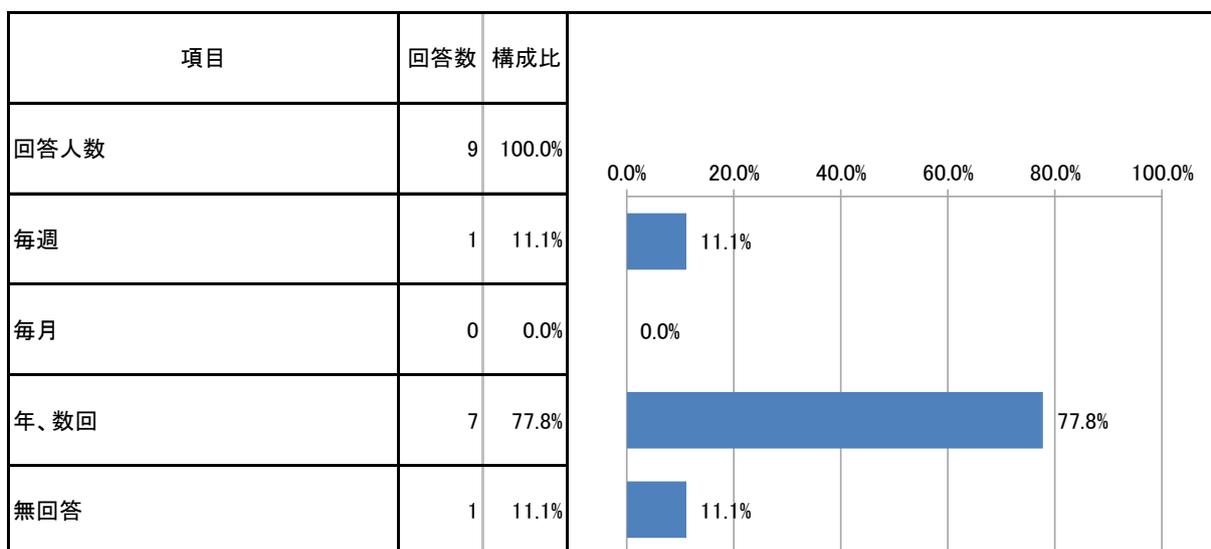
(1) 利用の有無

すこやか子育て交流館（りぼんかん）の一時預かりの利用の有無については、「有」が4.0%「無」が96.0%となっている。



(2) 利用頻度

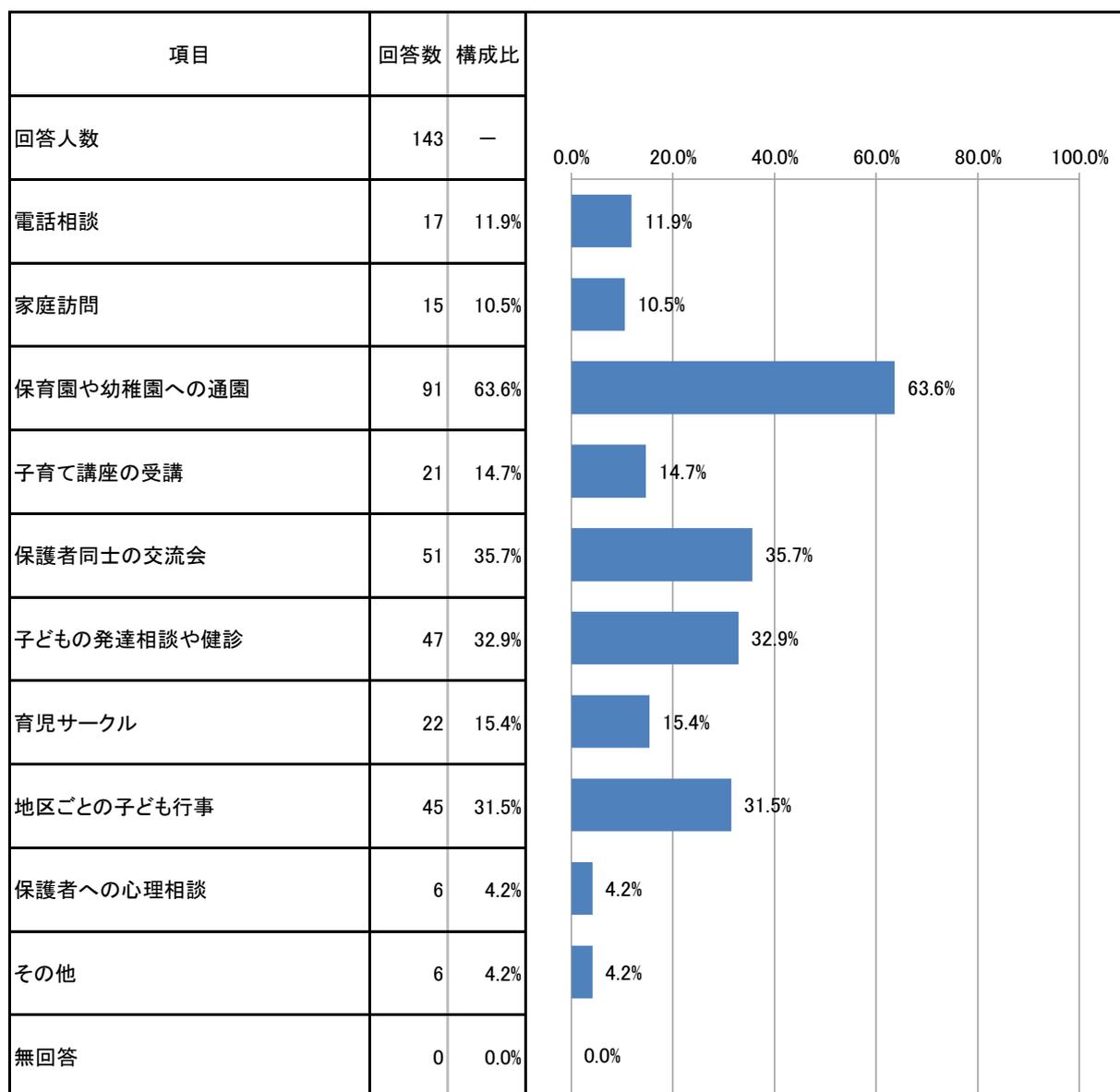
すこやか子育て交流館（りぼんかん）の一時預かりの利用頻度については、「年、数回」が77.8%と最も高く、次いで「毎週」が11.1%となっている。



問 15 あなたは、どのような子育て支援を活用していますか。（または、活用したことがありますか）また、どのような子育て支援があればいいと考えていますか。（最も希望するもの3つに○）

（現在活用している）

子育て支援の活用状況については、「保育園や幼稚園への通園」が63.6%と最も高く、次いで「保護者同士の交流会」が35.7%、「子どもの発達相談や健診」が32.9%、「地区ごとの子ども行事」が31.5%となっている。



## 【属性別特徴】

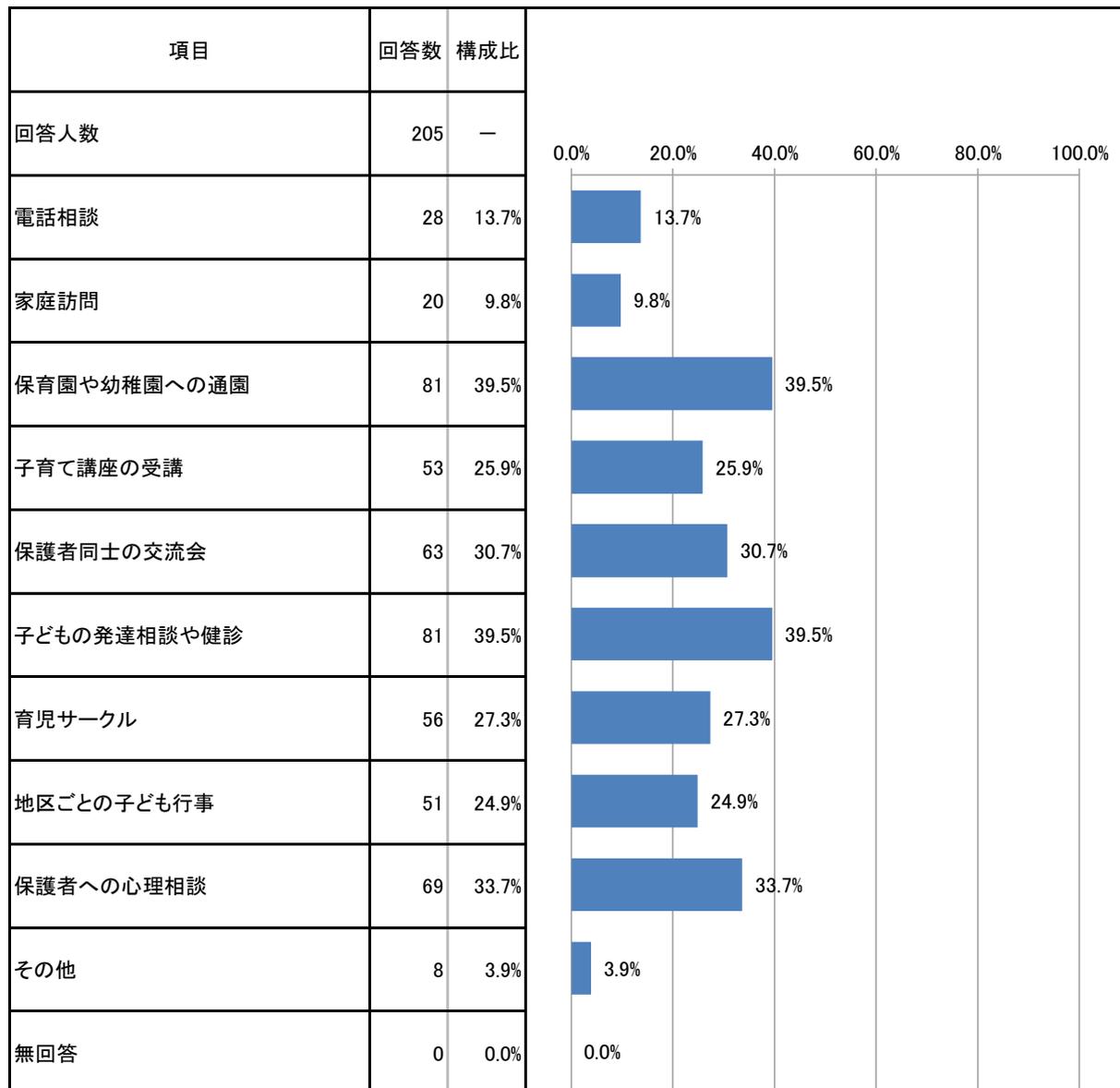
性別では、女の「育児サークル」が19.2%で、男の7.0%に比べて高くなっている。

就労状況別では、就労している人、就労していない人ともに、「保育園や幼稚園への通園」が最も高いが、就労していない人は、「子どもの発達相談や健診」が43.9%で、就労している人の26.7%に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別						就労状況別									
			男		女		無回答		就労している		就労していない		学生		その他		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	143	-	43	-	99	-	1	-	86	-	41	-	1	-	10	-	5	-
電話相談	17	11.9%	4	9.3%	12	12.1%	1	100.0%	9	10.5%	5	12.2%	0	0.0%	1	10.0%	2	40.0%
家庭訪問	15	10.5%	7	16.3%	8	8.1%	0	0.0%	7	8.1%	5	12.2%	0	0.0%	1	10.0%	2	40.0%
保育園や幼稚園への通園	91	63.6%	29	67.4%	62	62.6%	0	0.0%	63	73.3%	21	51.2%	0	0.0%	5	50.0%	2	40.0%
子育て講座の受講	21	14.7%	6	14.0%	15	15.2%	0	0.0%	10	11.6%	9	22.0%	1	100.0%	0	0.0%	1	20.0%
保護者同士の交流会	51	35.7%	12	27.9%	39	39.4%	0	0.0%	30	34.9%	16	39.0%	1	100.0%	3	30.0%	1	20.0%
子どもの発達相談や健診	47	32.9%	14	32.6%	33	33.3%	0	0.0%	23	26.7%	18	43.9%	0	0.0%	3	30.0%	3	60.0%
育児サークル	22	15.4%	3	7.0%	19	19.2%	0	0.0%	10	11.6%	11	26.8%	0	0.0%	1	10.0%	0	0.0%
地区ごとの子ども行事	45	31.5%	15	34.9%	30	30.3%	0	0.0%	30	34.9%	12	29.3%	1	100.0%	1	10.0%	1	20.0%
保護者への心理相談	6	4.2%	3	7.0%	3	3.0%	0	0.0%	4	4.7%	1	2.4%	0	0.0%	1	10.0%	0	0.0%
その他	6	4.2%	0	0.0%	6	6.1%	0	0.0%	1	1.2%	2	4.9%	0	0.0%	3	30.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

（充実して欲しい）

充実して欲しい子育て支援については、「保育園や幼稚園への通園」「子どもの発達相談や健診」が39.5%と最も高く、次いで「保護者への心理相談」が33.7%、「保護者同士の交流会」が30.7%となっている。



## 【属性別特徴】

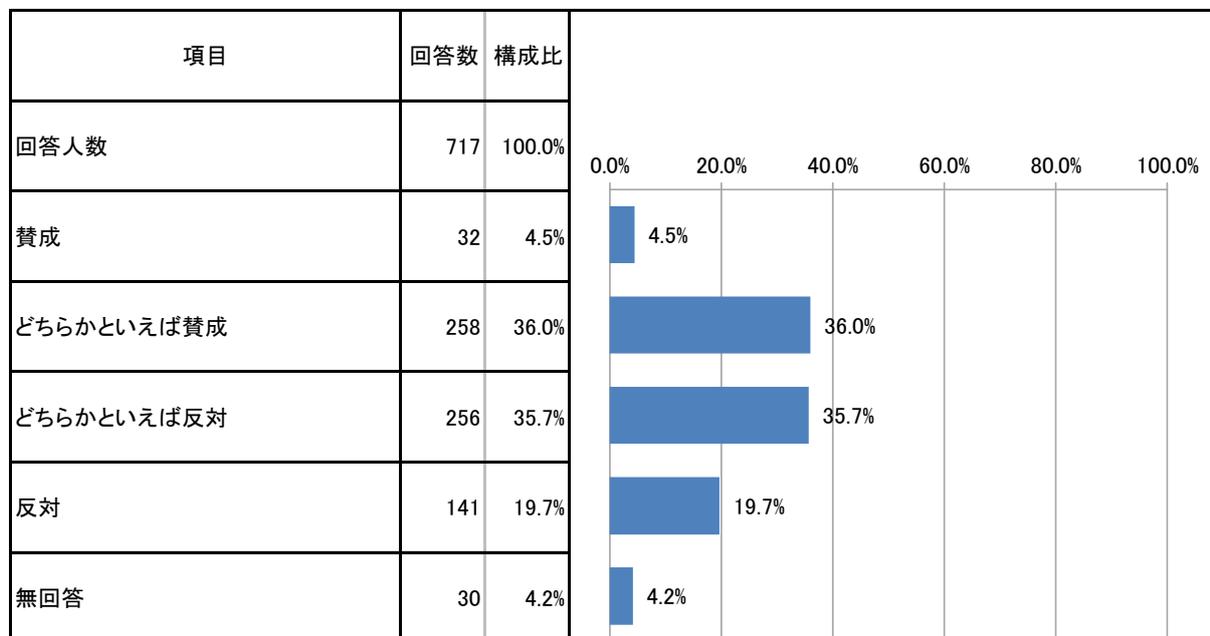
性別では、男の「地区ごとの子ども行事」が30.3%で、女の21.7%に比べてやや高くなっている。

就労状況別では、就労していない人は、いずれも大きな差は見られなかったが、就労している人は、「保育園や幼稚園への通園」が42.1%、「子どもの発達相談や健診」が40.7%と高くなっており、就労している人が利用しにくいと感じている割合が高いものと考えられる。

項目	回答人数		性別						就労状況別									
			男		女		無回答		就労している		就労していない		学生		その他		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	205	—	76	—	129	—	0	—	140	—	49	—	2	—	10	—	4	—
電話相談	28	13.7%	11	14.5%	17	13.2%	0	—	19	13.6%	6	12.2%	1	50.0%	1	10.0%	1	25.0%
家庭訪問	20	9.8%	9	11.8%	11	8.5%	0	—	11	7.9%	8	16.3%	0	0.0%	1	10.0%	0	0.0%
保育園や幼稚園への通園	81	39.5%	32	42.1%	49	38.0%	0	—	59	42.1%	18	36.7%	1	50.0%	2	20.0%	1	25.0%
子育て講座の受講	53	25.9%	22	28.9%	31	24.0%	0	—	34	24.3%	14	28.6%	0	0.0%	5	50.0%	0	0.0%
保護者同士の交流会	63	30.7%	22	28.9%	41	31.8%	0	—	43	30.7%	18	36.7%	1	50.0%	1	10.0%	0	0.0%
子どもの発達相談や健診	81	39.5%	29	38.2%	52	40.3%	0	—	57	40.7%	18	36.7%	1	50.0%	4	40.0%	1	25.0%
育児サークル	56	27.3%	19	25.0%	37	28.7%	0	—	38	27.1%	14	28.6%	1	50.0%	2	20.0%	1	25.0%
地区ごとの子ども行事	51	24.9%	23	30.3%	28	21.7%	0	—	38	27.1%	10	20.4%	0	0.0%	1	10.0%	2	50.0%
保護者への心理相談	69	33.7%	22	28.9%	47	36.4%	0	—	44	31.4%	19	38.8%	1	50.0%	3	30.0%	2	50.0%
その他	8	3.9%	1	1.3%	7	5.4%	0	—	4	2.9%	3	6.1%	0	0.0%	1	10.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	—	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

問 16 あなたは、「男性は仕事、女性は家庭」という考え方についてどう思いますか。  
(ひとつに○)

「男性は仕事、女性は家庭」という考え方については、「どちらかといえば賛成」が 36.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば反対」が 35.7%、「反対」が 19.7%、「賛成」が 4.5%となっている。



## 【属性別特徴】

性別では、女の「反対」、「どちらかといえば反対」が59.1%で、男の48.9%に比べて高くなっている。

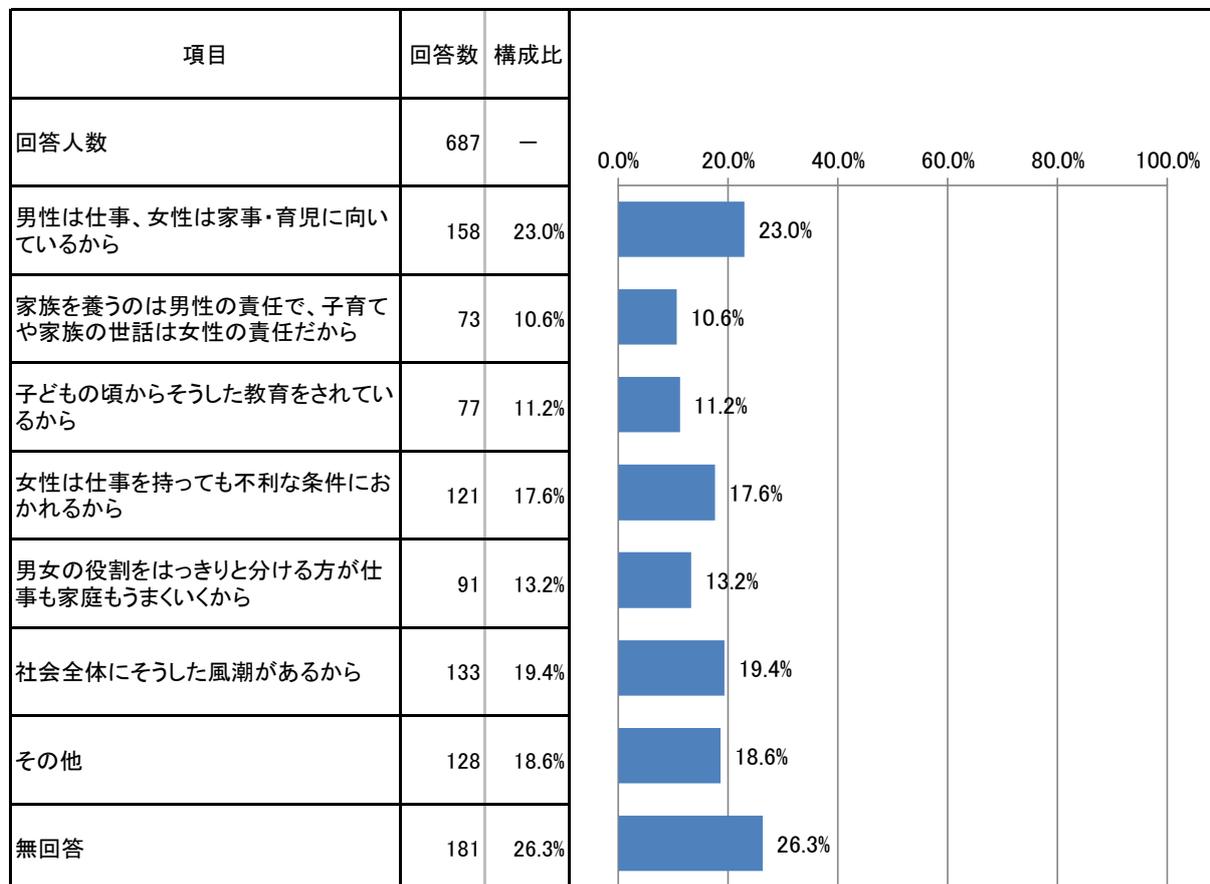
年代別では、「反対」、「どちらかといえば反対」が最も高いのは30代で63.2%、最も低かったのは60代で45.0%となっている。

項目	回答人数		性別					
			男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	256	100.0%	460	100.0%	1	100.0%
賛成	32	4.5%	16	6.3%	16	3.5%	0	0.0%
どちらかといえば賛成	258	36.0%	104	40.6%	153	33.3%	1	100.0%
どちらかといえば反対	256	35.7%	78	30.5%	178	38.7%	0	0.0%
反対	141	19.7%	47	18.4%	94	20.4%	0	0.0%
無回答	30	4.2%	11	4.3%	19	4.1%	0	0.0%

項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	70	100.0%	89	100.0%	106	100.0%	133	100.0%	156	100.0%	160	100.0%	3	100.0%
賛成	32	4.5%	3	4.3%	6	6.7%	3	2.8%	1	0.8%	5	3.2%	14	8.8%	0	0.0%
どちらかといえば賛成	258	36.0%	19	27.1%	31	34.8%	35	33.0%	51	38.3%	58	37.2%	62	38.8%	2	66.7%
どちらかといえば反対	256	35.7%	25	35.7%	35	39.3%	46	43.4%	49	36.8%	58	37.2%	43	26.9%	0	0.0%
反対	141	19.7%	17	24.3%	15	16.9%	21	19.8%	30	22.6%	29	18.6%	29	18.1%	0	0.0%
無回答	30	4.2%	6	8.6%	2	2.2%	1	0.9%	2	1.5%	6	3.8%	12	7.5%	1	33.3%

### 問 16-1 問 16 と答えられた理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

問 16 と答えた理由については、「男性は仕事、女性は家事・育児に向いているから」が 23.0% と最も高く、次いで「社会全体にそうした風潮があるから」が 19.4%、「女性は仕事を持って も不利な条件におかれるから」が 17.6%となっている。



## 【属性別特徴】

性別では、女の「女性は仕事を持っても不利な条件におかれるから」が 21.5%で、男の 10.6%に比べて高くなっている。

年代別では、「家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから」は、年代が高くなるごとに割合が高くなり、「女性は仕事を持っても不利な条件におかれるから」は、20代の 26.4%、40代の 24.4%が高い。

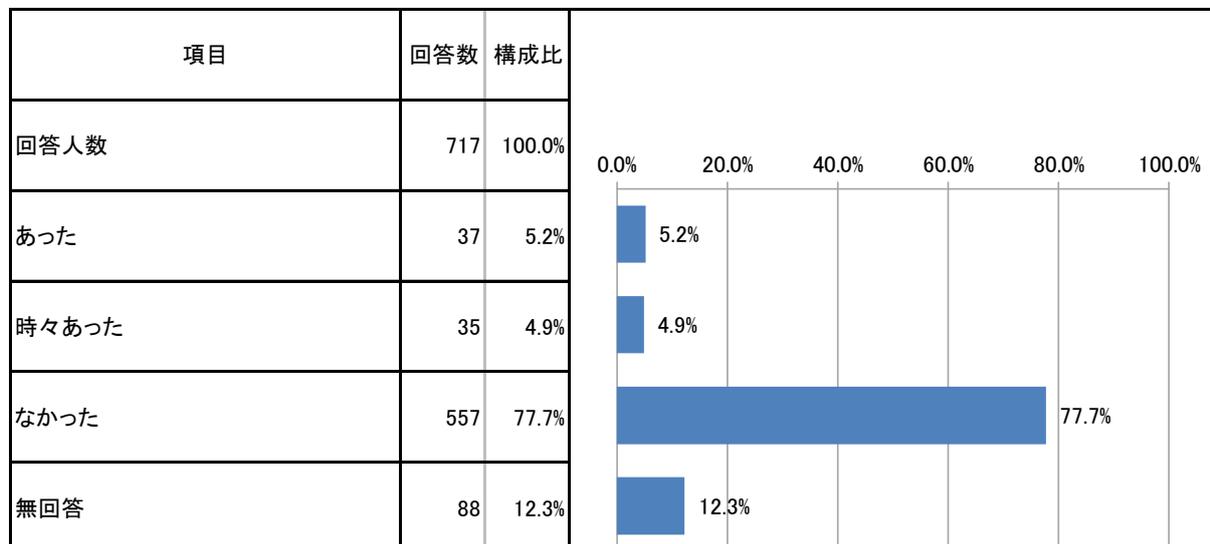
項目	回答人数		性別					
			男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	687	—	245	—	441	—	1	—
男性は仕事、女性は家事・育児に向いているから	158	23.0%	60	24.5%	97	22.0%	1	100.0%
家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから	73	10.6%	29	11.8%	44	10.0%	0	0.0%
子どもの頃からそうした教育をされているから	77	11.2%	26	10.6%	51	11.6%	0	0.0%
女性は仕事を持っても不利な条件におかれるから	121	17.6%	26	10.6%	95	21.5%	0	0.0%
男女の役割をはっきりと分ける方が仕事も家庭もうまくいくから	91	13.2%	39	15.9%	52	11.8%	0	0.0%
社会全体にそうした風潮があるから	133	19.4%	51	20.8%	82	18.6%	0	0.0%
その他	128	18.6%	40	16.3%	88	20.0%	0	0.0%
無回答	181	26.3%	63	25.7%	118	26.8%	0	0.0%

項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	687	—	64	—	87	—	105	—	131	—	150	—	148	—	2	—
男性は仕事、女性は家事・育児に向いているから	158	23.0%	10	15.6%	19	21.8%	30	28.6%	28	21.4%	39	26.0%	31	20.9%	1	50.0%
家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから	73	10.6%	2	3.1%	6	6.9%	6	5.7%	12	9.2%	21	14.0%	26	17.6%	0	0.0%
子どもの頃からそうした教育をされているから	77	11.2%	2	3.1%	8	9.2%	12	11.4%	9	6.9%	23	15.3%	23	15.5%	0	0.0%
女性は仕事を持っても不利な条件におかれるから	121	17.6%	5	7.8%	23	26.4%	19	18.1%	32	24.4%	24	16.0%	18	12.2%	0	0.0%
男女の役割をはっきりと分ける方が仕事も家庭もうまくいくから	91	13.2%	9	14.1%	10	11.5%	11	10.5%	11	8.4%	24	16.0%	25	16.9%	1	50.0%
社会全体にそうした風潮があるから	133	19.4%	19	29.7%	16	18.4%	26	24.8%	17	13.0%	31	20.7%	24	16.2%	0	0.0%
その他	128	18.6%	17	26.6%	24	27.6%	18	17.1%	27	20.6%	17	11.3%	25	16.9%	0	0.0%
無回答	181	26.3%	11	17.2%	15	17.2%	25	23.8%	32	24.4%	50	33.3%	48	32.4%	0	0.0%

問 17 あなたは、現在又はこれまでに、交際相手から次のようなことをされたことがありますか。(AからHの項目ごとにひとつに○)

A 殴ったり、殴るふりをする

交際相手に殴ったり、殴るふりをされた経験については、「なかった」が77.7%と最も高く、次いで「あった」が5.2%、「時々あった」が4.9%となっている。



## 【属性別特徴】

性別では、女の「あった」、「時々あった」が 12.0%で、男の 6.6%に比べてやや高くなっている。

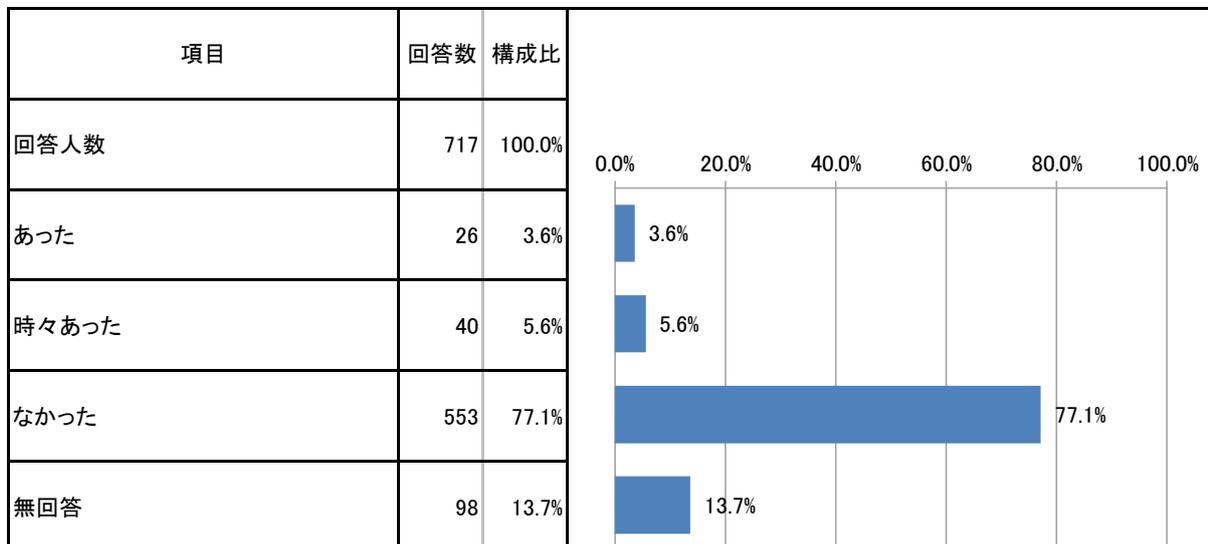
年代別では、40代の「あった」、「時々あった」が 15.0%で、他の年代に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別					
			男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	256	100.0%	460	100.0%	1	100.0%
あった	37	5.2%	8	3.1%	29	6.3%	0	0.0%
時々あった	35	4.9%	9	3.5%	26	5.7%	0	0.0%
なかった	557	77.7%	209	81.6%	347	75.4%	1	100.0%
無回答	88	12.3%	30	11.7%	58	12.6%	0	0.0%

項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	70	100.0%	89	100.0%	106	100.0%	133	100.0%	156	100.0%	160	100.0%	3	100.0%
あった	37	5.2%	2	2.9%	5	5.6%	4	3.8%	12	9.0%	7	4.5%	7	4.4%	0	0.0%
時々あった	35	4.9%	2	2.9%	3	3.4%	7	6.6%	8	6.0%	9	5.8%	6	3.8%	0	0.0%
なかった	557	77.7%	48	68.6%	75	84.3%	88	83.0%	106	79.7%	125	80.1%	113	70.6%	2	66.7%
無回答	88	12.3%	18	25.7%	6	6.7%	7	6.6%	7	5.3%	15	9.6%	34	21.3%	1	33.3%

**B 携帯を勝手にチェックしたり、異性のアドレスを消せと言う**

交際相手が携帯を勝手にチェックしたり、異性のアドレスを消せと言われた経験については、「なかった」が77.1%と最も高く、次いで「時々あった」が5.6%、「あった」が3.6%となっている。



## 【属性別特徴】

性別では、大きな差異はみられない。

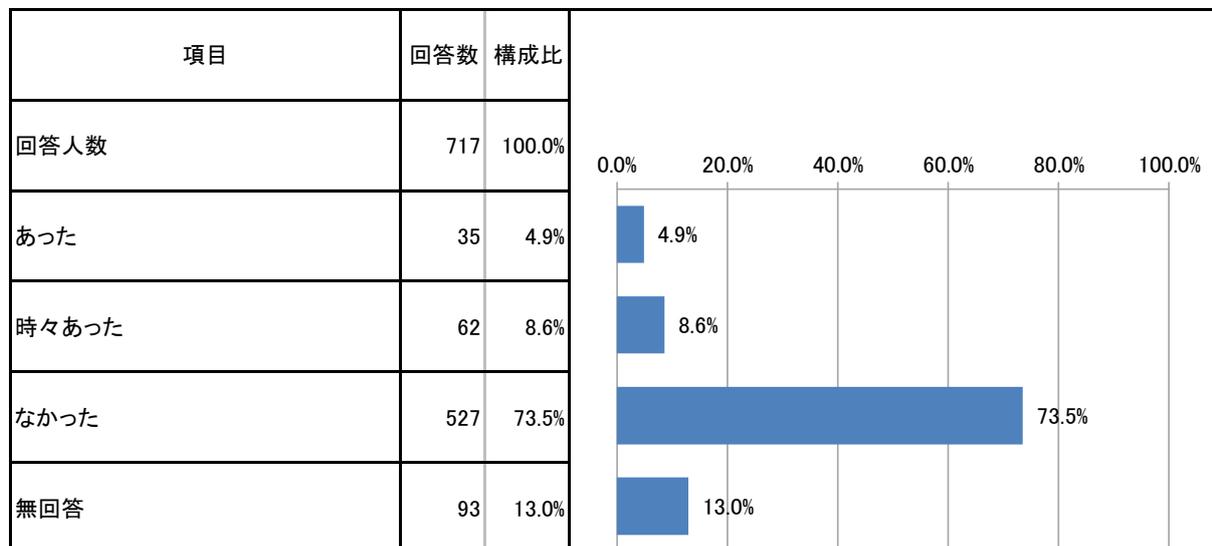
年代別では、20代の「あった」、「時々あった」が21.3%で、他の年代に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別					
			男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	256	100.0%	460	100.0%	1	100.0%
あった	26	3.6%	7	2.7%	19	4.1%	0	0.0%
時々あった	40	5.6%	14	5.5%	26	5.7%	0	0.0%
なかった	553	77.1%	203	79.3%	350	76.1%	0	0.0%
無回答	98	13.7%	32	12.5%	65	14.1%	1	100.0%

項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	70	100.0%	89	100.0%	106	100.0%	133	100.0%	156	100.0%	160	100.0%	3	100.0%
あった	26	3.6%	3	4.3%	9	10.1%	5	4.7%	5	3.8%	3	1.9%	1	0.6%	0	0.0%
時々あった	40	5.6%	2	2.9%	10	11.2%	11	10.4%	10	7.5%	7	4.5%	0	0.0%	0	0.0%
なかった	553	77.1%	47	67.1%	64	71.9%	83	78.3%	108	81.2%	130	83.3%	120	75.0%	1	33.3%
無回答	98	13.7%	18	25.7%	6	6.7%	7	6.6%	10	7.5%	16	10.3%	39	24.4%	2	66.7%

C 異性の話に不機嫌になったり、異性と話すなど言う

交際相手が異性の話に不機嫌になったり、異性と話すなど言われた経験については、「なかった」が73.5%と最も高く、次いで「時々あった」が8.6%、「あった」が4.9%となっている。



## 【属性別特徴】

性別では、大きな差異はみられない。

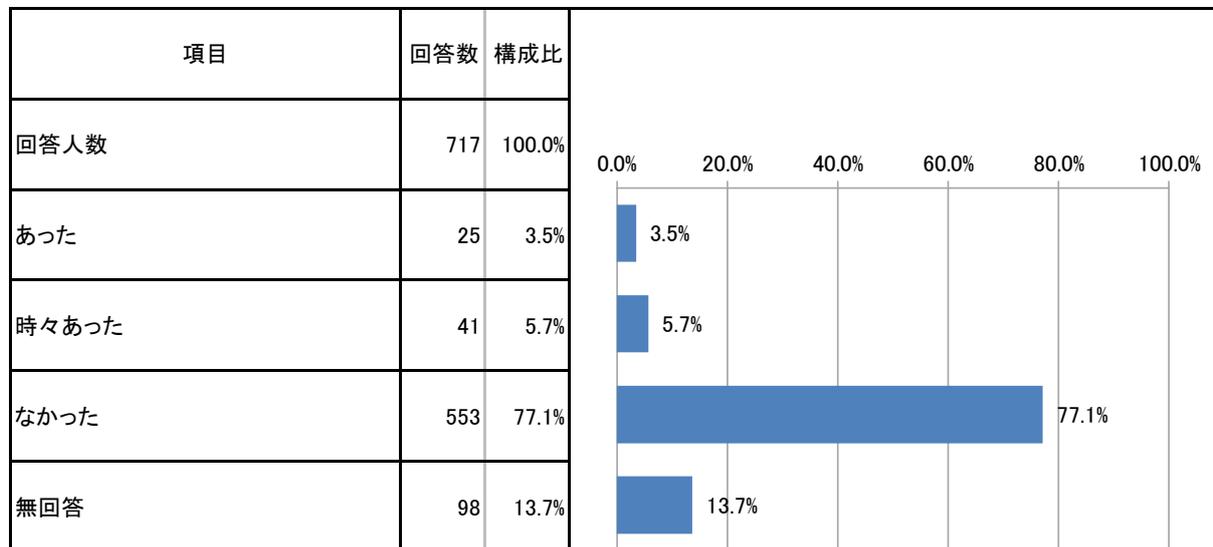
年代別では、「あった」、「時々あった」が30代で22.7%、20代で20.2%と他の年代に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別					
			男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	256	100.0%	460	100.0%	1	100.0%
あった	35	4.9%	9	3.5%	26	5.7%	0	0.0%
時々あった	62	8.6%	21	8.2%	41	8.9%	0	0.0%
なかった	527	73.5%	196	76.6%	331	72.0%	0	0.0%
無回答	93	13.0%	30	11.7%	62	13.5%	1	100.0%

項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	70	100.0%	89	100.0%	106	100.0%	133	100.0%	156	100.0%	160	100.0%	3	100.0%
あった	35	4.9%	3	4.3%	10	11.2%	6	5.7%	6	4.5%	5	3.2%	5	3.1%	0	0.0%
時々あった	62	8.6%	1	1.4%	8	9.0%	18	17.0%	14	10.5%	16	10.3%	5	3.1%	0	0.0%
なかった	527	73.5%	48	68.6%	65	73.0%	75	70.8%	103	77.4%	121	77.6%	114	71.3%	1	33.3%
無回答	93	13.0%	18	25.7%	6	6.7%	7	6.6%	10	7.5%	14	9.0%	36	22.5%	2	66.7%

D 頻繁に電話をかけてきたり、メールを送ってきて、すぐに返事をしないと怒る

交際相手が頻繁に電話をかけてきたり、メールを送ってきて、すぐに返事をしないと怒られた経験については、「なかった」が 77.1%と最も高く、次いで「時々あった」が 5.7%、「あった」が 3.5%となっている。



## 【属性別特徴】

性別では、大きな差異はみられない。

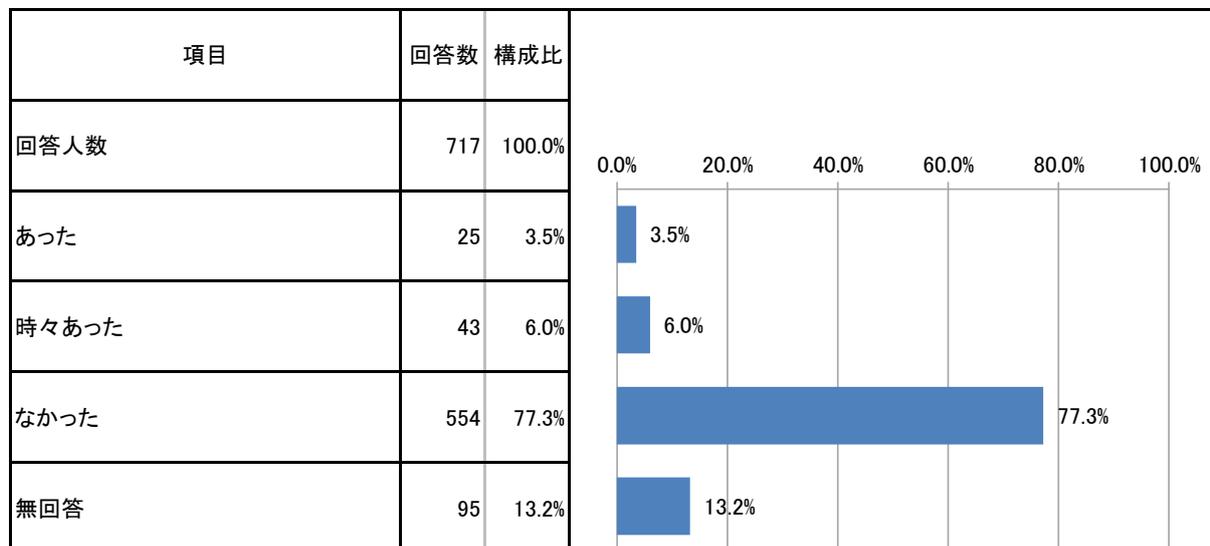
年代別では、20代の「あった」、「時々あった」が21.3%で、他の年代に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別					
			男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	256	100.0%	460	100.0%	1	100.0%
あった	25	3.5%	9	3.5%	16	3.5%	0	0.0%
時々あった	41	5.7%	11	4.3%	30	6.5%	0	0.0%
なかった	553	77.1%	204	79.7%	349	75.9%	0	0.0%
無回答	98	13.7%	32	12.5%	65	14.1%	1	100.0%

項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	70	100.0%	89	100.0%	106	100.0%	133	100.0%	156	100.0%	160	100.0%	3	100.0%
あった	25	3.5%	1	1.4%	10	11.2%	3	2.8%	5	3.8%	5	3.2%	1	0.6%	0	0.0%
時々あった	41	5.7%	1	1.4%	9	10.1%	9	8.5%	8	6.0%	8	5.1%	6	3.8%	0	0.0%
なかった	553	77.1%	50	71.4%	64	71.9%	86	81.1%	110	82.7%	127	81.4%	115	71.9%	1	33.3%
無回答	98	13.7%	18	25.7%	6	6.7%	8	7.5%	10	7.5%	16	10.3%	38	23.8%	2	66.7%

E 何事も交際相手を優先しないと不機嫌になる

何事も交際相手を優先しないと不機嫌になる経験については、「なかった」が77.3%と最も高く、次いで「時々あった」が6.0%、「あった」が3.5%となっている。



## 【属性別特徴】

性別では、大きな差異はみられない。

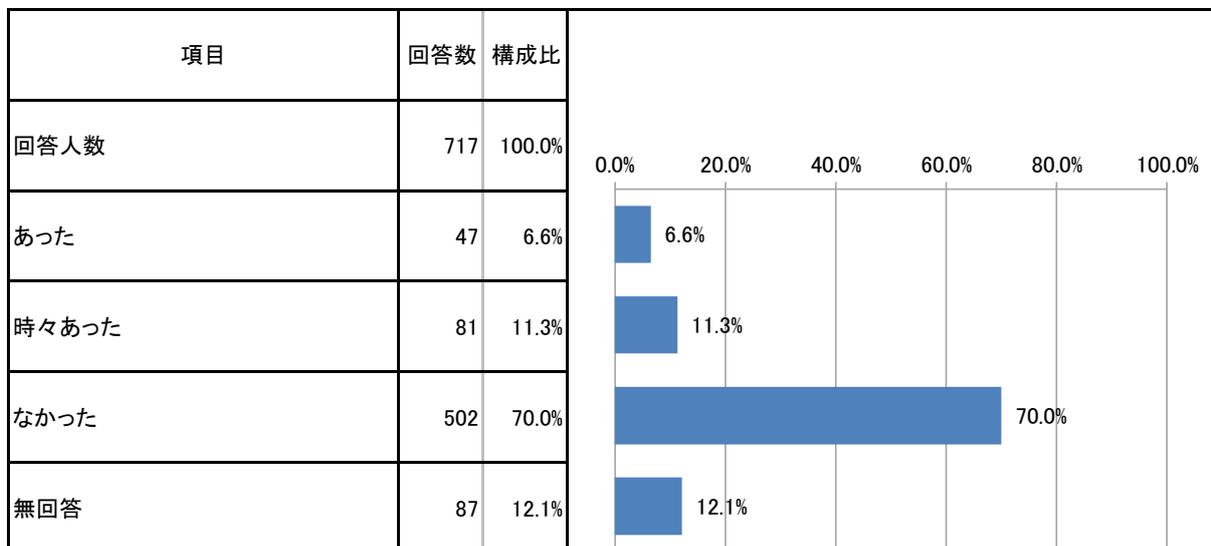
年代別では、20代の「あった」、「時々あった」が18.0%で、他の年代に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別					
			男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	256	100.0%	460	100.0%	1	100.0%
あった	25	3.5%	7	2.7%	18	3.9%	0	0.0%
時々あった	43	6.0%	13	5.1%	30	6.5%	0	0.0%
なかった	554	77.3%	205	80.1%	349	75.9%	0	0.0%
無回答	95	13.2%	31	12.1%	63	13.7%	1	100.0%

項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	70	100.0%	89	100.0%	106	100.0%	133	100.0%	156	100.0%	160	100.0%	3	100.0%
あった	25	3.5%	2	2.9%	5	5.6%	3	2.8%	5	3.8%	5	3.2%	5	3.1%	0	0.0%
時々あった	43	6.0%	1	1.4%	11	12.4%	7	6.6%	11	8.3%	10	6.4%	3	1.9%	0	0.0%
なかった	554	77.3%	49	70.0%	67	75.3%	88	83.0%	108	81.2%	125	80.1%	116	72.5%	1	33.3%
無回答	95	13.2%	18	25.7%	6	6.7%	8	7.5%	9	6.8%	16	10.3%	36	22.5%	2	66.7%

F 大声でどなったり、傷つく言い方をされる

交際相手が大声でどなったり、傷つく言い方をされた経験については、「なかった」が70.0%と最も高く、次いで「時々あった」が11.3%、「あった」が6.6%となっている。



## 【属性別特徴】

性別では、女の「あった」、「時々あった」が21.1%で、男の12.1%と比べてやや高くなっている。

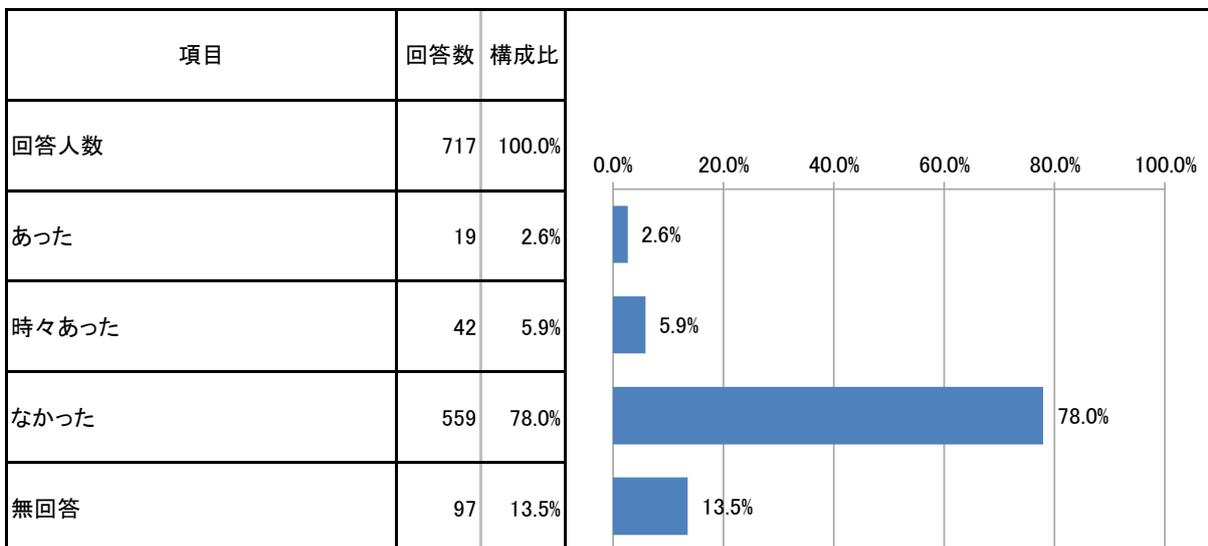
年代別では、「あった」、「時々あった」が40代で28.5%、30代で20.8%と他の年代に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別					
			男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	256	100.0%	460	100.0%	1	100.0%
あった	47	6.6%	8	3.1%	39	8.5%	0	0.0%
時々あった	81	11.3%	23	9.0%	58	12.6%	0	0.0%
なかった	502	70.0%	193	75.4%	309	67.2%	0	0.0%
無回答	87	12.1%	32	12.5%	54	11.7%	1	100.0%

項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	70	100.0%	89	100.0%	106	100.0%	133	100.0%	156	100.0%	160	100.0%	3	100.0%
あった	47	6.6%	4	5.7%	3	3.4%	7	6.6%	14	10.5%	10	6.4%	9	5.6%	0	0.0%
時々あった	81	11.3%	0	0.0%	10	11.2%	15	14.2%	24	18.0%	14	9.0%	18	11.3%	0	0.0%
なかった	502	70.0%	48	68.6%	70	78.7%	77	72.6%	89	66.9%	117	75.0%	100	62.5%	1	33.3%
無回答	87	12.1%	18	25.7%	6	6.7%	7	6.6%	6	4.5%	15	9.6%	33	20.6%	2	66.7%

G イヤと言っているのに、性的行為を強要される

イヤと言っているのに、性的行為を強要された経験については、「なかった」が78.0%と最も高く、次いで「時々あった」が5.9%、「あった」が2.6%となっている。



## 【属性別特徴】

性別では、女の「あった」「時々あった」が11.3%で、男の3.6%に比べてやや高くなっている。

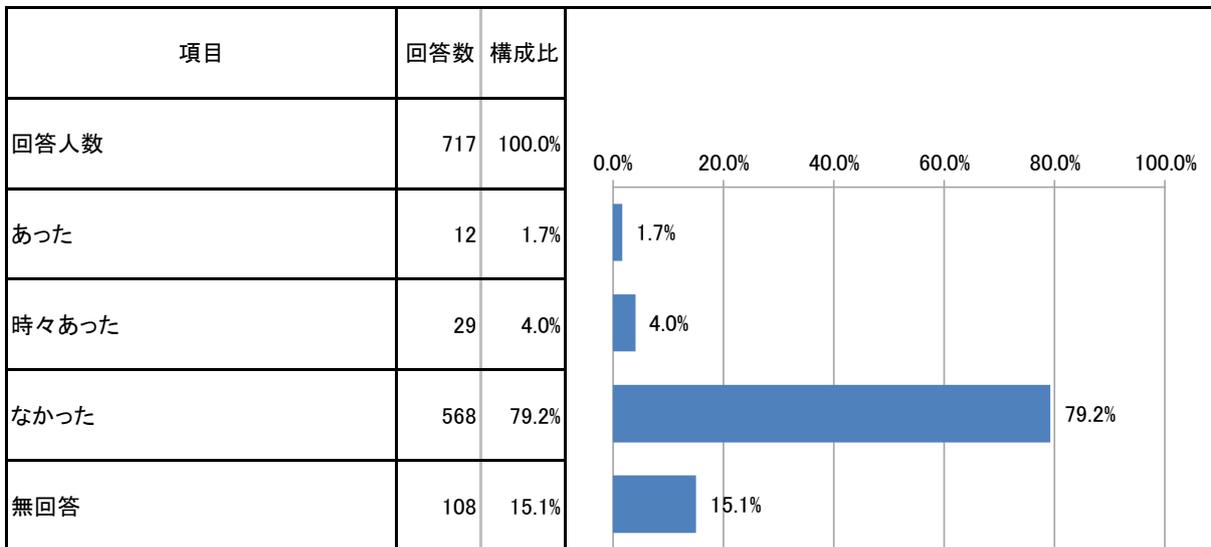
年代別では、40代の「あった」、「時々あった」が13.6%で、他の年代に比べてやや高くなっている。

項目	回答人数		性別					
			男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	256	100.0%	460	100.0%	1	100.0%
あった	19	2.6%	5	2.0%	14	3.0%	0	0.0%
時々あった	42	5.9%	4	1.6%	38	8.3%	0	0.0%
なかった	559	78.0%	214	83.6%	345	75.0%	0	0.0%
無回答	97	13.5%	33	12.9%	63	13.7%	1	100.0%

項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	70	100.0%	89	100.0%	106	100.0%	133	100.0%	156	100.0%	160	100.0%	3	100.0%
あった	19	2.6%	2	2.9%	2	2.2%	3	2.8%	5	3.8%	3	1.9%	4	2.5%	0	0.0%
時々あった	42	5.9%	1	1.4%	6	6.7%	5	4.7%	13	9.8%	8	5.1%	9	5.6%	0	0.0%
なかった	559	78.0%	49	70.0%	75	84.3%	90	84.9%	106	79.7%	128	82.1%	110	68.8%	1	33.3%
無回答	97	13.5%	18	25.7%	6	6.7%	8	7.5%	9	6.8%	17	10.9%	37	23.1%	2	66.7%

H 避妊に協力してくれない

避妊に協力してくれないという経験については、「なかった」が79.2%と最も高く、次いで「時々あった」が4.0%、「あった」が1.7%となっている。



## 【属性別特徴】

性別では、女の「あった」、「時々あった」が7.9%で、男の2.0%に比べてやや高くなっている。

年代別では、大きな差異はみられない。

項目	回答人数		性別					
			男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	256	100.0%	460	100.0%	1	100.0%
あった	12	1.7%	2	0.8%	10	2.2%	0	0.0%
時々あった	29	4.0%	3	1.2%	26	5.7%	0	0.0%
なかった	568	79.2%	214	83.6%	354	77.0%	0	0.0%
無回答	108	15.1%	37	14.5%	70	15.2%	1	100.0%

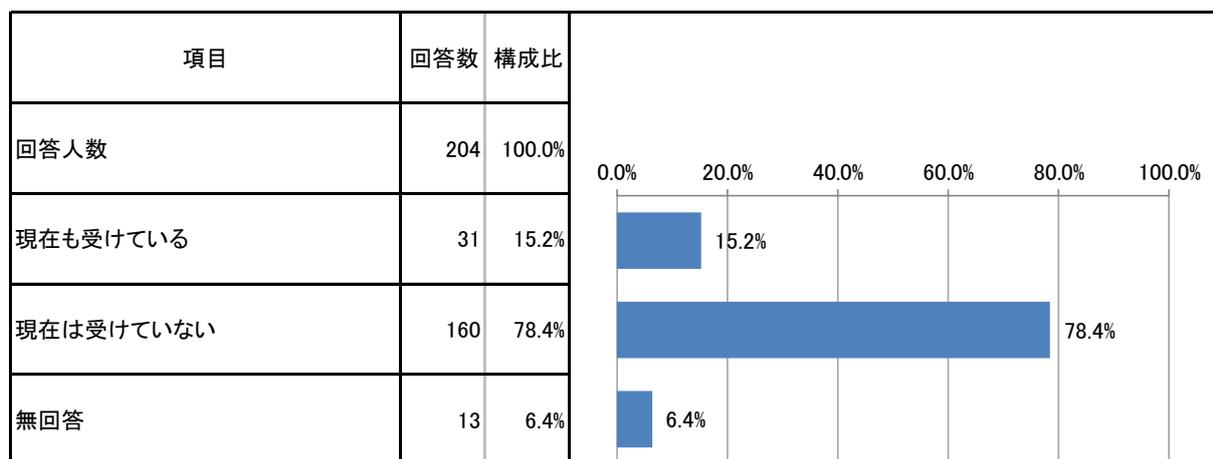
項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	70	100.0%	89	100.0%	106	100.0%	133	100.0%	156	100.0%	160	100.0%	3	100.0%
あった	12	1.7%	1	1.4%	4	4.5%	3	2.8%	1	0.8%	1	0.6%	2	1.3%	0	0.0%
時々あった	29	4.0%	1	1.4%	4	4.5%	7	6.6%	10	7.5%	4	2.6%	3	1.9%	0	0.0%
なかった	568	79.2%	50	71.4%	74	83.1%	88	83.0%	112	84.2%	130	83.3%	113	70.6%	1	33.3%
無回答	108	15.1%	18	25.7%	7	7.9%	8	7.5%	10	7.5%	21	13.5%	42	26.3%	2	66.7%

【一般】

※問 17 で『①あった』『②時々あった』に 1 つでもご回答された方にお聞きします。  
A から H のすべての項目において『③なかった』と回答された方は問 25 にお進み  
ください。

**問 18 問 17 のようなことを現在（過去 1 年以内を含む）も受けていますか。（ひとつ  
に〇）**

問 17 のようなことを現在（過去 1 年以内を含む）も受けているかについては、「現在も受  
けている」が 15.2%、「現在は受けていない」が 78.4%となっている。



【属性別特徴】

性別では、女の「現在も受けている」が 18.6%で、男の 6.8%に比べて高くなっている。  
年代別では、10代で回答した 5 人のうち 2 人が「現在も受けている」と答えており、  
20代でも 30 人のうち 5 人が「現在も受けている」と答えている。

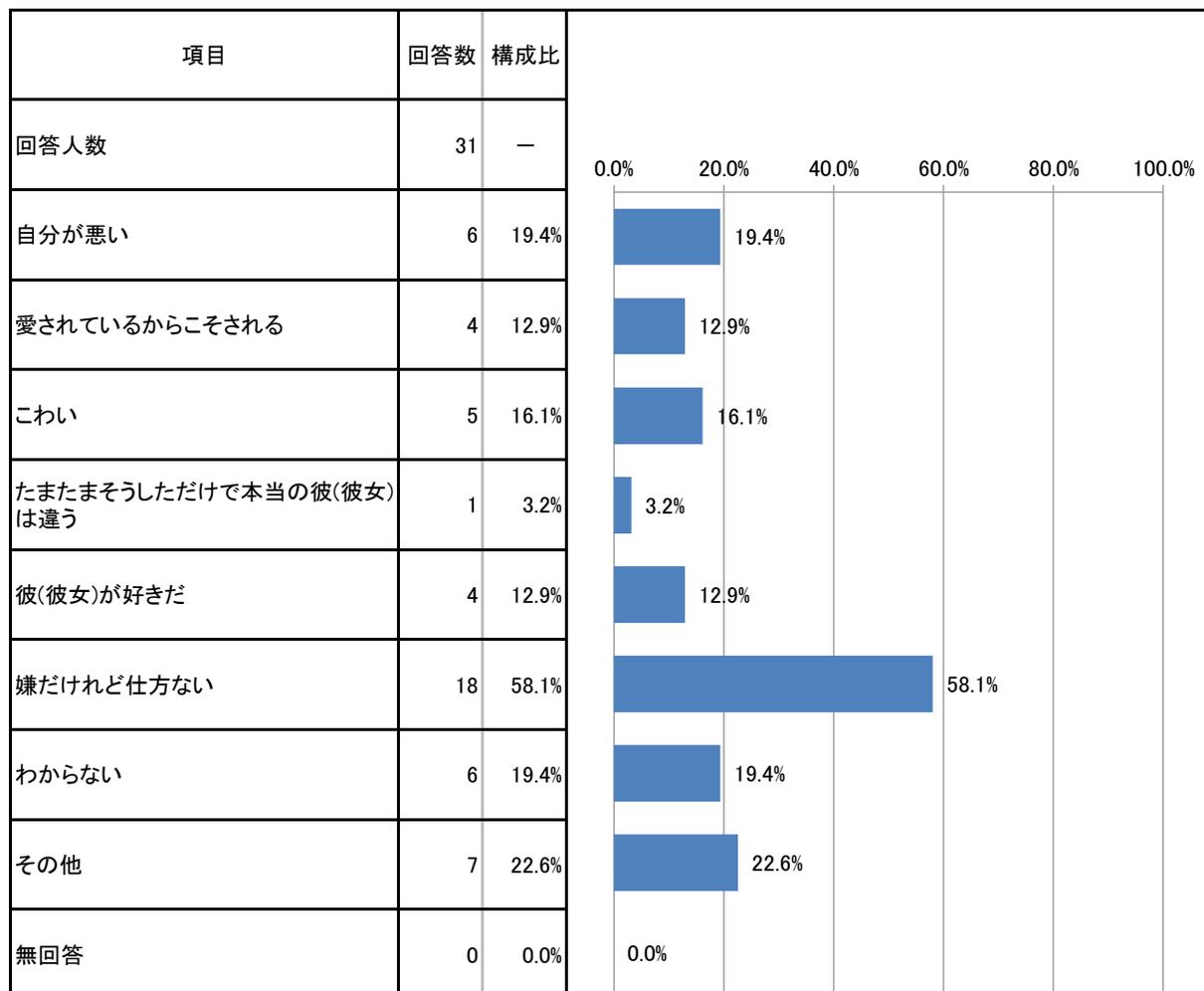
項目	回答人数		性別					
			男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	204	100.0%	59	100.0%	145	100.0%	0	0.0%
現在も受けている	31	15.2%	4	6.8%	27	18.6%	0	—
現在は受けていない	160	78.4%	49	83.1%	111	76.6%	0	—
無回答	13	6.4%	6	10.2%	7	4.8%	0	—

項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	204	100.0%	5	100.0%	30	100.0%	36	100.0%	50	100.0%	45	100.0%	38	100.0%	0	0.0%
現在も受けている	31	15.2%	2	40.0%	5	16.7%	4	11.1%	8	16.0%	7	15.6%	5	13.2%	0	—
現在は受けていない	160	78.4%	3	60.0%	23	76.7%	32	88.9%	39	78.0%	33	73.3%	30	78.9%	0	—
無回答	13	6.4%	0	0.0%	2	6.7%	0	0.0%	3	6.0%	5	11.1%	3	7.9%	0	—

※問 18 で『①現在も受けている』とご回答された方にお聞きします。

問 19 問 17 のようなことをされて、相手のことやその行為をどう感じていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

問 17 のようなことをされて、相手のことやその行為をどう感じるかについては、「嫌だけれど仕方ない」が 31 人中 18 人と最も多く、次いで「自分が悪い」「わからない」が、それぞれ 31 人中 6 人となっている。



## 【属性別特徴】

性別では、「嫌だけれど仕方ない」が、男で4人中4人、女で27人中14人と最も多くなっている。

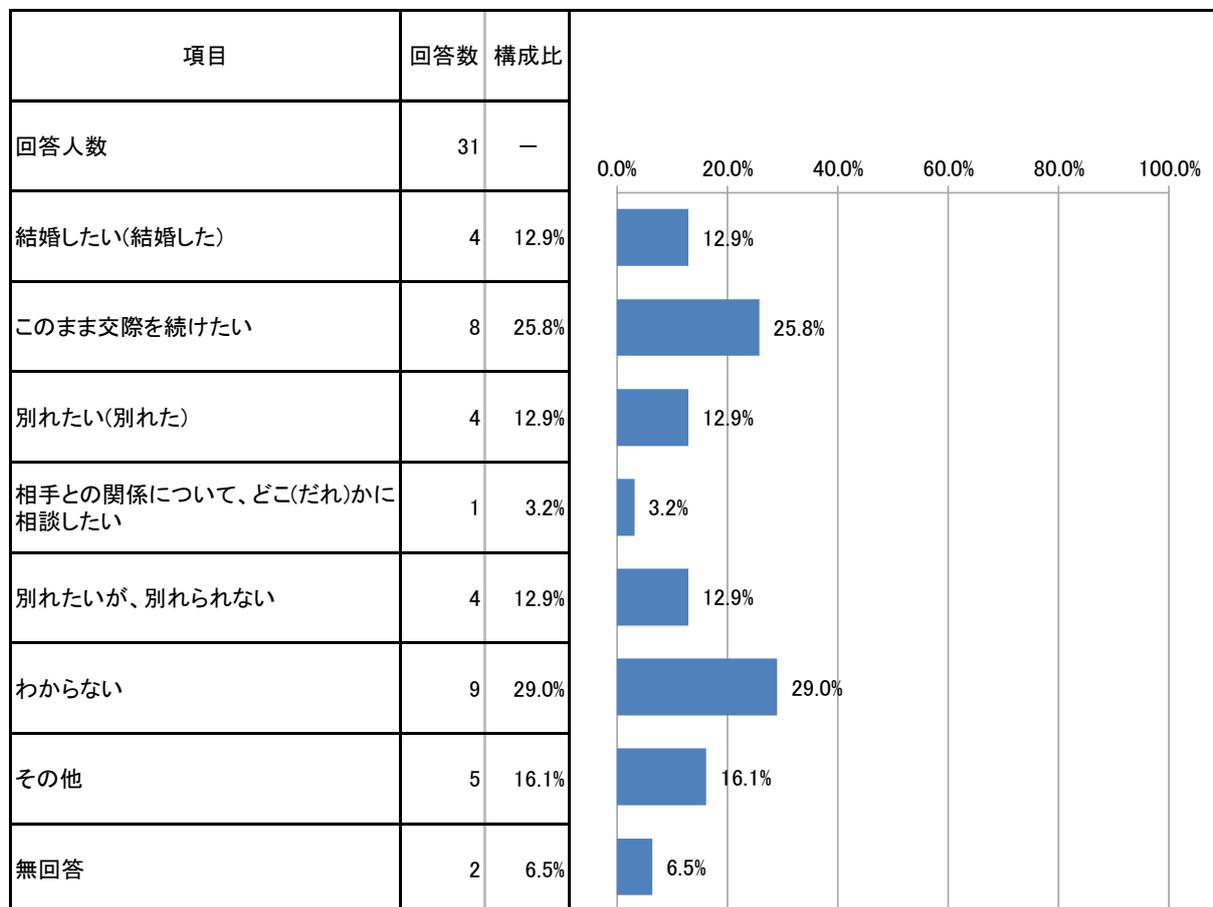
年代別では、10代で2人中2人が「愛されているからこそされる」、20代で5人中4人が「嫌だけれど仕方ない」と感じている。

項目	回答人数		性別					
			男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	31	—	4	—	27	—	0	—
自分が悪い	6	19.4%	2	50.0%	4	14.8%	0	—
愛されているからこそされる	4	12.9%	0	0.0%	4	14.8%	0	—
こわい	5	16.1%	0	0.0%	5	18.5%	0	—
たまたまそうしただけで本当の彼(彼女)は違う	1	3.2%	0	0.0%	1	3.7%	0	—
彼(彼女)が好きだ	4	12.9%	0	0.0%	4	14.8%	0	—
嫌だけれど仕方ない	18	58.1%	4	100.0%	14	51.9%	0	—
わからない	6	19.4%	0	0.0%	6	22.2%	0	—
その他	7	22.6%	1	25.0%	6	22.2%	0	—
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	—

項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	31	—	2	—	5	—	4	—	8	—	7	—	5	—	0	—
自分が悪い	6	19.4%	1	50.0%	2	40.0%	0	0.0%	1	12.5%	1	14.3%	1	20.0%	0	—
愛されているからこそされる	4	12.9%	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	12.5%	1	14.3%	0	0.0%	0	—
こわい	5	16.1%	1	50.0%	1	20.0%	1	25.0%	0	0.0%	1	14.3%	1	20.0%	0	—
たまたまそうしただけで本当の彼(彼女)は違う	1	3.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	0	—
彼(彼女)が好きだ	4	12.9%	1	50.0%	2	40.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	0	—
嫌だけれど仕方ない	18	58.1%	1	50.0%	4	80.0%	2	50.0%	5	62.5%	4	57.1%	2	40.0%	0	—
わからない	6	19.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	2	25.0%	1	14.3%	2	40.0%	0	—
その他	7	22.6%	0	0.0%	1	20.0%	2	50.0%	1	12.5%	2	28.6%	1	20.0%	0	—
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	—

問 20 問 17 のような行為をする相手と、今後どうしたいと考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

問 17 のような行為をする相手と、今後どうしたいと考えているかについては、「わからない」が 31 人中 9 人と最も多く、次いで「このまま交際を続けたい」が 31 人中 8 人となっている。



## 【属性別特徴】

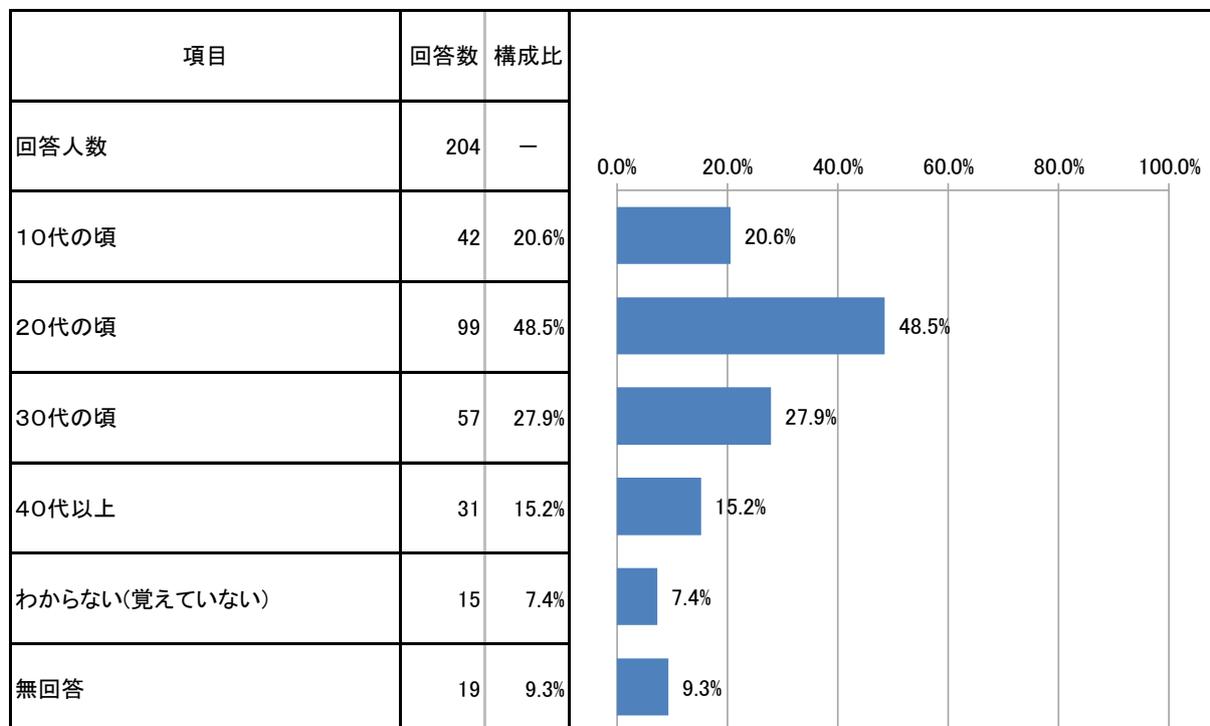
性別では、女の「わからない」が27人中9人で、男の0人に比べて高くなっている。  
年代別では、20代で5人中3人が「このまま交際を続けたい」と考えている。

項目	回答人数		性別					
			男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	31	—	4	—	27	—	0	—
結婚したい(結婚した)	4	12.9%	1	25.0%	3	11.1%	0	—
このまま交際を続けたい	8	25.8%	1	25.0%	7	25.9%	0	—
別れたい(別れた)	4	12.9%	1	25.0%	3	11.1%	0	—
相手との関係について、どこ(だれ)かに相談したい	1	3.2%	0	0.0%	1	3.7%	0	—
別れたいが、別れられない	4	12.9%	1	25.0%	3	11.1%	0	—
わからない	9	29.0%	0	0.0%	9	33.3%	0	—
その他	5	16.1%	1	25.0%	4	14.8%	0	—
無回答	2	6.5%	0	0.0%	2	7.4%	0	—

項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	31	—	2	—	5	—	4	—	8	—	7	—	5	—	0	—
結婚したい(結婚した)	4	12.9%	0	0.0%	2	40.0%	1	25.0%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	0	—
このまま交際を続けたい	8	25.8%	1	50.0%	3	60.0%	0	0.0%	2	25.0%	2	28.6%	0	0.0%	0	—
別れたい(別れた)	4	12.9%	1	50.0%	1	20.0%	1	25.0%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	—
相手との関係について、どこ(だれ)かに相談したい	1	3.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	0	—
別れたいが、別れられない	4	12.9%	1	50.0%	1	20.0%	0	0.0%	1	12.5%	1	14.3%	0	0.0%	0	—
わからない	9	29.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	50.0%	4	50.0%	2	28.6%	1	20.0%	0	—
その他	5	16.1%	0	0.0%	1	20.0%	1	25.0%	1	12.5%	1	14.3%	1	20.0%	0	—
無回答	2	6.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	40.0%	0	—

問 21 問 17 のようなことをされたのは、いつからですか。(あてはまるものすべてに○)

問 17 のようなことをされたのは、いつからかについては、「20代の頃」が 48.5%と最も高く、次いで「30代の頃」が 27.9%、「10代の頃」が 20.6%となっている。



## 【属性別特徴】

性別では、女の「10代の頃」が25.5%で、男の8.5%に比べて高くなっている。

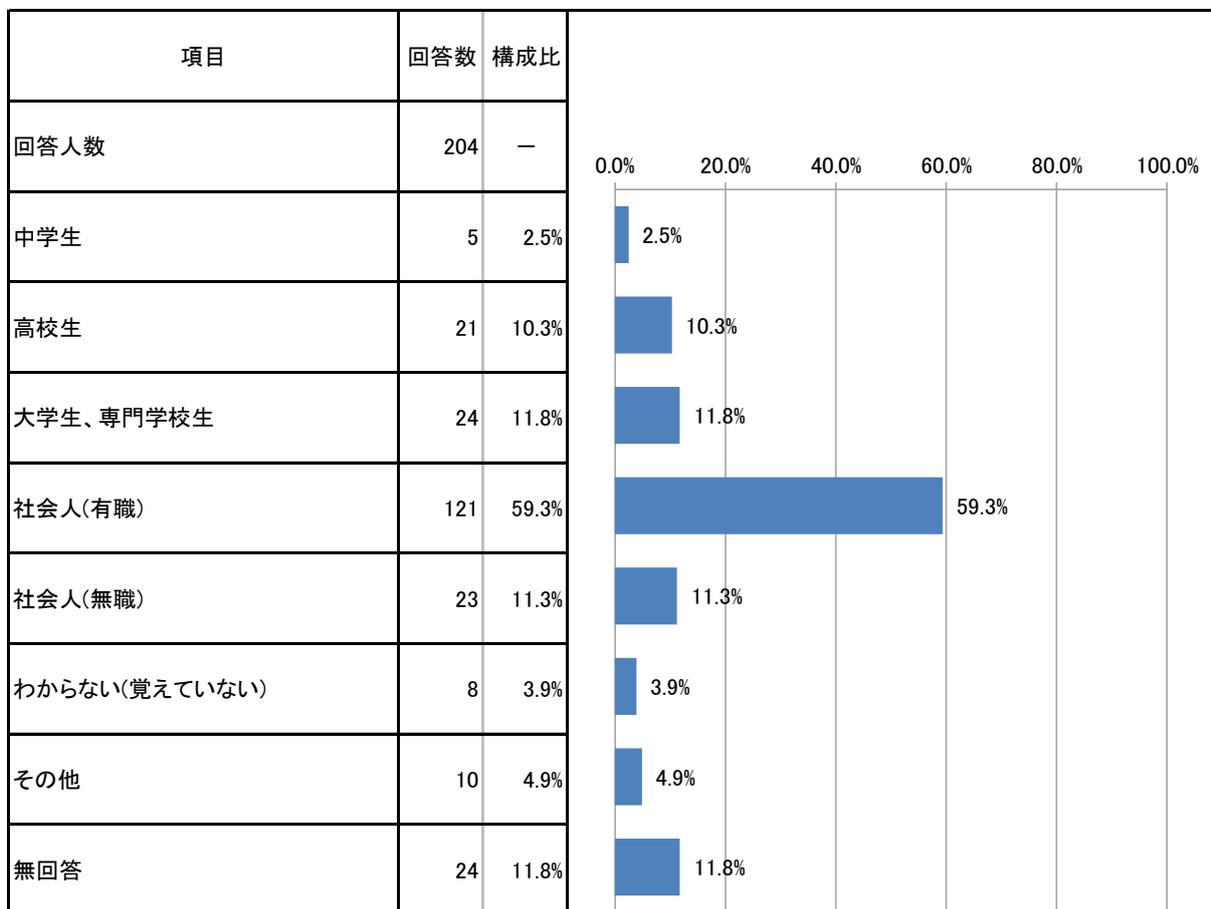
年代別では、20代の「10代の頃」が30人中20人と「20代の頃」より多いのに対し、30代、40代では「20代の頃」が「10代の頃」より多く、低年齢化が進んでいる。

項目	回答人数		性別					
			男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	204	—	59	—	145	—	0	—
10代の頃	42	20.6%	5	8.5%	37	25.5%	0	—
20代の頃	99	48.5%	26	44.1%	73	50.3%	0	—
30代の頃	57	27.9%	15	25.4%	42	29.0%	0	—
40代以上	31	15.2%	5	8.5%	26	17.9%	0	—
わからない(覚えていない)	15	7.4%	8	13.6%	7	4.8%	0	—
無回答	19	9.3%	10	16.9%	9	6.2%	0	—

項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	204	—	5	—	30	—	36	—	50	—	45	—	38	—	0	—
10代の頃	42	20.6%	4	80.0%	20	66.7%	11	30.6%	5	10.0%	2	4.4%	0	0.0%	0	—
20代の頃	99	48.5%	1	20.0%	14	46.7%	27	75.0%	29	58.0%	14	31.1%	14	36.8%	0	—
30代の頃	57	27.9%	1	20.0%	0	0.0%	6	16.7%	22	44.0%	15	33.3%	13	34.2%	0	—
40代以上	31	15.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	16.0%	11	24.4%	12	31.6%	0	—
わからない(覚えていない)	15	7.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.8%	4	8.0%	5	11.1%	5	13.2%	0	—
無回答	19	9.3%	0	0.0%	1	3.3%	1	2.8%	2	4.0%	9	20.0%	6	15.8%	0	—

問 22 問 17 のようなことをされ始めた時、あなたは何をしていましたか。(あてはまるものすべてに○)

問 17 のようなことをされ始めた時、何をしていたかについては、「社会人(有職)」が 59.3%と最も高く、次いで「大学生、専門学校生」が 11.8%、「社会人(無職)」が 11.3%となっている。



## 【属性別特徴】

性別では、女の「社会人（無職）」が13.8%で、男の5.1%に比べてやや高くなっている。

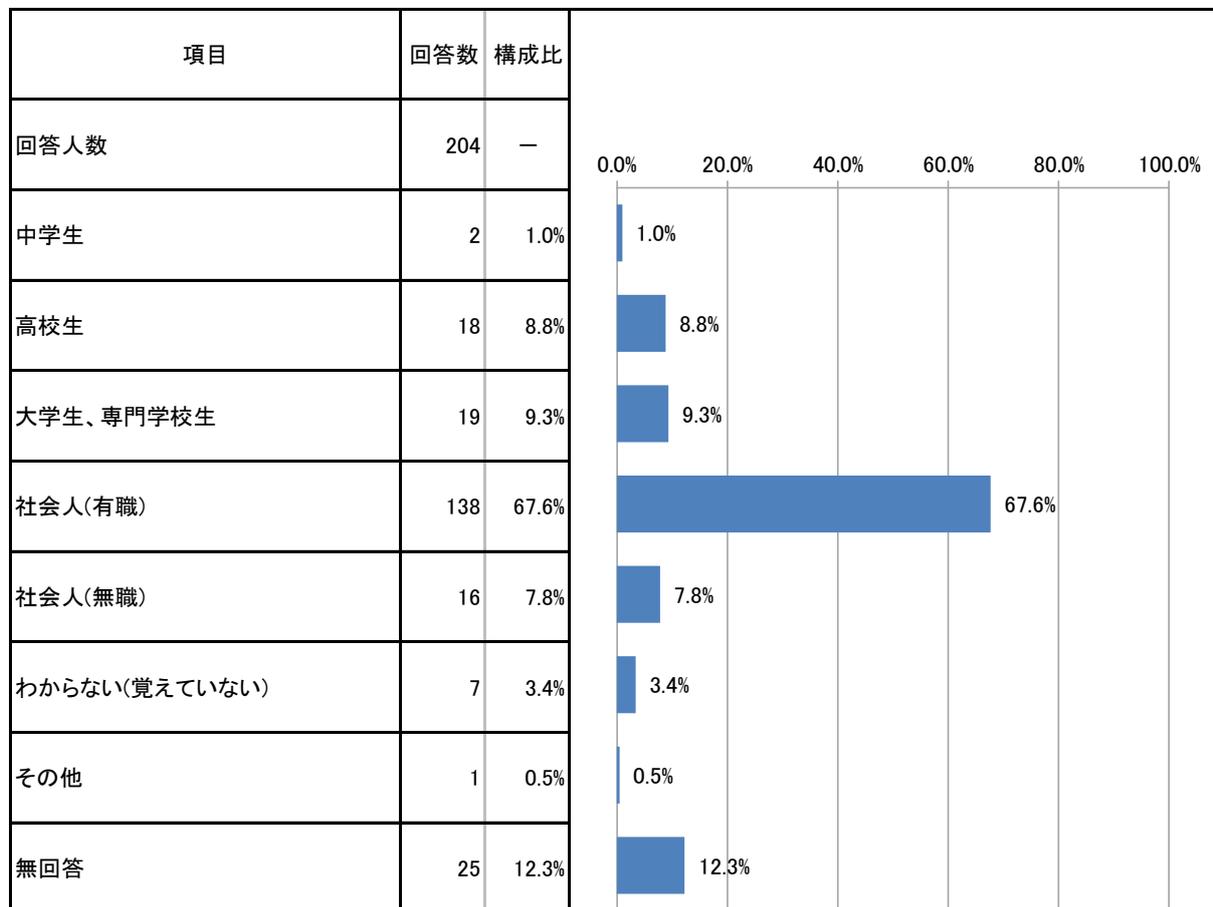
年代別では、10代で5人中4人が「高校生」、20代で30人中20人が「高校生」、「大学生、専門学校生」の時と回答したのに対し、30代で36人中26人、40代で50人中39人が「社会人（有職）」の時と回答しており、低年齢化が進んでいる。

項目	回答人数		性別					
			男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	204	—	59	—	145	—	0	—
中学生	5	2.5%	3	5.1%	2	1.4%	0	—
高校生	21	10.3%	3	5.1%	18	12.4%	0	—
大学生、専門学校生	24	11.8%	7	11.9%	17	11.7%	0	—
社会人(有職)	121	59.3%	38	64.4%	83	57.2%	0	—
社会人(無職)	23	11.3%	3	5.1%	20	13.8%	0	—
わからない(覚えていない)	8	3.9%	2	3.4%	6	4.1%	0	—
その他	10	4.9%	0	0.0%	10	6.9%	0	—
無回答	24	11.8%	12	20.3%	12	8.3%	0	—

項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	204	—	5	—	30	—	36	—	50	—	45	—	38	—	0	—
中学生	5	2.5%	1	20.0%	2	6.7%	1	2.8%	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	—
高校生	21	10.3%	4	80.0%	10	33.3%	4	11.1%	3	6.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	—
大学生、専門学校生	24	11.8%	1	20.0%	10	33.3%	11	30.6%	1	2.0%	1	2.2%	0	0.0%	0	—
社会人(有職)	121	59.3%	1	20.0%	10	33.3%	26	72.2%	39	78.0%	25	55.6%	20	52.6%	0	—
社会人(無職)	23	11.3%	0	0.0%	3	10.0%	4	11.1%	8	16.0%	2	4.4%	6	15.8%	0	—
わからない(覚えていない)	8	3.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.8%	2	4.0%	3	6.7%	2	5.3%	0	—
その他	10	4.9%	0	0.0%	1	3.3%	0	0.0%	0	0.0%	4	8.9%	5	13.2%	0	—
無回答	24	11.8%	0	0.0%	1	3.3%	1	2.8%	3	6.0%	11	24.4%	8	21.1%	0	—

問 23 問 17 のようなことをされ始めた時、交際相手は何をしていましたか。(あてはまるものすべてに○)

問 17 のようなことをされ始めた時、交際相手は何をしていたかについては、「社会人（有職）」が 67.6%と最も高く、次いで「大学生・専門学校生」が 9.3%、「高校生」が 8.8%となっている。



## 【属性別特徴】

性別では、女の「社会人（有職）」が69.7%で、男の62.7%に比べてやや高くなっている。

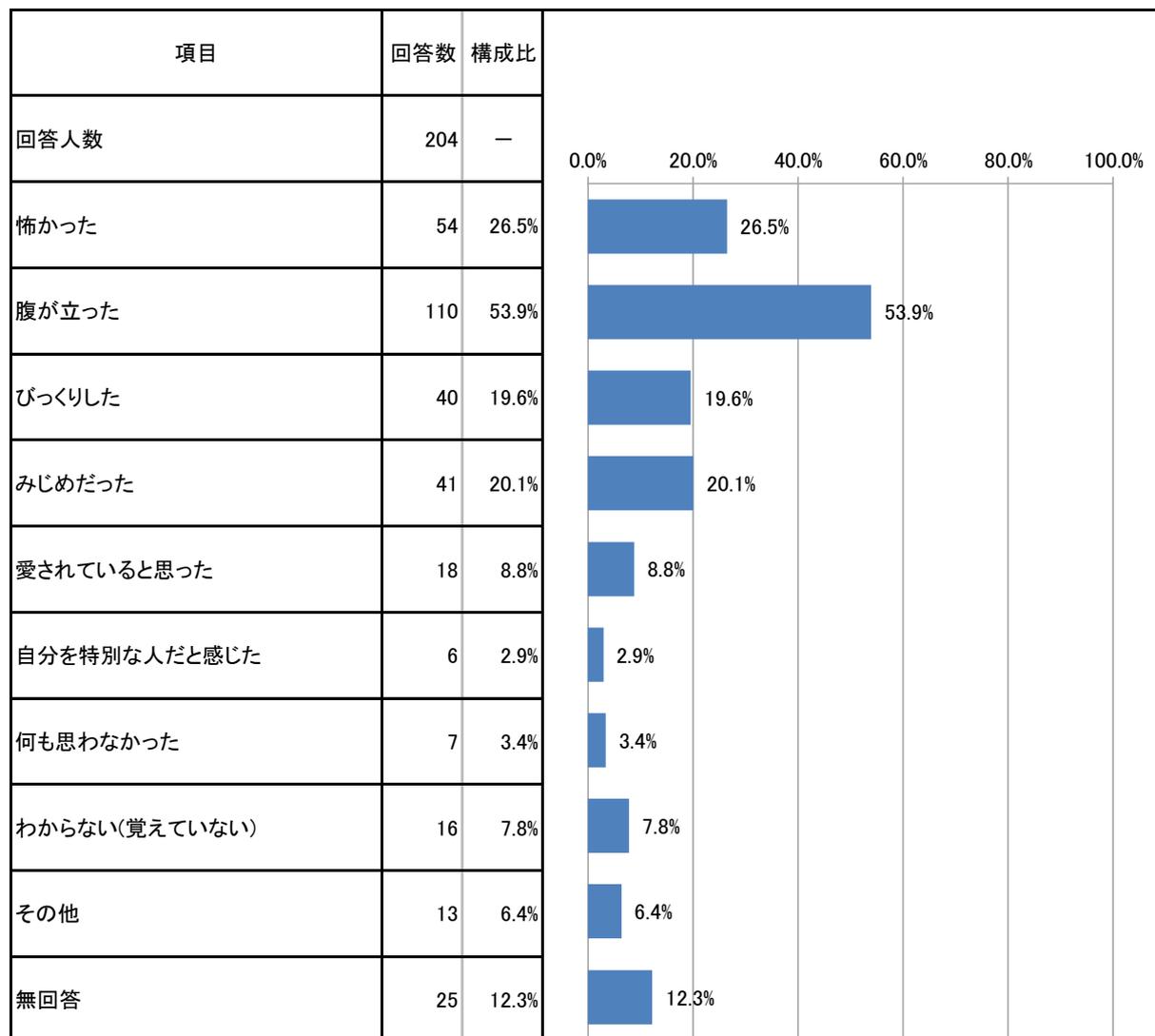
年代別では、10代で5人中3人が「高校生」と回答したのに対し、20代から60代は「社会人（有職）」が多くなっている。

項目	回答人数		性別					
			男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	204	—	59	—	145	—	0	—
中学生	2	1.0%	1	1.7%	1	0.7%	0	—
高校生	18	8.8%	4	6.8%	14	9.7%	0	—
大学生、専門学校生	19	9.3%	4	6.8%	15	10.3%	0	—
社会人(有職)	138	67.6%	37	62.7%	101	69.7%	0	—
社会人(無職)	16	7.8%	6	10.2%	10	6.9%	0	—
わからない(覚えていない)	7	3.4%	3	5.1%	4	2.8%	0	—
その他	1	0.5%	0	0.0%	1	0.7%	0	—
無回答	25	12.3%	12	20.3%	13	9.0%	0	—

項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	204	—	5	—	30	—	36	—	50	—	45	—	38	—	0	—
中学生	2	1.0%	0	0.0%	1	3.3%	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	—
高校生	18	8.8%	3	60.0%	8	26.7%	4	11.1%	3	6.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	—
大学生、専門学校生	19	9.3%	1	20.0%	8	26.7%	6	16.7%	3	6.0%	1	2.2%	0	0.0%	0	—
社会人(有職)	138	67.6%	2	40.0%	15	50.0%	28	77.8%	41	82.0%	28	62.2%	24	63.2%	0	—
社会人(無職)	16	7.8%	0	0.0%	2	6.7%	4	11.1%	3	6.0%	3	6.7%	4	10.5%	0	—
わからない(覚えていない)	7	3.4%	0	0.0%	1	3.3%	0	0.0%	2	4.0%	4	8.9%	0	0.0%	0	—
その他	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	—
無回答	25	12.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.8%	3	6.0%	11	24.4%	10	26.3%	0	—

問 24 問 17 のようなことをされた時、どう感じましたか。(あてはまるものすべてに○)

問 17 のようなことをされた時、どう感じたかについては、「腹が立った」が 53.9%と最も高く、次いで「怖かった」が 26.5%、「みじめだった」が 20.1%となっている。



## 【属性別特徴】

性別では、女の「怖かった」が32.4%で、男の11.9%に比べて高くなっている。

年代別では、10代では5人中3人が「怖かった」と回答したのに対し、20代から60代では、「腹が立った」が最も多くなっている。

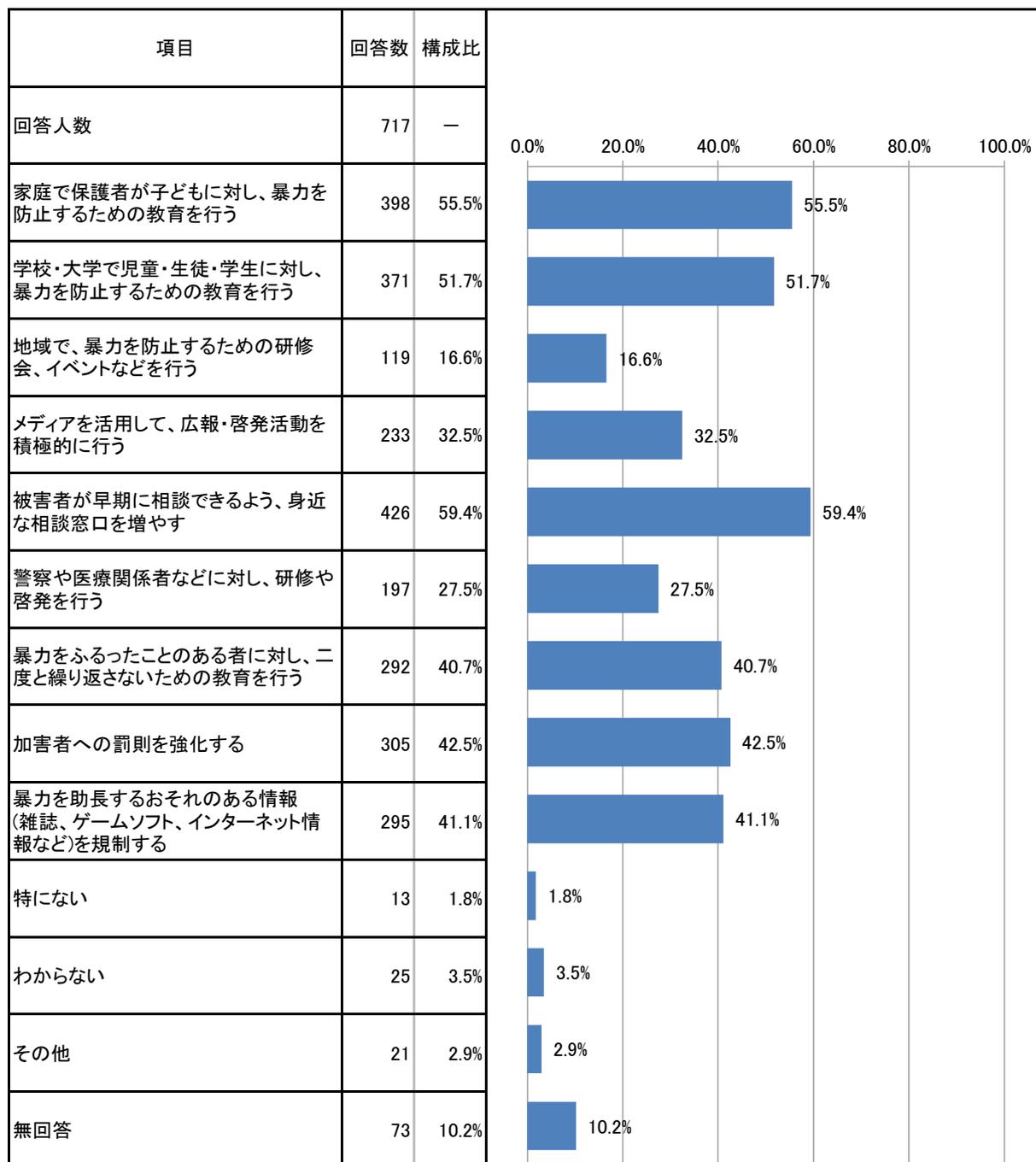
項目	回答人数		性別					
			男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	204	—	59	—	145	—	0	—
怖かった	54	26.5%	7	11.9%	47	32.4%	0	—
腹が立った	110	53.9%	27	45.8%	83	57.2%	0	—
びっくりした	40	19.6%	7	11.9%	33	22.8%	0	—
みじめだった	41	20.1%	7	11.9%	34	23.4%	0	—
愛されていると思った	18	8.8%	5	8.5%	13	9.0%	0	—
自分を特別な人だと感じた	6	2.9%	3	5.1%	3	2.1%	0	—
何も思わなかった	7	3.4%	4	6.8%	3	2.1%	0	—
わからない(覚えていない)	16	7.8%	7	11.9%	9	6.2%	0	—
その他	13	6.4%	1	1.7%	12	8.3%	0	—
無回答	25	12.3%	12	20.3%	13	9.0%	0	—

項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	204	—	5	—	30	—	36	—	50	—	45	—	38	—	0	—
怖かった	54	26.5%	3	60.0%	7	23.3%	14	38.9%	12	24.0%	11	24.4%	7	18.4%	0	—
腹が立った	110	53.9%	2	40.0%	14	46.7%	21	58.3%	33	66.0%	19	42.2%	21	55.3%	0	—
びっくりした	40	19.6%	2	40.0%	6	20.0%	5	13.9%	8	16.0%	10	22.2%	9	23.7%	0	—
みじめだった	41	20.1%	2	40.0%	3	10.0%	5	13.9%	12	24.0%	11	24.4%	8	21.1%	0	—
愛されていると思った	18	8.8%	1	20.0%	3	10.0%	3	8.3%	4	8.0%	4	8.9%	3	7.9%	0	—
自分を特別な人だと感じた	6	2.9%	0	0.0%	1	3.3%	3	8.3%	0	0.0%	1	2.2%	1	2.6%	0	—
何も思わなかった	7	3.4%	0	0.0%	3	10.0%	2	5.6%	2	4.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	—
わからない(覚えていない)	16	7.8%	0	0.0%	3	10.0%	3	8.3%	6	12.0%	4	8.9%	0	0.0%	0	—
その他	13	6.4%	0	0.0%	2	6.7%	3	8.3%	3	6.0%	2	4.4%	3	7.9%	0	—
無回答	25	12.3%	1	20.0%	0	0.0%	2	5.6%	2	4.0%	11	24.4%	9	23.7%	0	—

問 25 親密な交際中における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけ、最も必要だと思うものに◎をつけてください。

(必要だと思うこと)

親密な交際中における暴力を防止するために必要だと思うことについては、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」が 59.4%と最も高く、次いで「家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う」が 55.5%、「学校・大学で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う」が 51.7%となっている。



## 【属性別特徴】

性別では、女の「暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、ゲームソフト、インターネット情報など）を規制する」が47.6%で、男の29.7%に比べて高くなっている。

また、女の「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」が65.0%で、男の49.6%に比べて高くなっている。

年代別では、30代の「家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う」が67.9%で、他の年代に比べて高くなっている。

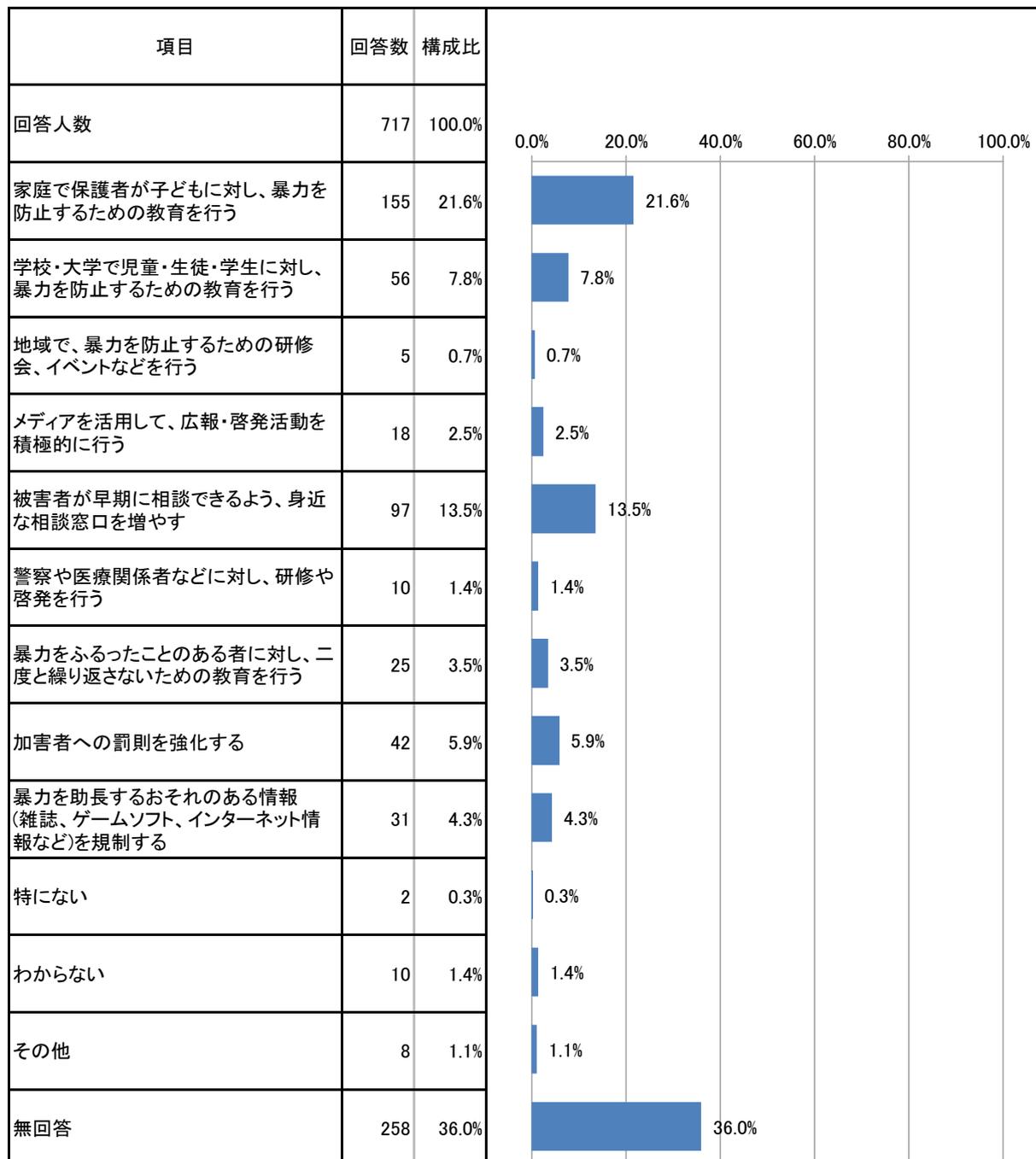
項目	回答人数		性別					
			男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	—	256	—	460	—	1	—
家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う	398	55.5%	134	52.3%	264	57.4%	0	0.0%
学校・大学で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う	371	51.7%	121	47.3%	250	54.3%	0	0.0%
地域で、暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う	119	16.6%	33	12.9%	85	18.5%	1	100.0%
メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う	233	32.5%	74	28.9%	159	34.6%	0	0.0%
被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	426	59.4%	127	49.6%	299	65.0%	0	0.0%
警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う	197	27.5%	64	25.0%	133	28.9%	0	0.0%
暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う	292	40.7%	88	34.4%	204	44.3%	0	0.0%
加害者への罰則を強化する	305	42.5%	96	37.5%	209	45.4%	0	0.0%
暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、ゲームソフト、インターネット情報など）を規制する	295	41.1%	76	29.7%	219	47.6%	0	0.0%
特にない	13	1.8%	8	3.1%	5	1.1%	0	0.0%
わからない	25	3.5%	11	4.3%	14	3.0%	0	0.0%
その他	21	2.9%	8	3.1%	13	2.8%	0	0.0%
無回答	73	10.2%	35	13.7%	38	8.3%	0	0.0%

【一般】

項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	—	70	—	89	—	106	—	133	—	156	—	160	—	3	—
家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う	398	55.5%	24	34.3%	42	47.2%	72	67.9%	77	57.9%	88	56.4%	94	58.8%	1	33.3%
学校・大学で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う	371	51.7%	30	42.9%	39	43.8%	59	55.7%	76	57.1%	78	50.0%	88	55.0%	1	33.3%
地域で、暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う	119	16.6%	8	11.4%	12	13.5%	23	21.7%	23	17.3%	24	15.4%	27	16.9%	2	66.7%
メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う	233	32.5%	22	31.4%	30	33.7%	29	27.4%	51	38.3%	49	31.4%	51	31.9%	1	33.3%
被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	426	59.4%	34	48.6%	58	65.2%	67	63.2%	84	63.2%	89	57.1%	93	58.1%	1	33.3%
警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う	197	27.5%	12	17.1%	24	27.0%	38	35.8%	43	32.3%	38	24.4%	41	25.6%	1	33.3%
暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う	292	40.7%	27	38.6%	35	39.3%	47	44.3%	62	46.6%	56	35.9%	64	40.0%	1	33.3%
加害者への罰則を強化する	305	42.5%	19	27.1%	42	47.2%	53	50.0%	68	51.1%	61	39.1%	61	38.1%	1	33.3%
暴力を助長するおそれのある情報(雑誌、ゲームソフト、インターネット情報など)を規制する	295	41.1%	15	21.4%	28	31.5%	50	47.2%	47	35.3%	74	47.4%	80	50.0%	1	33.3%
特にない	13	1.8%	3	4.3%	0	0.0%	3	2.8%	3	2.3%	1	0.6%	3	1.9%	0	0.0%
わからない	25	3.5%	6	8.6%	4	4.5%	1	0.9%	7	5.3%	2	1.3%	5	3.1%	0	0.0%
その他	21	2.9%	3	4.3%	4	4.5%	4	3.8%	1	0.8%	4	2.6%	5	3.1%	0	0.0%
無回答	73	10.2%	9	12.9%	8	9.0%	5	4.7%	6	4.5%	18	11.5%	26	16.3%	1	33.3%

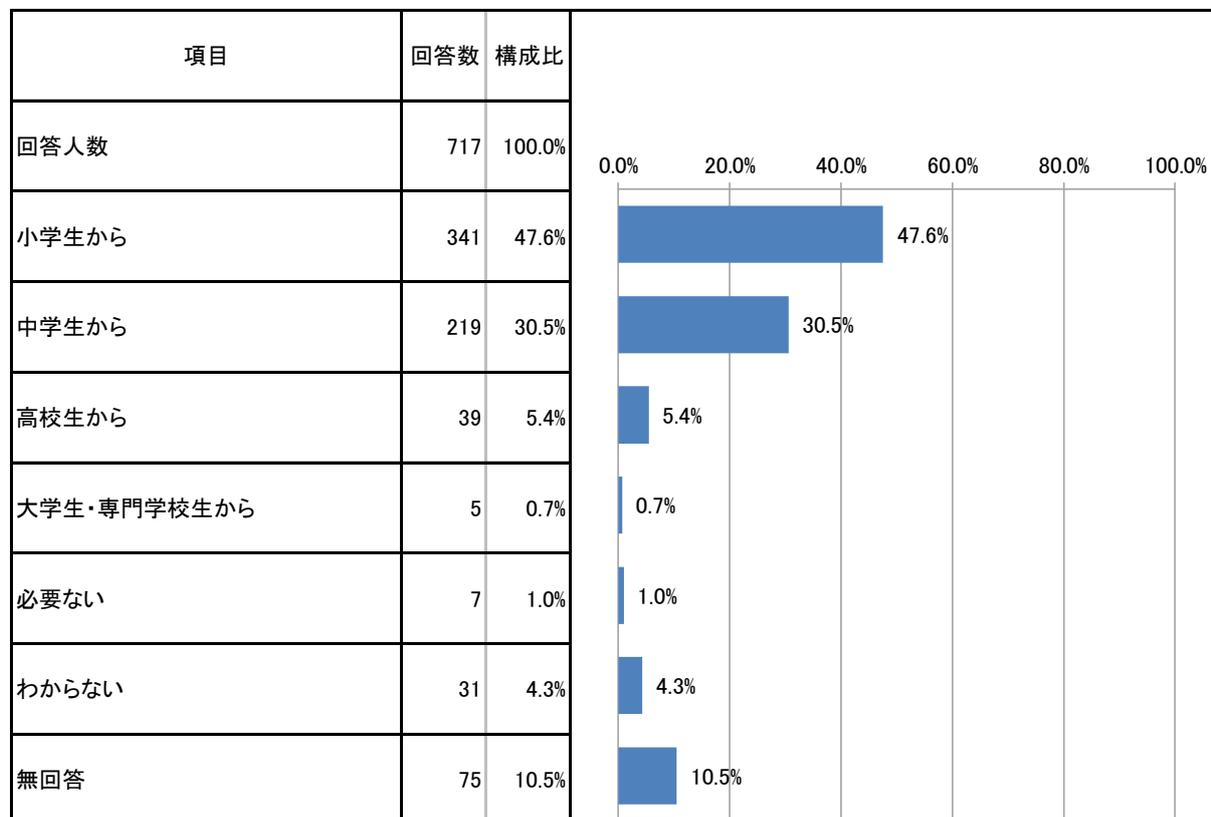
## (最も必要だと思うこと)

親密な交際中における暴力を防止するために最も必要だと思うことについては、「家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う」が 21.6%と最も高く、次いで「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」が 13.5%、「学校・大学で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う」が 7.8%となっている。



問 26 親密な交際中における暴力を防止するための学校等での教育はいつからスタートするのが望ましいと思いますか。(ひとつに○)

親密な交際中における暴力を防止するための学校等での教育はいつからスタートするのが望ましいかについては、「小学生から」が47.6%と最も高く、次いで「中学生から」が30.5%、「高校生から」が5.4%となっている。



## 【属性別特徴】

性別では、大きな差異はみられない。

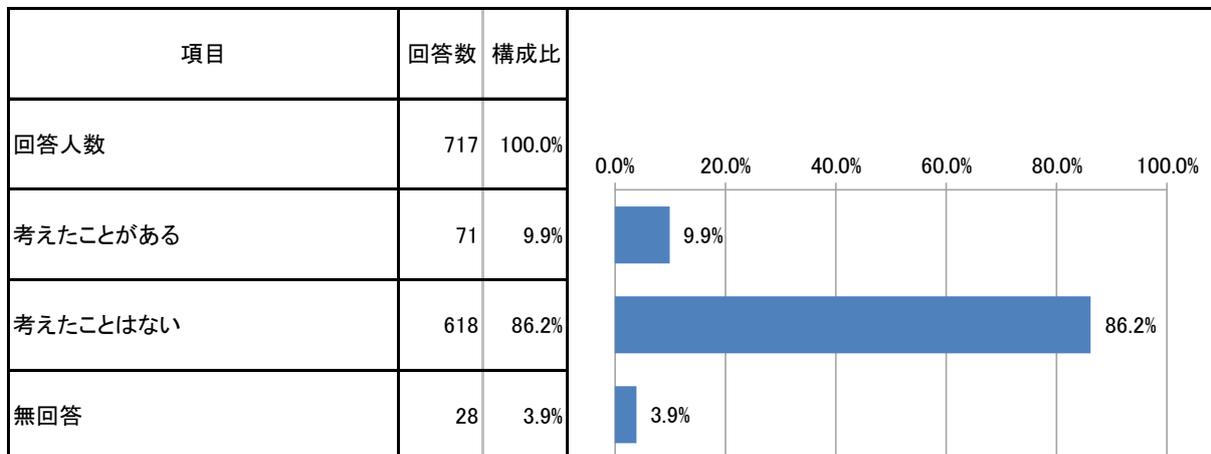
年代別では、10代で「中学生から」が40.0%と最も高くなっており、20代から60代では「小学生から」が最も高くなっている。

項目	回答人数		性別					
			男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	256	100.0%	460	100.0%	1	100.0%
小学生から	341	47.6%	124	48.4%	217	47.2%	0	0.0%
中学生から	219	30.5%	74	28.9%	145	31.5%	0	0.0%
高校生から	39	5.4%	12	4.7%	27	5.9%	0	0.0%
大学生・専門学校生から	5	0.7%	2	0.8%	3	0.7%	0	0.0%
必要ない	7	1.0%	1	0.4%	6	1.3%	0	0.0%
わからない	31	4.3%	10	3.9%	21	4.6%	0	0.0%
無回答	75	10.5%	33	12.9%	41	8.9%	1	100.0%

項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	70	100.0%	89	100.0%	106	100.0%	133	100.0%	156	100.0%	160	100.0%	3	100.0%
小学生から	341	47.6%	18	25.7%	38	42.7%	55	51.9%	62	46.6%	87	55.8%	80	50.0%	1	33.3%
中学生から	219	30.5%	28	40.0%	30	33.7%	39	36.8%	41	30.8%	43	27.6%	38	23.8%	0	0.0%
高校生から	39	5.4%	6	8.6%	6	6.7%	2	1.9%	12	9.0%	8	5.1%	5	3.1%	0	0.0%
大学生・専門学校生から	5	0.7%	2	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.5%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
必要ない	7	1.0%	2	2.9%	2	2.2%	1	0.9%	2	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
わからない	31	4.3%	4	5.7%	3	3.4%	5	4.7%	9	6.8%	1	0.6%	9	5.6%	0	0.0%
無回答	75	10.5%	10	14.3%	10	11.2%	4	3.8%	5	3.8%	16	10.3%	28	17.5%	2	66.7%

問27 あなたは、この1年間（平成25年10月から平成26年9月まで）で自殺したい（死にたい）と考えたことがありますか。（ひとつに○）

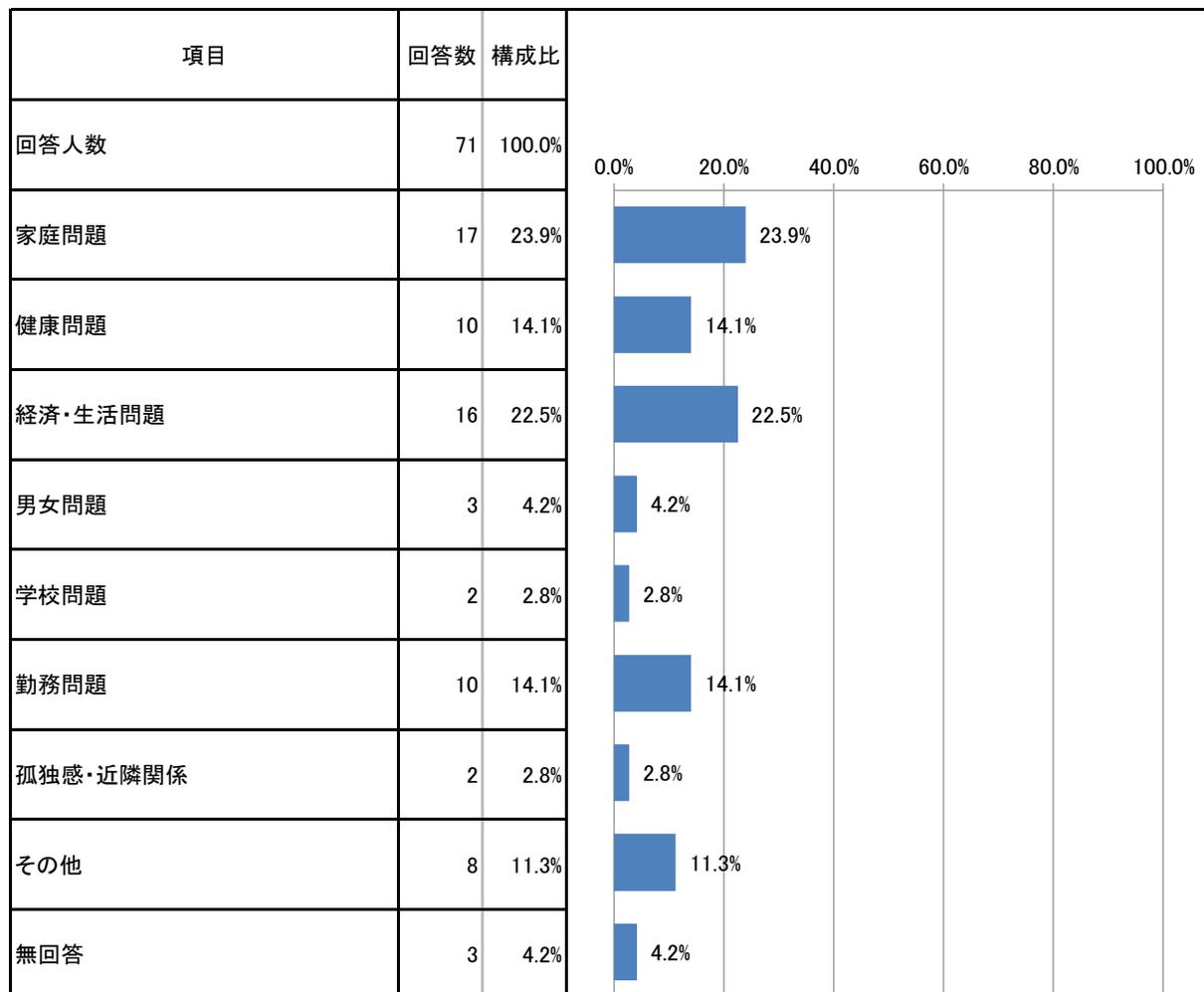
この1年間で自殺したい（死にたい）と考えたことがあるかについては、「考えたことがある」が9.9%、「考えたことはない」が86.2%となっている。



※問 27 で『①考えたことがある』とご回答された方にお聞きします。

問 27-1 自殺を考えたときの一番の原因は何ですか。(ひとつに○)

自殺を考えたときの一番の原因については、「家庭問題」が 23.9%と最も高く、次いで「経済・生活問題」が 22.5%、「健康問題」「勤務問題」が 14.1%となっている。



## 【属性別特徴】

性別では、男の「勤務問題」が31.8%で、女の6.1%に比べて高くなっている。

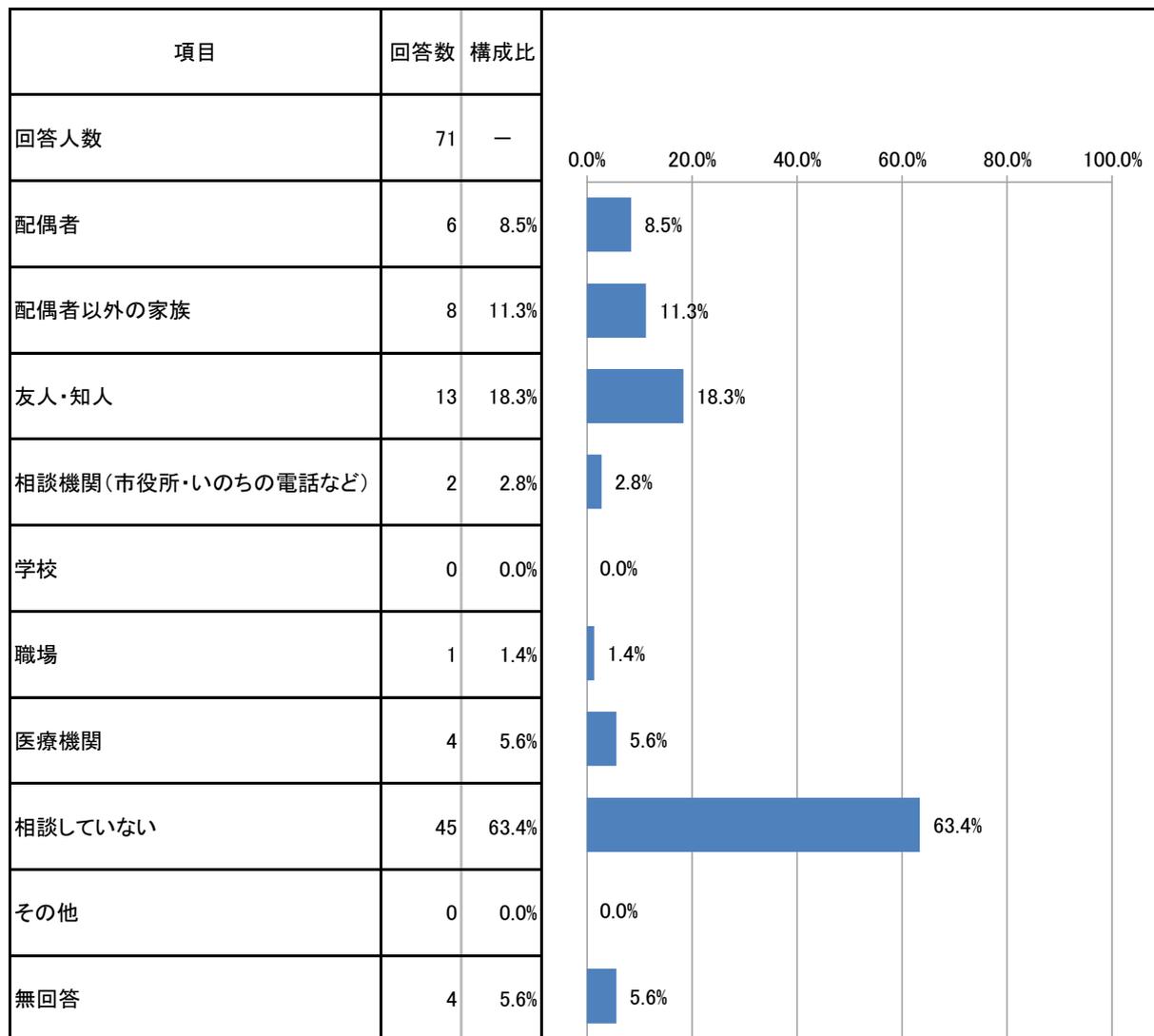
年代別では、10代で「学校問題」、20代で「家庭問題」と「勤務問題」、30代で「経済・生活問題」、40代、50代で「家庭問題」、60代で「健康問題」と「経済・生活問題」が最も高くなっており、年代により主な自殺原因がさまざまであることがわかる。

項目	回答人数		性別					
			男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	71	100.0%	22	100.0%	49	100.0%	0	0.0%
家庭問題	17	23.9%	3	13.6%	14	28.6%	0	—
健康問題	10	14.1%	1	4.5%	9	18.4%	0	—
経済・生活問題	16	22.5%	8	36.4%	8	16.3%	0	—
男女問題	3	4.2%	1	4.5%	2	4.1%	0	—
学校問題	2	2.8%	1	4.5%	1	2.0%	0	—
勤務問題	10	14.1%	7	31.8%	3	6.1%	0	—
孤独感・近隣関係	2	2.8%	0	0.0%	2	4.1%	0	—
その他	8	11.3%	1	4.5%	7	14.3%	0	—
無回答	3	4.2%	0	0.0%	3	6.1%	0	—

項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	71	100.0%	7	100.0%	11	100.0%	9	100.0%	21	100.0%	13	100.0%	10	100.0%	0	0.0%
家庭問題	17	23.9%	1	14.3%	2	18.2%	2	22.2%	6	28.6%	5	38.5%	1	10.0%	0	—
健康問題	10	14.1%	1	14.3%	0	0.0%	1	11.1%	3	14.3%	2	15.4%	3	30.0%	0	—
経済・生活問題	16	22.5%	1	14.3%	1	9.1%	3	33.3%	5	23.8%	3	23.1%	3	30.0%	0	—
男女問題	3	4.2%	0	0.0%	1	9.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	7.7%	1	10.0%	0	—
学校問題	2	2.8%	2	28.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	—
勤務問題	10	14.1%	1	14.3%	2	18.2%	2	22.2%	5	23.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	—
孤独感・近隣関係	2	2.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	7.7%	1	10.0%	0	—
その他	8	11.3%	1	14.3%	5	45.5%	0	0.0%	1	4.8%	0	0.0%	1	10.0%	0	—
無回答	3	4.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	11.1%	1	4.8%	1	7.7%	0	0.0%	0	—

問 27-2 あなたは、自殺をしようと思ったときにだれ（どこか）に相談しましたか。  
（あてはまるものすべてに○）

自殺をしようと思ったときの相談先については、「相談していない」が63.4%と最も高く、次いで「友人・知人」が18.3%、「配偶者以外の家族」が11.3%となっている。



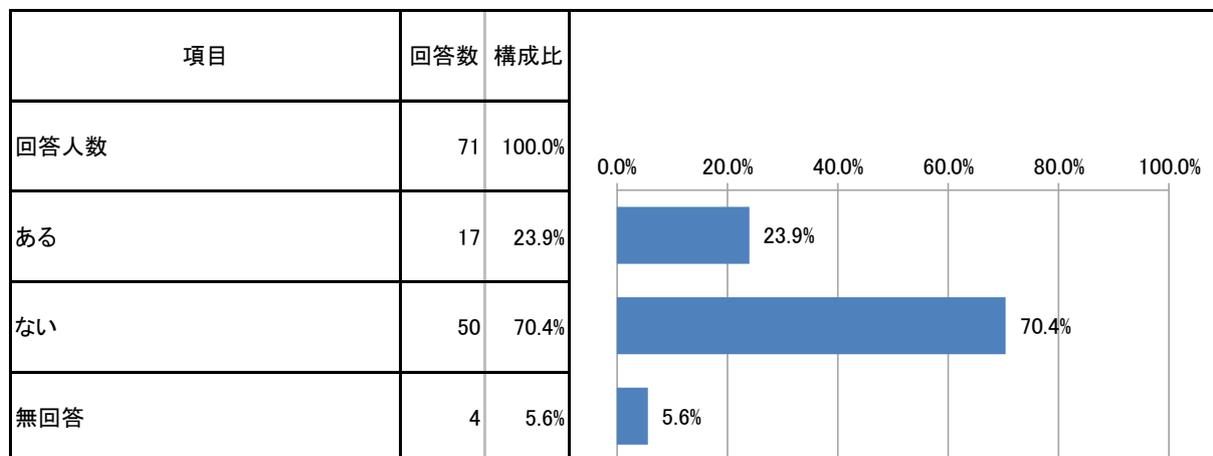
## 【属性別特徴】

性別では、男の「相談していない」が81.8%で、女の55.1%に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別					
			男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	71	—	22	—	49	—	0	—
配偶者	6	8.5%	1	4.5%	5	10.2%	0	—
配偶者以外の家族	8	11.3%	1	4.5%	7	14.3%	0	—
友人・知人	13	18.3%	3	13.6%	10	20.4%	0	—
相談機関(市役所・いのちの電話など)	2	2.8%	0	0.0%	2	4.1%	0	—
学校	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	—
職場	1	1.4%	0	0.0%	1	2.0%	0	—
医療機関	4	5.6%	1	4.5%	3	6.1%	0	—
相談していない	45	63.4%	18	81.8%	27	55.1%	0	—
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	—
無回答	4	5.6%	1	4.5%	3	6.1%	0	—

問 27-3 あなたは、自殺したいと思った原因による精神的苦痛などのため、医療機関を受診したことがありますか。(ひとつに○)

自殺したいと思った原因による精神的苦痛などのため、医療機関を受診したことがあるかについては、「ある」が23.9%、「ない」が70.4%となっている。



【属性別特徴】

性別では、女の「ある」が28.6%で、男の13.6%に比べて高くなっている。

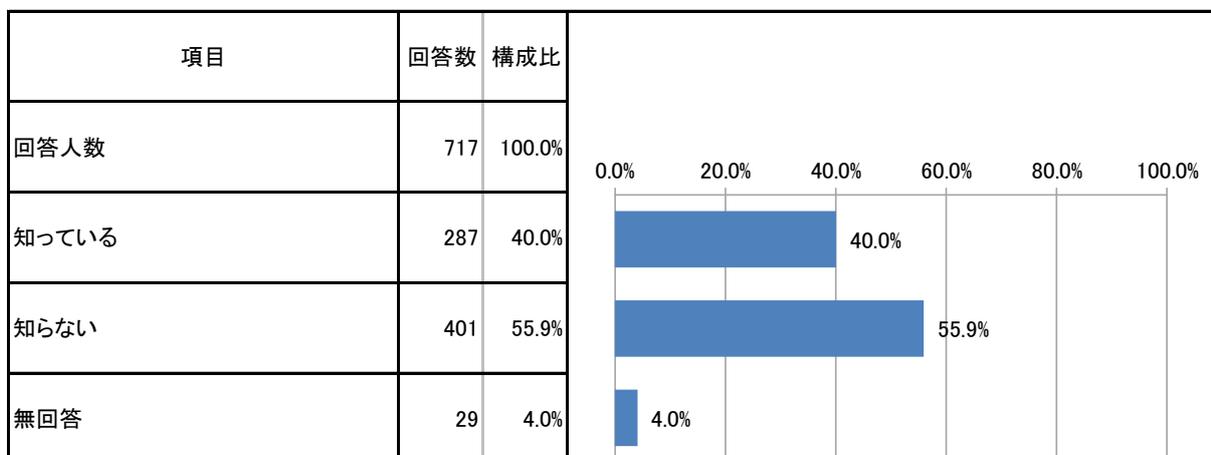
年代別では、10代の「ない」が85.7%で最も高く、40代が61.9%で最も低い。

項目	回答人数		性別					
			男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	71	100.0%	22	100.0%	49	100.0%	0	0.0%
ある	17	23.9%	3	13.6%	14	28.6%	0	—
ない	50	70.4%	16	72.7%	34	69.4%	0	—
無回答	4	5.6%	3	13.6%	1	2.0%	0	—

項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	71	100.0%	7	100.0%	11	100.0%	9	100.0%	21	100.0%	13	100.0%	10	100.0%	0	0.0%
ある	17	23.9%	1	14.3%	2	18.2%	2	22.2%	5	23.8%	4	30.8%	3	30.0%	0	—
ない	50	70.4%	6	85.7%	8	72.7%	7	77.8%	13	61.9%	9	69.2%	7	70.0%	0	—
無回答	4	5.6%	0	0.0%	1	9.1%	0	0.0%	3	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	—

### 問 28 自殺に関して相談ができるところを知っていますか。(ひとつに○)

自殺に関する相談先の認知度については、「知っている」が 40.0%、「知らない」が 55.9%となっている。



### 【属性別特徴】

性別では、男の「知らない」が 61.7%で、女の 52.8%に比べてやや高くなっている。

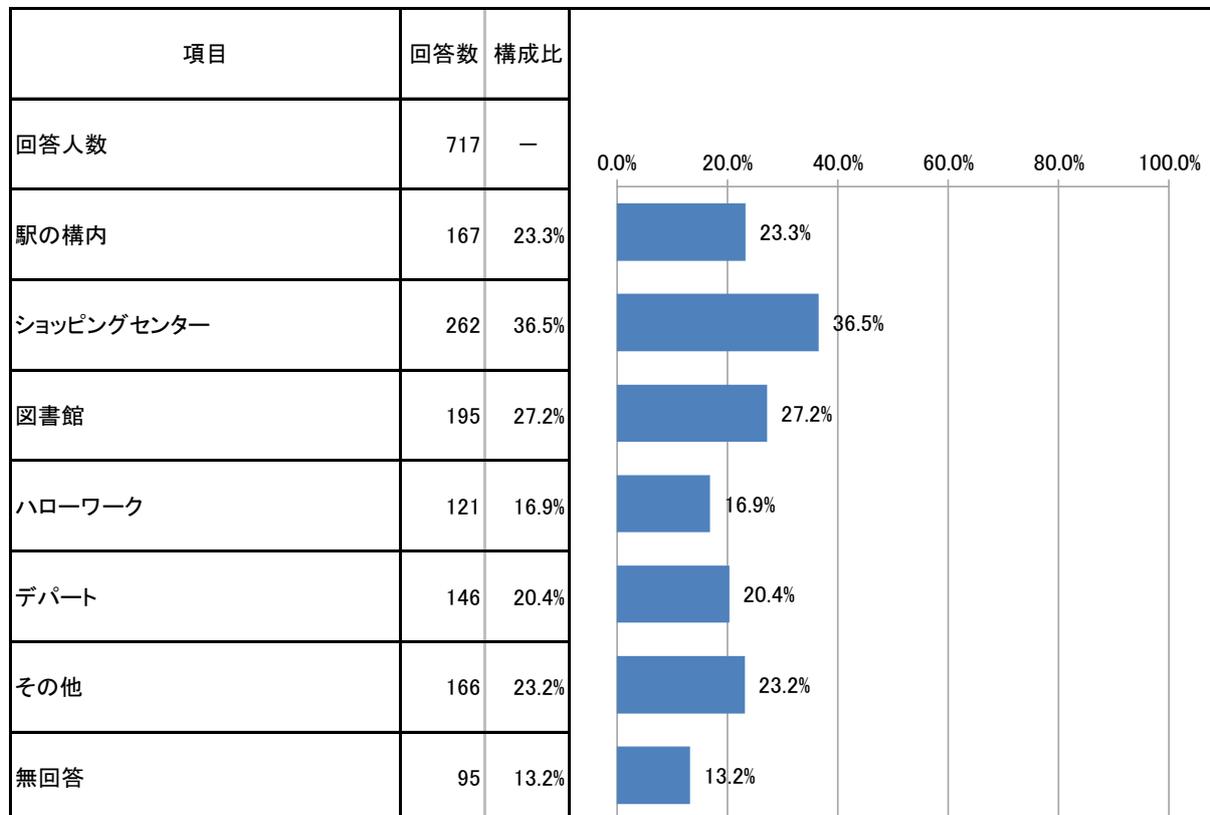
年代別では、10代の「知らない」が 67.1%で最も高く、60代が 44.4%で最も低い。

項目	回答人数		性別					
			男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	256	100.0%	460	100.0%	1	100.0%
知っている	287	40.0%	89	34.8%	197	42.8%	1	100.0%
知らない	401	55.9%	158	61.7%	243	52.8%	0	0.0%
無回答	29	4.0%	9	3.5%	20	4.3%	0	0.0%

項目	回答人数		年代別													
			10代		20代		30代		40代		50代		60代		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	100.0%	70	100.0%	89	100.0%	106	100.0%	133	100.0%	156	100.0%	160	100.0%	3	100.0%
知っている	287	40.0%	22	31.4%	35	39.3%	37	34.9%	47	35.3%	66	42.3%	79	49.4%	1	33.3%
知らない	401	55.9%	47	67.1%	51	57.3%	67	63.2%	84	63.2%	80	51.3%	71	44.4%	1	33.3%
無回答	29	4.0%	1	1.4%	3	3.4%	2	1.9%	2	1.5%	10	6.4%	10	6.3%	1	33.3%

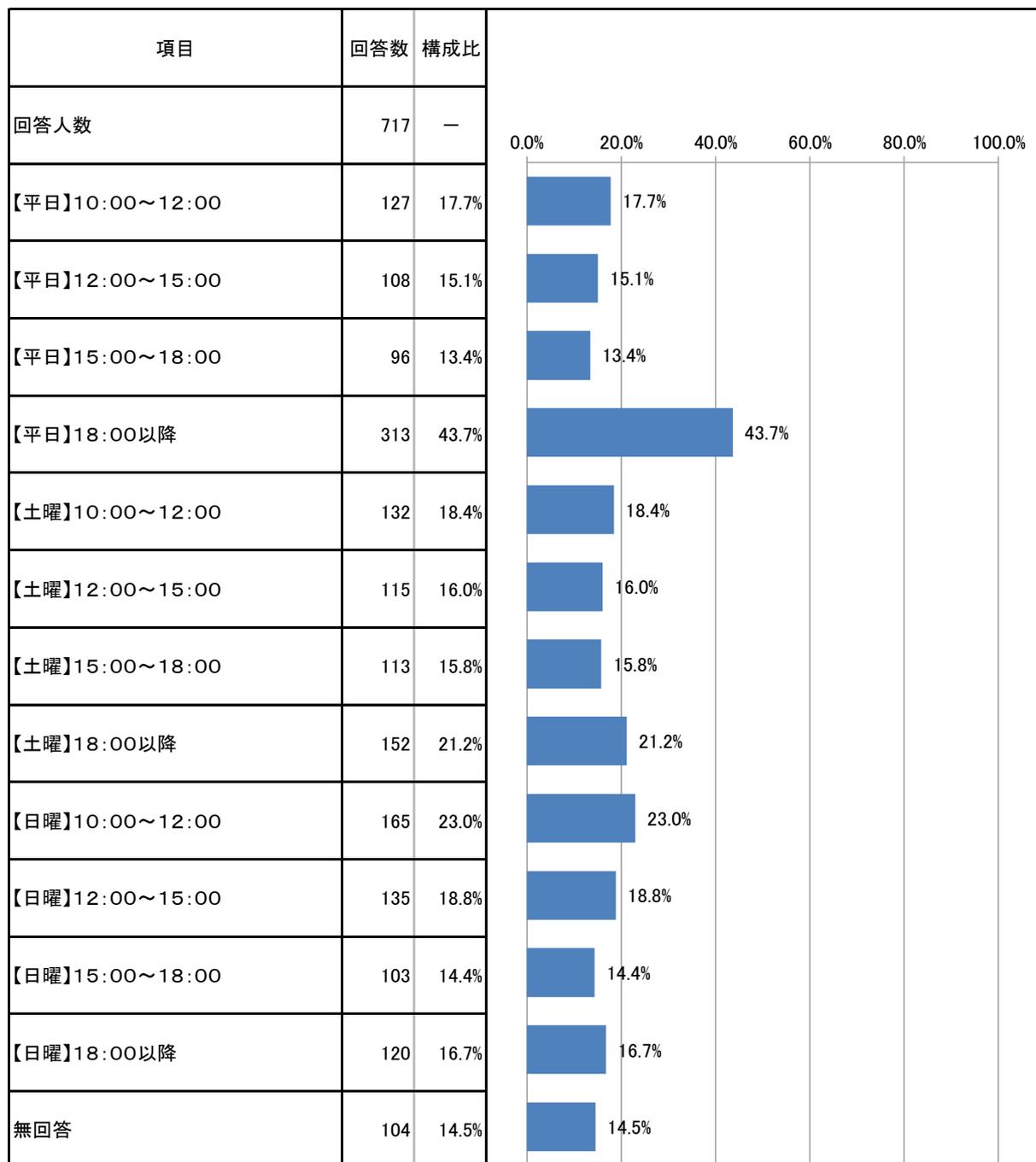
問 29 あなたが相談したいと思ったとき、どのようなところに相談場所があればよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

自殺したいと思ったときの相談場所の希望については、「ショッピングセンター」が 36.5%と最も高く、次いで「図書館」が 27.2%、「駅の構内」が 23.3%となっている。



## 問 30 相談場所を利用しやすい時間帯はいつですか。(最も希望するもの3つに○)

相談場所を利用しやすい時間帯については、「【平日】18:00以降」が43.7%と最も高く、次いで「【日曜】10:00～12:00」が23.0%、「【土曜】18:00以降」が21.2%となっている。



【一般】

【属性別特徴】

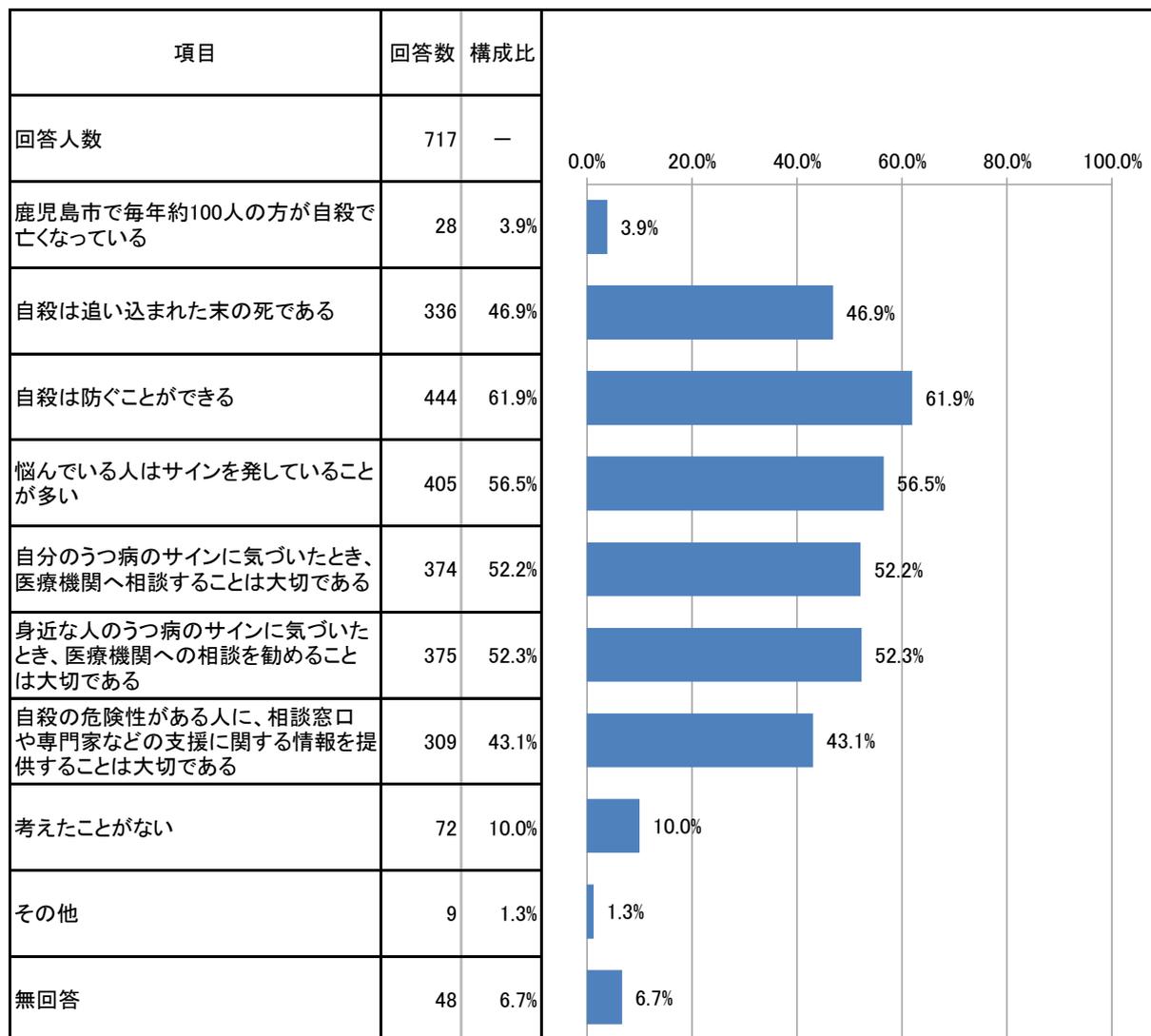
性別では、女の「【平日】10:00～12:00」が21.5%で、男の10.5%に比べて高くなっている。

就労状況別では、就労している人と学生の「【平日】18:00以降」がそれぞれ50.0%、62.8%と特に高くなっている。

項目	回答人数		性別						就労状況別									
			男		女		無回答		就労している		就労していない		学生		その他		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	717	—	256	—	460	—	1	—	420	—	169	—	86	—	30	—	12	—
【平日】10:00～12:00	127	17.7%	27	10.5%	99	21.5%	1	100.0%	53	12.6%	60	35.5%	3	3.5%	9	30.0%	2	16.7%
【平日】12:00～15:00	108	15.1%	30	11.7%	78	17.0%	0	0.0%	50	11.9%	45	26.6%	3	3.5%	9	30.0%	1	8.3%
【平日】15:00～18:00	96	13.4%	27	10.5%	69	15.0%	0	0.0%	47	11.2%	30	17.8%	11	12.8%	6	20.0%	2	16.7%
【平日】18:00以降	313	43.7%	127	49.6%	186	40.4%	0	0.0%	210	50.0%	40	23.7%	54	62.8%	6	20.0%	3	25.0%
【土曜】10:00～12:00	132	18.4%	41	16.0%	91	19.8%	0	0.0%	75	17.9%	36	21.3%	15	17.4%	5	16.7%	1	8.3%
【土曜】12:00～15:00	115	16.0%	40	15.6%	75	16.3%	0	0.0%	57	13.6%	35	20.7%	16	18.6%	4	13.3%	3	25.0%
【土曜】15:00～18:00	113	15.8%	37	14.5%	76	16.5%	0	0.0%	65	15.5%	17	10.1%	26	30.2%	5	16.7%	0	0.0%
【土曜】18:00以降	152	21.2%	72	28.1%	80	17.4%	0	0.0%	107	25.5%	17	10.1%	22	25.6%	3	10.0%	3	25.0%
【日曜】10:00～12:00	165	23.0%	59	23.0%	106	23.0%	0	0.0%	101	24.0%	37	21.9%	19	22.1%	4	13.3%	4	33.3%
【日曜】12:00～15:00	135	18.8%	50	19.5%	85	18.5%	0	0.0%	72	17.1%	44	26.0%	15	17.4%	2	6.7%	2	16.7%
【日曜】15:00～18:00	103	14.4%	32	12.5%	71	15.4%	0	0.0%	64	15.2%	16	9.5%	19	22.1%	4	13.3%	0	0.0%
【日曜】18:00以降	120	16.7%	53	20.7%	67	14.6%	0	0.0%	83	19.8%	14	8.3%	20	23.3%	1	3.3%	2	16.7%
無回答	104	14.5%	38	14.8%	66	14.3%	0	0.0%	62	14.8%	25	14.8%	7	8.1%	7	23.3%	3	25.0%

### 問 31 自殺について知っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

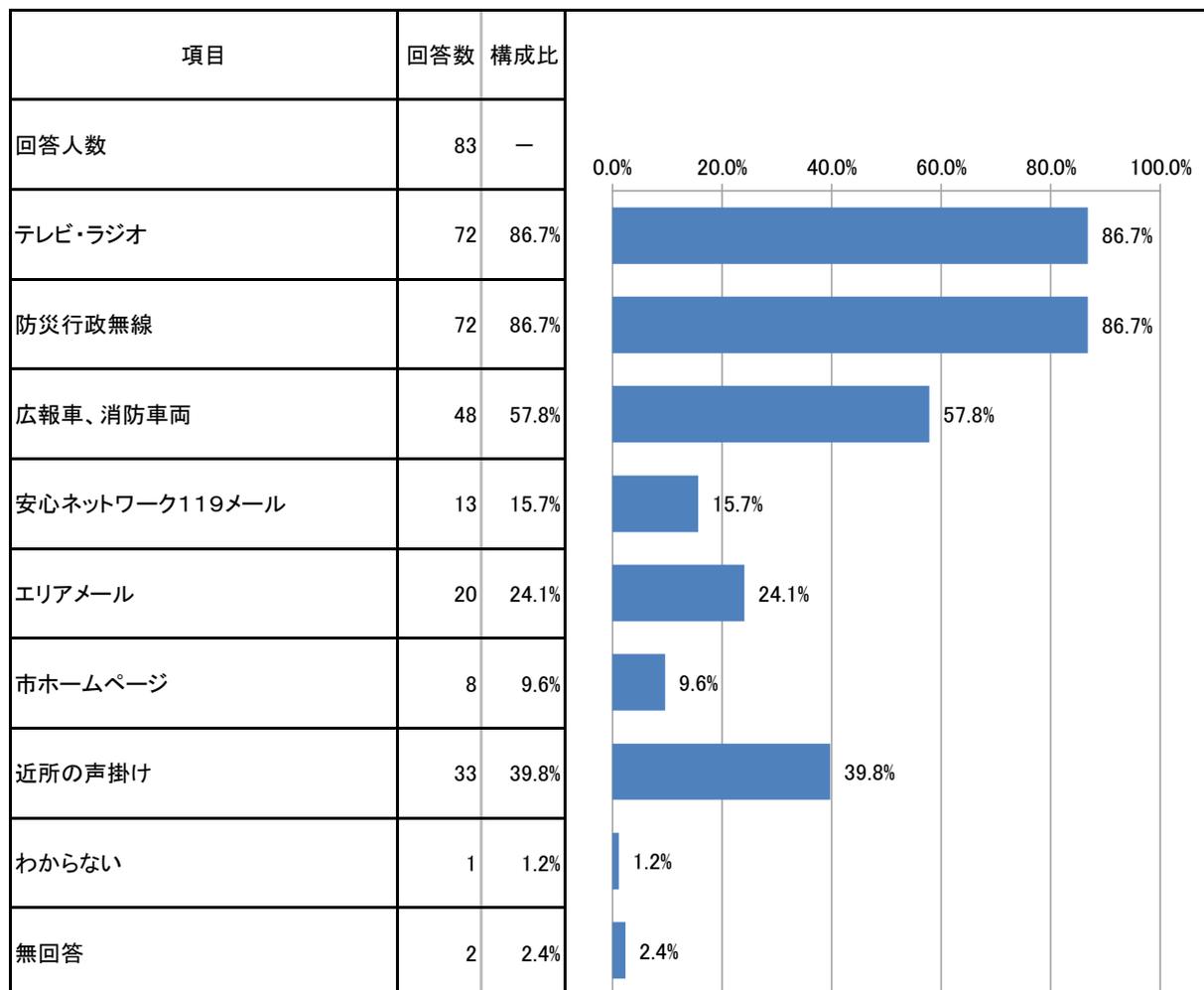
自殺について知っていることについては、「自殺は防ぐことができる」が61.9%と最も高く、次いで「悩んでいる人はサインを発していることが多い」が56.5%、「身近な人のうつ病のサインに気づいたとき、医療機関への相談を勧めることは大切である」が52.3%、「自分のうつ病のサインに気づいたとき、医療機関へ相談することは大切である」が52.2%となっている。



※問 32～34 は桜島にお住まいの方への質問です。

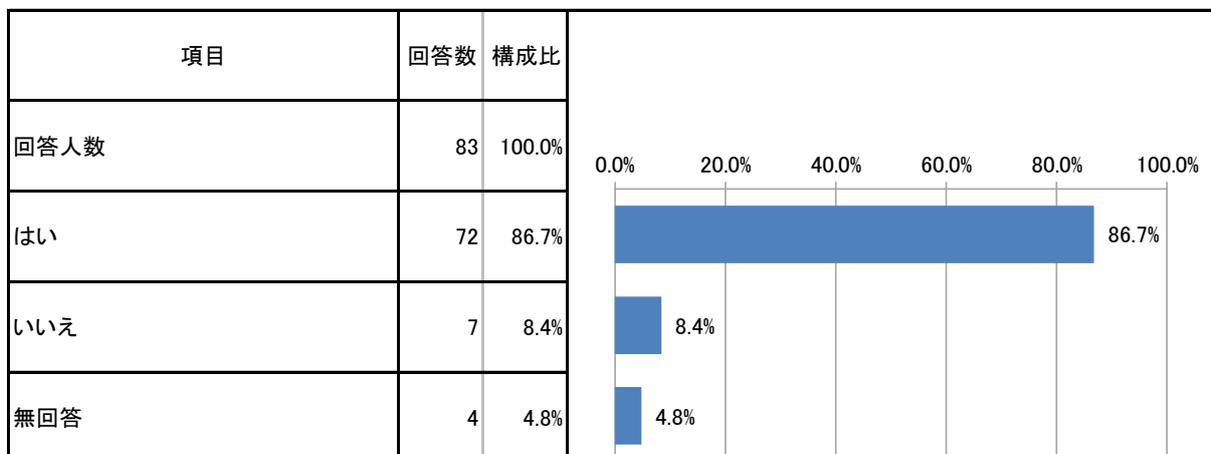
**問 32 桜島の大噴火時には、市役所から避難情報を広報します。避難情報などの情報は何で収集しますか。(あてはまるものすべてに○)**

避難情報などの情報収集方法については、「テレビ・ラジオ」「防災行政無線」が 86.7%と最も高く、次いで「広報車、消防車両」が 57.8%、「近所の声掛け」が 39.8%となっている。



問 33 避難情報は、消防局等から携帯電話のメール（安心ネットワーク119メール）を通じて広報しますが、携帯電話をお持ちですか。（ひとつに○）

携帯電話を持っているかについては、「はい」が86.7%、「いいえ」が8.4%となっている。



問 34 「避難勧告」が出された場合、避難港へ避難して「家族カード」を提出することとなっていますが、「避難勧告」が出される前に、自主的に避難する場合、避難したことを地域の方などにどのように伝えようと考えていますか。（ひとつに○）

「避難勧告」が出される前に、自主的に避難する場合、避難したことの周囲への伝達方法については、「わからない」が26.5%と最も高く、次いで「近所の人へ事前避難することを伝える（家族カードを預ける）」が22.9%、「町内会長へ事前避難することを伝える（家族カードを預ける）」が20.5%となっている。

